

図 44 築地 (SD80010・80014) 平面及び遺物出土状況

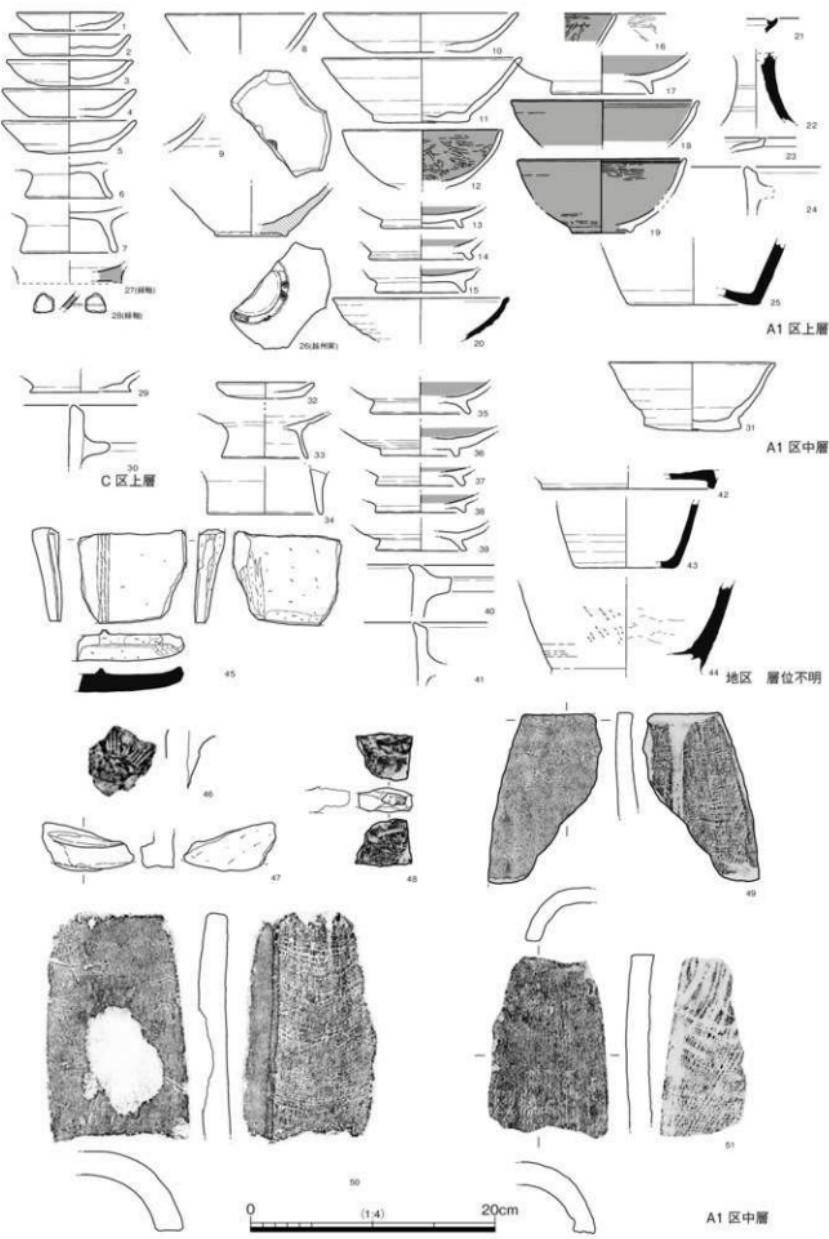


図 45 染地 (SD80010) 出土遺物 (その 1)

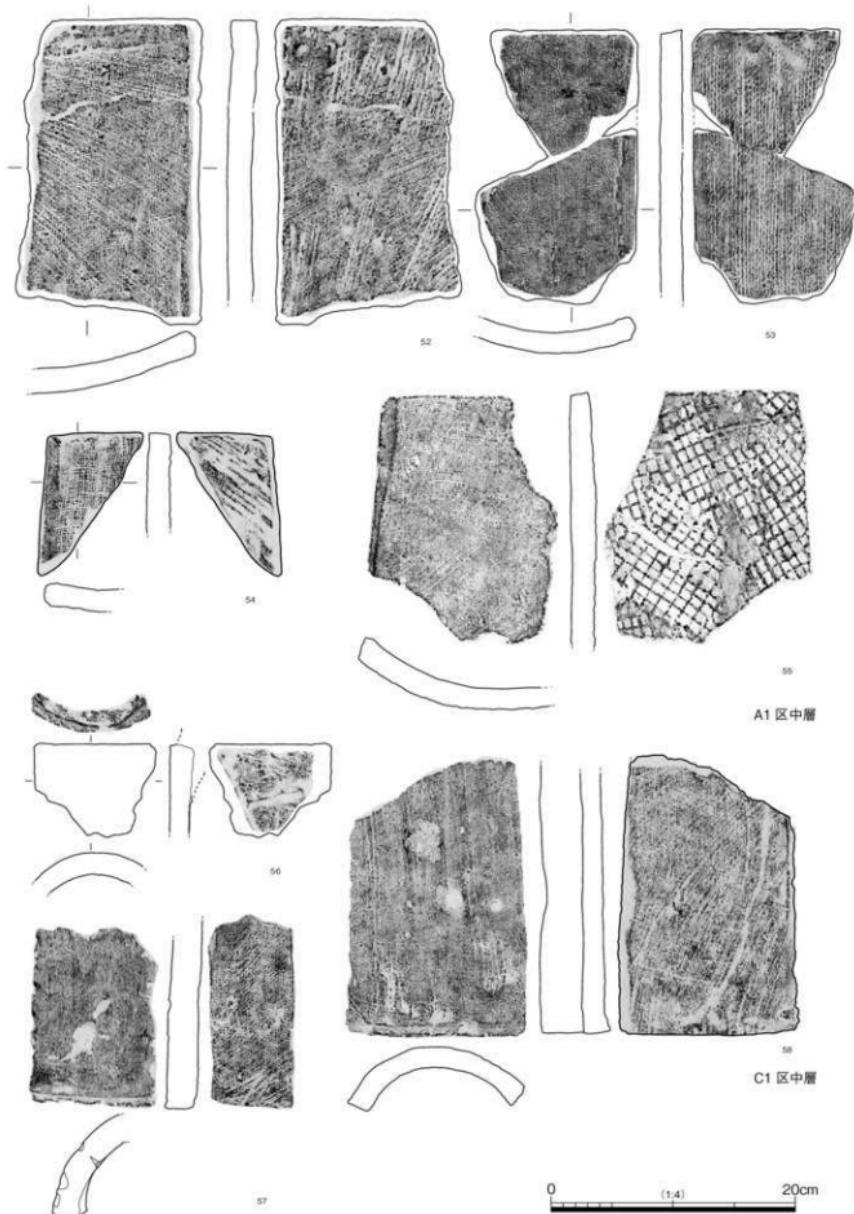


図 46 染地 (SD80010) 出土遺物 (その 2)

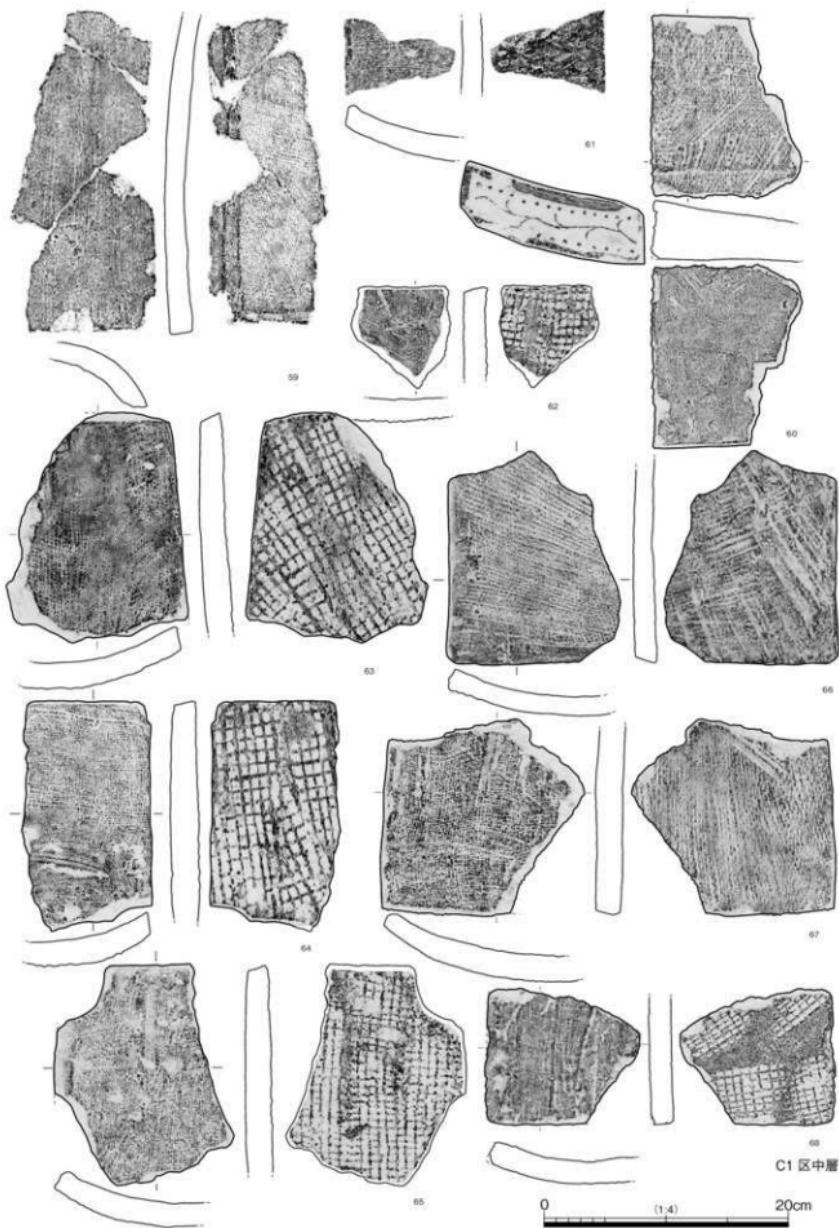


図 47 築地 (SD80010) 出土遺物 (その 3)

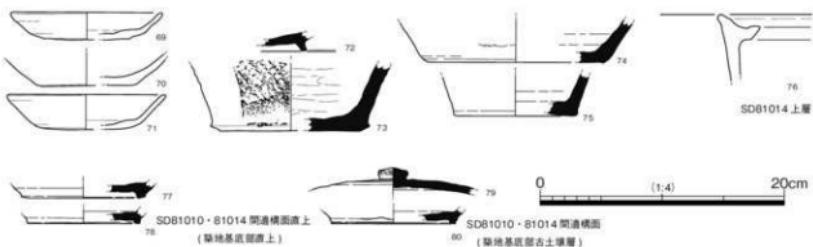


図 48 築地 (SD80014)・基底部出土遺物

以上、SD80010 と SD80014 を中心にした埋没状況から、本築地は、8世紀末葉を時間的な上限とし、10世紀中葉に廃絶した後、埋没と再掘削を繰り返しながら12世紀には完全に平坦化すると考えられる。築地としての機能が失われる10世紀中葉の以後も溝として最低2回の再掘削が行われている点からみて区画施設としての機能が継続していた可能性は残るが、2条同時併存する状況はみられないことから、本来的な機能が変質したものと考えておきたい。

図45-1～25はSD80010のA1グリッド上層から出土した資料である。26は越州窯系青磁碗である。27は軟質焼成の縦釉陶器碗であり、9世紀末葉から10世紀初頭の近江窯あるいは防長窯の可能性がある。28は縦釉陶器碗の小片。焼成の雰囲気や釉調は27と共通しており、同一個体である可能性が高い。図45-29,30はSD80010のC1グリッド上層からの出土遺物である。図45-31はSD80010のA1グリッド中層から出土した完形の土師質土器皿。図45-32～45はSD80010のA1グリッドから出土した資料であるが、断ち割り等により帰属する層位が不明な一群である。45は須恵器風字硯。図45-46～51、図46-52～55はSD80010中層から出土した瓦である。軒丸瓦46は瓦当部の小片であり、中房と内区が僅かに残されるのみであり、型式不明とせざるを得ない。47は軒丸瓦の瓦当外区を中心とした小片で、素文の外縁と内縁に僅かに文様がみられるが、型式は判別できない。48は軒丸瓦の丸瓦部の小片。擬口縁となる先端部には、瓦当貼り付けに伴うヘラ掛けを確認できる。50～51は行基式丸瓦、52～55は凸面網目タタキ・格子タタキによる平瓦。図46-56～58、図47-59～68はSD80010のC1グリッド中層から出土した瓦である。60は諏岐国府式軒平瓦である。瓦当部内区は簡略化された均整唐草文であり、外区内縁の珠文との間に界線はみられない。内区唐草文の状態からみて、瓦当部は1/2程度残存しているとみられる。図48-69～76はSD80014上層からの出土遺物である。土師質土器皿（図48-69）や杯（70,71）から12世紀代の資料と考えられる。図48-77,78は築地基底に残された古土壤層直上から出土した須恵器皿。図48-79,80は同古土壤層から出土した須恵器蓋・杯である。

SD80010から出土した瓦の総量について、表5.6にまとめる。瓦の分類については、既刊の調査概報（香川県埋文セ2013）を参照していただくこととし、ここでは数量のみ提示しておきたい。SD80010からは総重量で224.24kg、隅数計測法で65点の瓦が出土した。丸瓦と平瓦の比は重量で3.4:6.6、個体数で3.2:6.8とよく似た数値を示している。SE80001（図49,50）

調査区南西部で検出した井戸であり、SD80001を切り込む。掘方上面の平面形は、長軸約3m短軸2.4mを測る不整な梢円形を呈し、断面は漏斗状に上部部分が大きく開く。下層の水溜め部には底面に砂岩礫を敷き詰めた後、裏込め土内に2段に分けて砂岩礫を配しながら直徑約0.4m高さ約0.3mの曲物を埋置し井戸枠としている。上層下位及び曲物内には、埋め戻しに伴い破壊・崩落したとみられる板材と礫群が検出されていることから、下位の2段の曲物の上位に横板組の井戸枠が存在していたと考えられる。

図50-81～99は上層の井戸枠の残骸とみられる板材とともに出土した資料である。図50-100～108は、下層の曲



写真 46 SD80010 下層の諏岐国府式軒瓦

物内から出土資料、図 50-109 ~ 114 は底面の礫群に伴って出土した一群である。上層出土の土師質土器皿（図 50-81 ~ 86）と底面の礫群に伴って出土した土師質土器皿（図 50-109 ~ 111）に大きな時間差が感じられない。これらの土師質土器皿や須恵器（図 50-89 ~ 93, 106）の形態からみて、本井戸は 13 世紀前葉から中葉に機能したと考えておきたい。

	新丸底	丸底（切目）	丸底（切目）	丸底（切目）	丸底	平底	平底（切目）	合計											
個体数	3	1	22	1	1	6	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	60
実寸数	0.36	0.00	1.00	0.00	1.00	1.25	0.00	1.06	1.06	1.06	0.00	0.36	0.36	0.00	0.00	0.00	0.00	231.20	

表 7 SD80010 瓦組成表

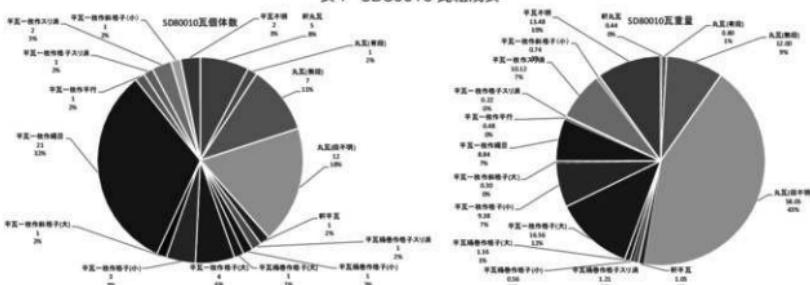


表 6 SD80010 瓦組成 グラフ

SD80001 (図 42, 51)

調査区南西部から北東部へ抜ける大溝である。上面幅約 2.5 ~ 3m 深さ 1.5m を測り、暗灰色シルト～粘土で埋没する。SD80008 を除くすべての遺構に切られる。前述した通り、29 次調査 SD31 の延長部と考えられ低地帯 2 に開削された排水路と考えられ、流下方向は地形に沿うものと考えられる。土師質土器（図 51-115）青磁（図 51-116）は最上層から出土していることから包含層 6 ~ 7 層に伴う資料の可能性が高い。この他に時期決定が可能な出土遺物はみられないが、29 次調査の所見から、8 世紀代の開削・機能が想定される。

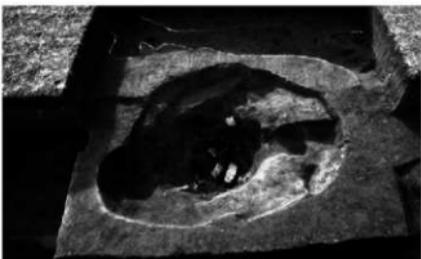


写真 47 SE80001 全景 東から



写真 48 SE80001 底面の礫群



写真 49 SE80001 下層の曲物と裏込の石組

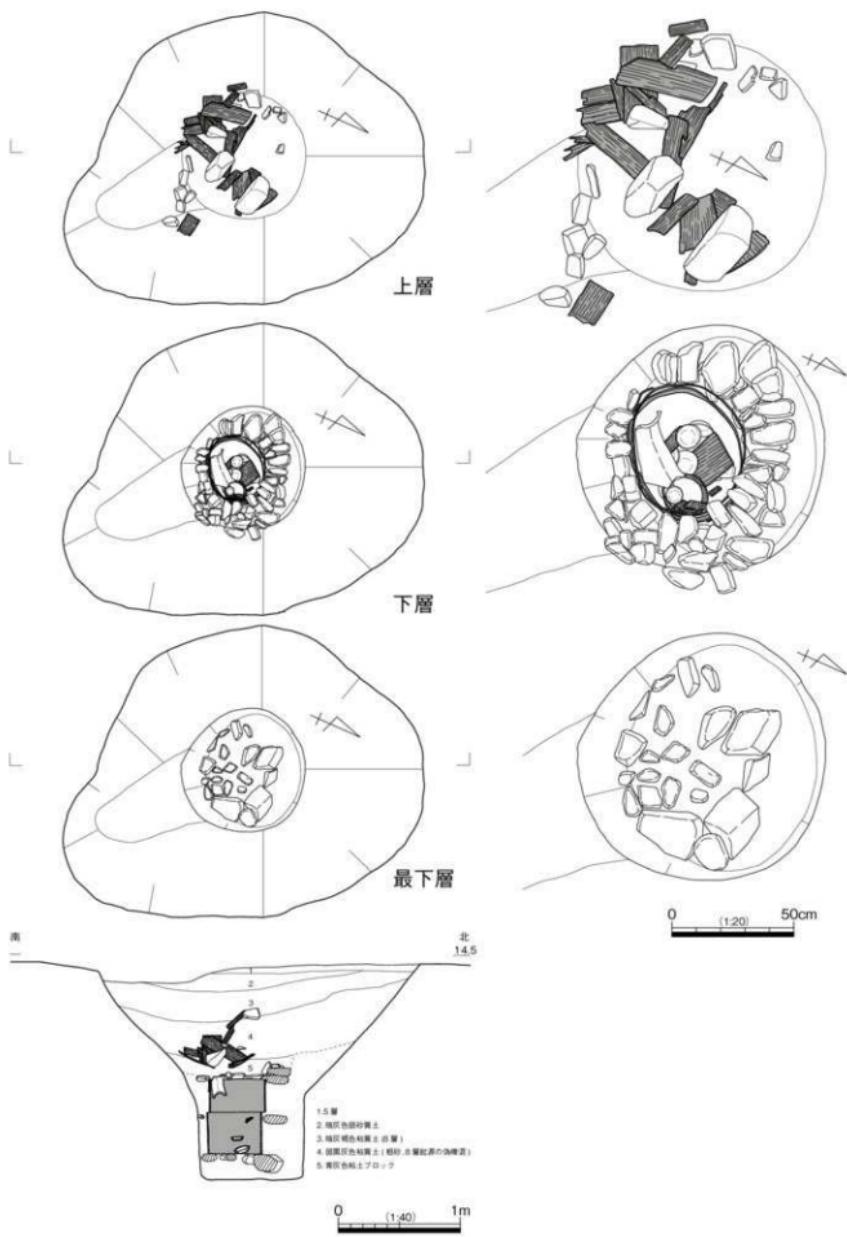


図 49 SE80001 平・断面

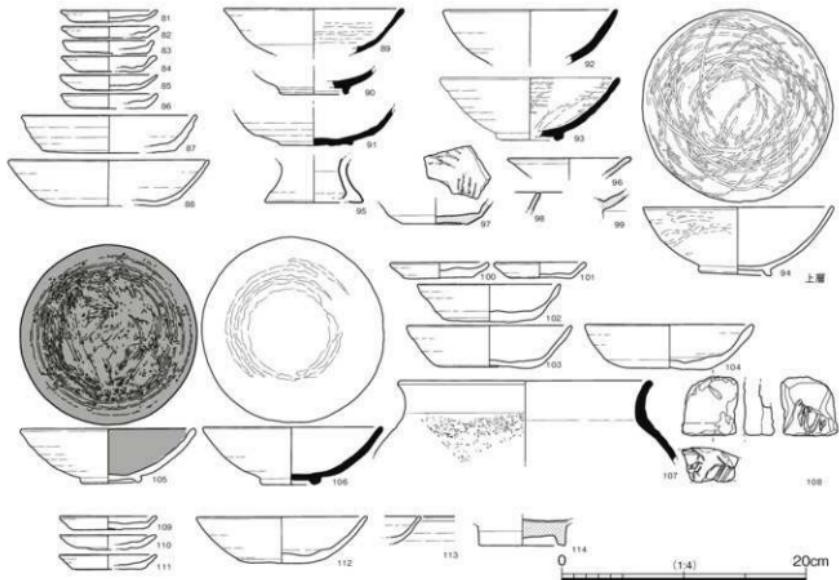


図 50 SE80001 出土遺物

SD80008(図 42)

調査区北東部のC3 グリッドを中心として検出された円形周溝である。SD80009 を切り SD80001 に切られる。時期決定可能な出土遺物はみられないが、SD80001 に切られる点からみて、8世紀以前の溝と考えられる。溝によって囲まれる内周の直径が約 8m に達することや構幅等から、堅穴住居の外周溝と考えられる。

SD80002 他(図 51)

調査区中央部から南部かけて小溝を多く確認している。SD80002 は、SD80001 に併走する形で南西から北東方向に流下するが、それ以外は条里地割の方向に合致している。埋没土や検出面、出土遺物からみて 12 ~ 13 世紀代に属する小溝群であり、SE80001 をはじめとした周辺に検出された柱穴群(建物)に伴うものとみられる。

包含層出土遺物(図 51)

包含層出土遺物については、代表的な資料のみ図化している。図 51-147 ~ 150 は 4 層出土遺物。図 51-147 は緑釉陶器段皿であり、9世紀後半の猿投窯産とみられる。148 は灰釉陶器壺であり、10世紀代の美濃産と考えられる。図 51-151 ~ 153 は 5 層出土遺物。151 は須恵器風字窯の小片。軟質焼成で脚部と視面が辛うじて残る小片である。152 は近江産の緑釉陶器碗であり、9世紀末葉から 10世紀初頭に比定される。図 51-154 ~ 169 は 6 層出土遺物。165 は灰釉陶器壺であり、美濃産の 10世紀代の所産とみられる。166 の緑釉陶器は素地に黒化層が残り、防長産の可能性がある。167 は灰釉陶器壺であり、10世紀代の猿投窯産に比定される。図 51-170 ~ 178 は 7 層出土遺物である。須恵器蓋(図 51-170)は天井部に 1 条の沈線をもつ。172 の緑釉陶器壺は近江産の 10世紀の所産とみられる。173 は緑釉陶器皿。9世紀末葉から 10世紀初頭の近江産と考えられる。174 は灰釉陶器壺であり、10世紀代の美濃産とみられる。175 は滑



写真 50 SD80001(低地帶) 東から

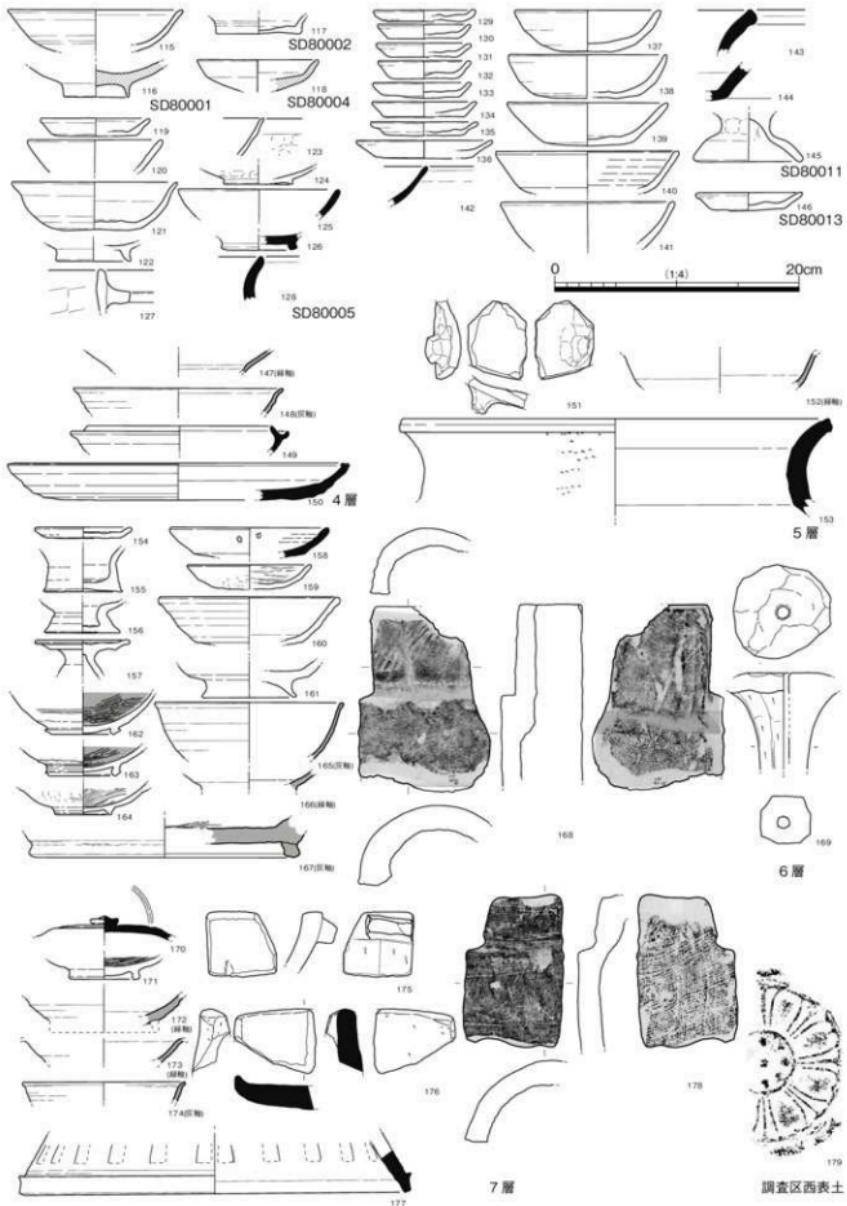


図 51 SD80001 他・包含層出土遺物

石製の石鍋。176は須恵器風字硯、177は須恵器円面硯である。

4. 小結

本次調査では、調査区北部における8世紀末葉から10世紀中葉にかけて機能したと考えられる築地や、南部の低地帯2の11世紀までの埋没とその後の遺構形成など地形及び土地利用に係る重要な資料を得ることができた。築地によって囲繞される国衙については、低地帯2との関係からみて調査地北側に求めることが妥当である。その場合は、6次調査地を含めるかどうかが問題となるが、間に低地帯3を挟むことから、それぞれ別の国衙城を形成する可能性が高いと考えられる。南海道推定ラインの問題を含めて、今後の調査によって検証が必要である。

第7節 8次調査（昭和56年度）の調査

1. 概要（図51）

8次調査地は南西から北西方向へ傾斜する麓層面であり、調査区北側には西側の城山裾を開析する低地帯6の存在が予想される（図7）。推定国府城の中では最も北側に位置する。調査の方法は、東西・南北方向に幅約4mのトレンチを2本設定して遺構状況の確認を行い、部分的に調査区を拡張した。調査の結果、平安期から鎌倉期の溝を中心とした遺構群と9世紀から10世紀の縁軸・灰釉陶器を多く含む遺物包含層を検出した。調査範囲内で建物遺構は明確ではないが、多量の施釉陶器群や墨書き土器、硯などの遺物は、国府城の北方への広がりや近接する位置での国衙・国司館等の存在を示すものとして注目される成果が得られた。調査前の土地利用は水田である。

2. 層序（図53.54）

現在の耕作土である1層から6層までは、近世以降の連続する旧耕作土である。調査区西側のE4グリッド以西や、南側の15グリッド以南では、現況での水田面が一段高くなっているが、この段差は1～6層にみられる近世以降の水田面造成に伴って生じたものとみられる。7・8層は暗青灰色砂質土と黒褐色粘質土であり、色調を違えてはいるが麓層面である粗砂から中粒砂を多く含む点で共通しており、連続して形成された遺物包含層と考えることができ、SD81009.81010.81012を除いた他の遺構は、7・8層上面で検出された。また、本層準は、国府城のほぼ全域で確認され概ね11世紀から12世紀までの遺物を含む包含層に比定される。7・8層は、基盤層である黄褐色粘土の傾斜に沿う形で、北部や東部では層厚を増していく。調査区北端となるSD81008部分の断面（図55）では8層と基盤層である黄褐色粘土との間に9層とする黒褐色粘土がみられるが、9層は麓層物の含有の差で8層と区別されるものであり、両者は同一層位とみてよい。8・9層から出土した遺物は10世紀以前の資料が主体となるが、12世紀まで下る資料も若干量みられる。6～9層で出土した施釉陶器等の遺物は、基盤層上面での建物遺構などの遺構形成が希薄であることから、12世紀代の広範開拓に及ぶ削平等に伴い、調査地近隣から二次的に流入した資料であると考えられる。

図54-1～11は3～5層出土遺物で、特徴的な遺物のみ図化した。1は縁軸陶器碗で、9世紀末葉から10世紀初頭の美濃産、あるいは近江産とみられる。2の縁軸陶器碗は、洛北産で9世紀後半に比定される。3は蛇の目高台をもつ縁軸陶器碗であり、洛北産の10世紀代の所



写真51 8次調査地北半部全景 南から



写真52 標準土層（E4 北壁） 南から

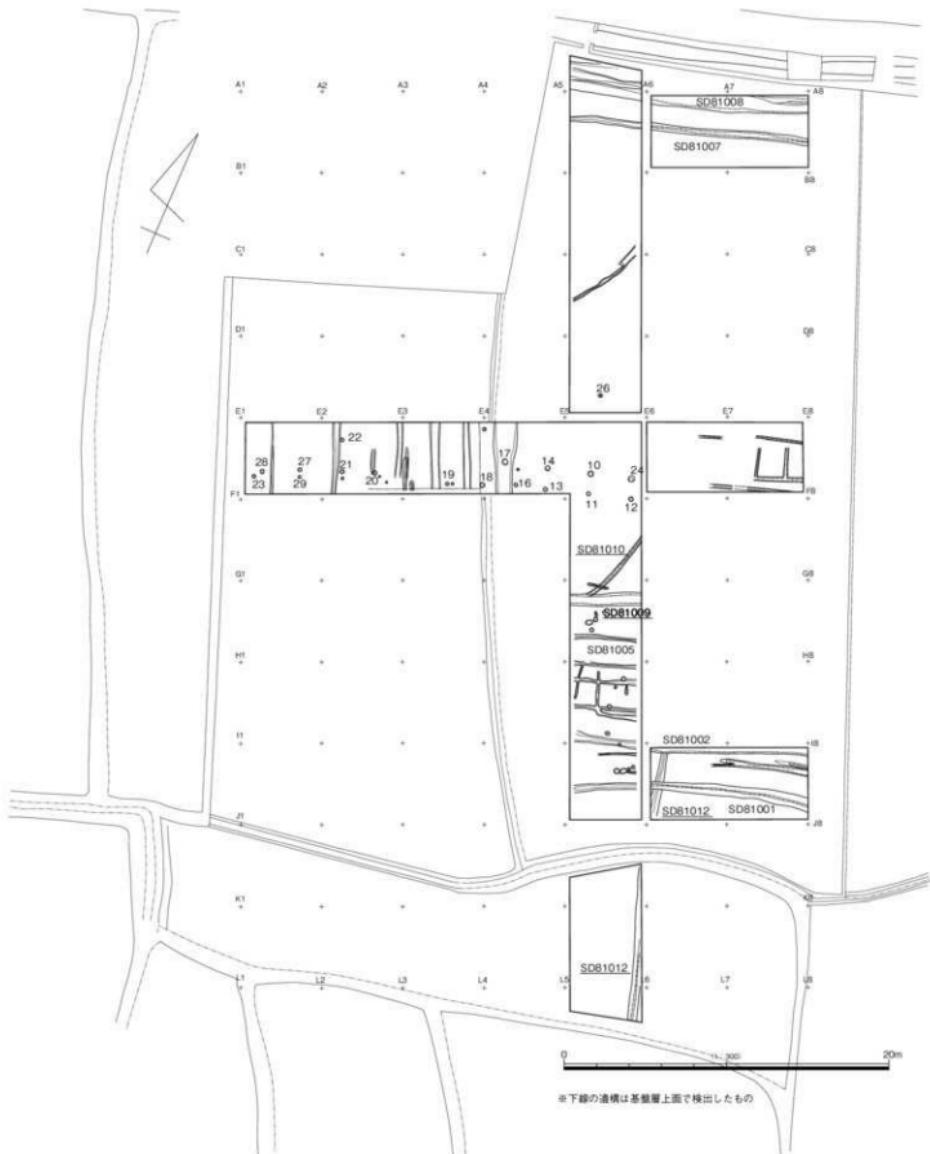


図 52 8次調査平面

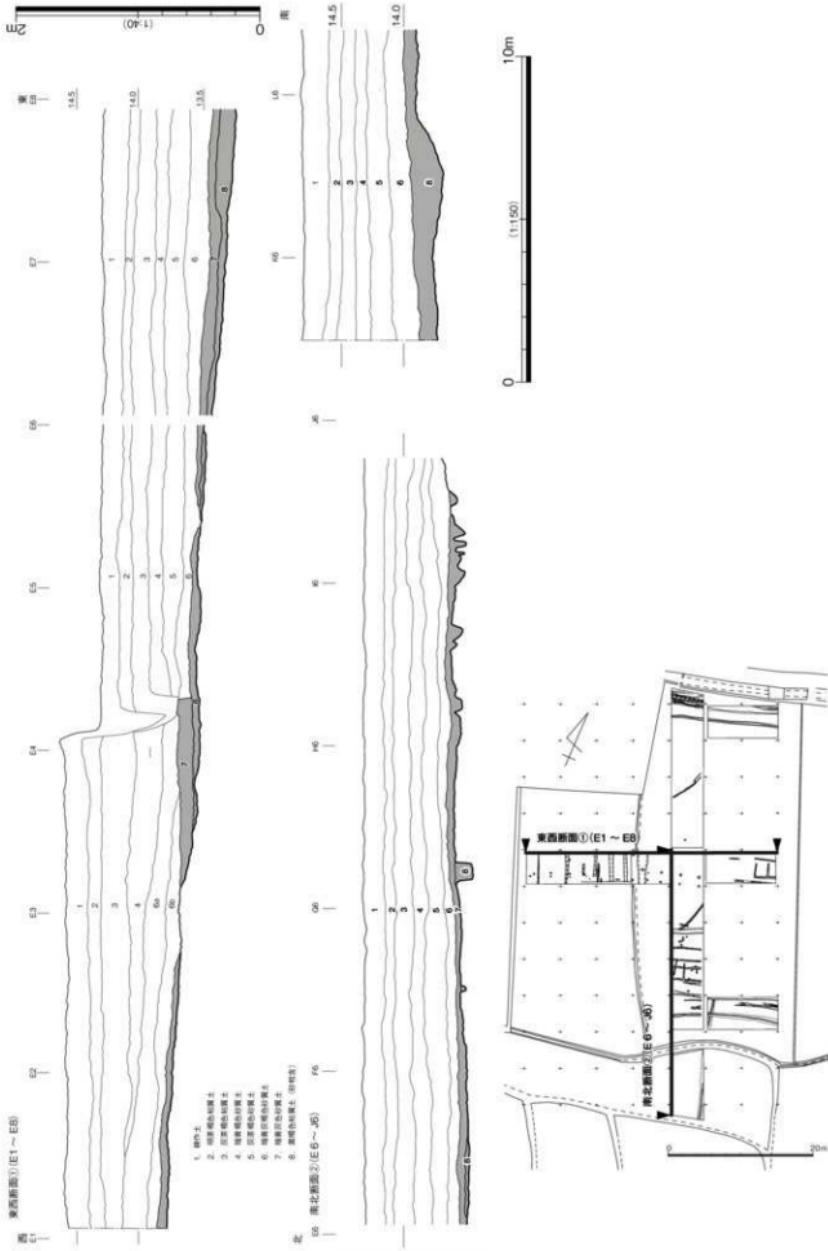


図 53 8 次調査断面

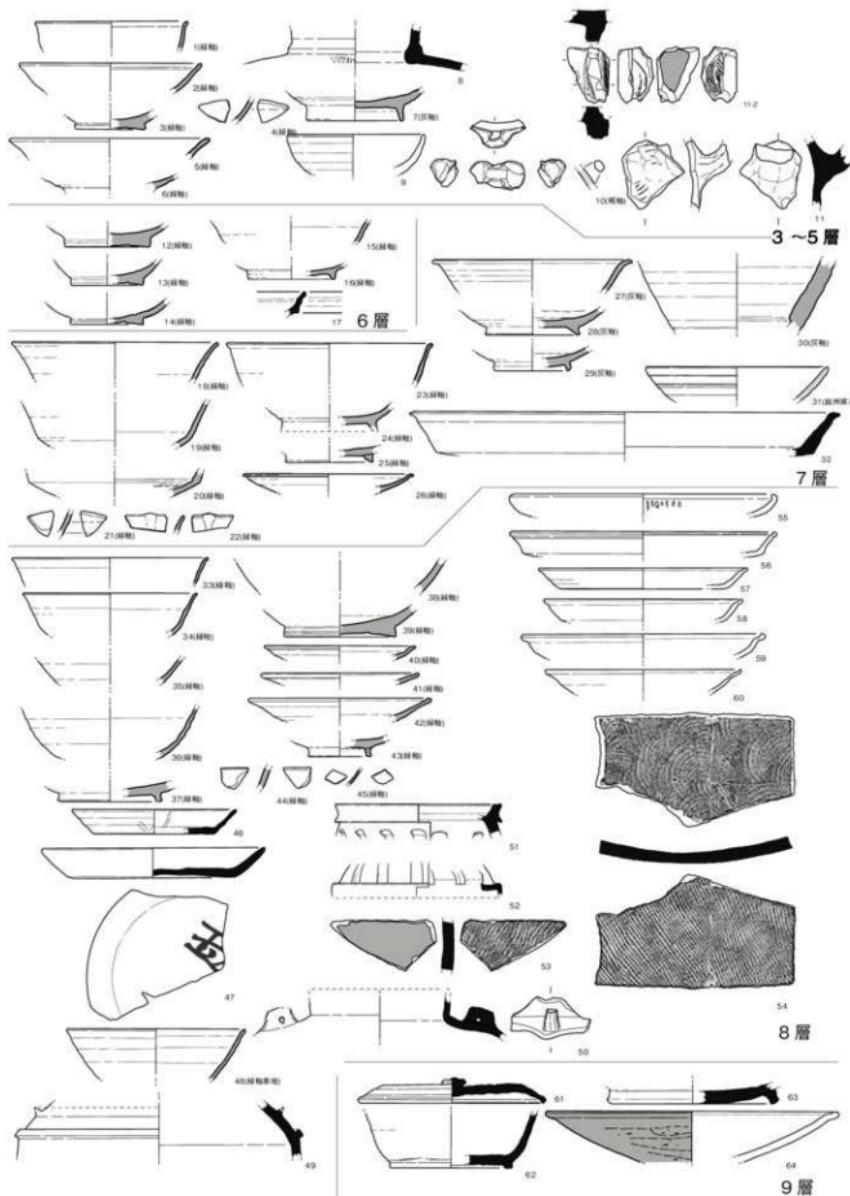


图 54 包含层出土遗物

産と考えられる。4は小片ながら猿投窯産の緑釉陶器椀とみられる。5.6は美濃産、あるいは近江産の緑釉陶器椀の小片である。7は灰釉陶器椀であり、美濃産の10世紀代の所産であろう。10は褐釉陶器四耳壺。11は須恵器双耳壺となる可能性が高い。図54-12～17は6層出土遺物。12の緑釉陶器椀は、洛西産の9世紀後半に比定される。13は洛北産の緑釉陶器椀、14.15の緑釉陶器椀は洛西産とみられる。16は篠産の緑釉陶器椀であり、10世紀中葉に比定される。図54-18～32は7層出土遺物。18の緑釉陶器椀は洛西産で9世紀末葉。19は篠産の9世紀末葉から10世紀初頭の緑釉陶器椀である。20は体部に明瞭な稜線をもつ緑釉陶器椀であり、猿投窯産の9世紀後半に比定される。21は緑釉陶器椀の小片で、10世紀の洛西産とみられる。22は緑釉陶器輪花椀であり、篠産の9世紀末葉から10世紀初頭の所産と考えられる。緑釉陶器椀(23)は洛西産で9世紀末葉から10世紀初頭の年代が想定できる。輪高台をもつ緑釉陶器椀(24)は美濃産、あるいは近江産の9世紀末葉から10世紀初頭の所産とみられる。25は貼り付け高台の内面に沈線をもつ緑釉陶器椀であり、10世紀代の近江産である。緑釉陶器皿(26)は9世紀後半の美濃産とみられる。27.28は猿投窯産の灰釉陶器椀であり、27は口縁部形態から9世紀前半に遡る可能性がある。29は猿投産、あるいは美濃産の灰釉陶器椀であり、形態から10世紀に下ると考えられる。30は灰釉陶器壺であり、猿投窯産あるいは美濃産の10世紀の所産と考えられる。図54-33～60は8層出土遺物。緑釉陶器椀(33)は美濃産の9世紀末葉から10世紀初頭の年代が想定される。34は緑釉陶器椀であり、篠産の10世紀の所産と考えられる。緑釉陶器椀(35)は洛西産、緑釉陶器椀(36)は篠産とみられる。37は緑釉陶器椀であり、猿投窯産の9世紀後半代の所産とみられる。38は洛北産の緑釉陶器椀、39は洛西産の9世紀後半の資料と考えられる。緑釉陶器皿(40～42)は、40が篠産、41.42は洛西産であり、いずれも9世紀後半の資料とみられる。緑釉陶器皿(43)は素地に黒化層が残されることから、防長産の可能性がある。緑釉陶器椀(44)は洛西産、緑釉陶器皿(45)は篠産とみられるが、小片の為、時期を絞り込むことが困難である。須恵器皿(47)は、外底面に「盆」の墨書が認められる。双耳壺の可能性がある須恵器壺(49)は西播磨相生・龍野窯跡群の落矢ヶ谷6号窯出土品に類似がある。51.52は須恵器円面鏡。53.54は須恵器甕の腳部内面を鏡面として転用する。転用鏡(54)は、破断面に磨滅が及ぶことから、転用後の破片形状を留めている可能性がある。土師器皿(59.60)は、口縁部形態からみて京都系とみられ、10世紀初頭の平安京II期新段階の平安宮左兵衛府跡SD1出土資料などに類例がみられる。図54-61～64は調査区北部のD5グリッド以北に分布する9層出土資料である。畿内系土師器高杯(64)は外面に赤彩が認められる。

SD81007・81008(図55.56)

調査区北端で検出した2条の併行する溝である。SD81008北側に隣接する現水路と里道は条里地割の東西阡陌線に合致するもので、両溝ともこれに併走する形を採る。SD81007.81008とともに7層上面において検出されているが、SD81008は数回の浸漬を受けているようであり、下層上位が掘り込み面を若干違えて8層上面において掘方が検出されている。

SD81007は上面幅約0.5m深さ約0.3mの小溝であり、上層とする暗灰色粗砂で埋没している。出土遺物には、上層出土資料(図56-92～96)と下層出土資料(図56-97～103)があり、両層位とともに土師質土器台付皿(図56-93)、黒色土器椀(図56-102,103)など12世紀代の資料が含まれ、時間差が感じられず、機能時期についてはこれらの資料が示す年代を大きくは遡らない可能性が高い。一方でSD81008については、上層の7層上面では上面幅約1m深さ約0.2mで東西方向に約15cm検出された後、7層を除去した段階ではやや北側へ流路位置をずらして掘方が8層上面において再び検出された。下層とした8層上面段階では、上面幅約1.8m深さ0.4mを測るなど7層上面における上層と比較して規模が大きい。下層上位にみられる灰色粗砂によって埋没している状況が窺えるが、底面形状に凹凸がみられることから、下層の段階においても数回の浸漬を受けている可能性がある。また、上層の粗砂層との不整合が著しいことを踏まえると、数回の浸漬を経ながら徐々に埋没していく、上位の粗砂層によって完全に埋没したことが想定できるのではないだろうか。図56-104～127は上層出土資料、図56-128～149は下層上位の粗砂層出土資料、図56-150～152は下層下位からの出土資料である。上層出土の土師質土器小皿(104～106)は13世紀後半まで下る資料とみられる。113は緑釉陶器段皿であり、猿投窯産の9世紀後半代の所産とみられる。緑釉陶器碗114は小片ながら猿投窯産の可能性が高い。これらは下層からの混入品とみられる。下層上位出土資料の内、土師質土器小皿(128)は12世紀代と推定されるが、他の須恵器類(134～146)は9世紀後葉から10世紀の資料が中心となる。131の緑

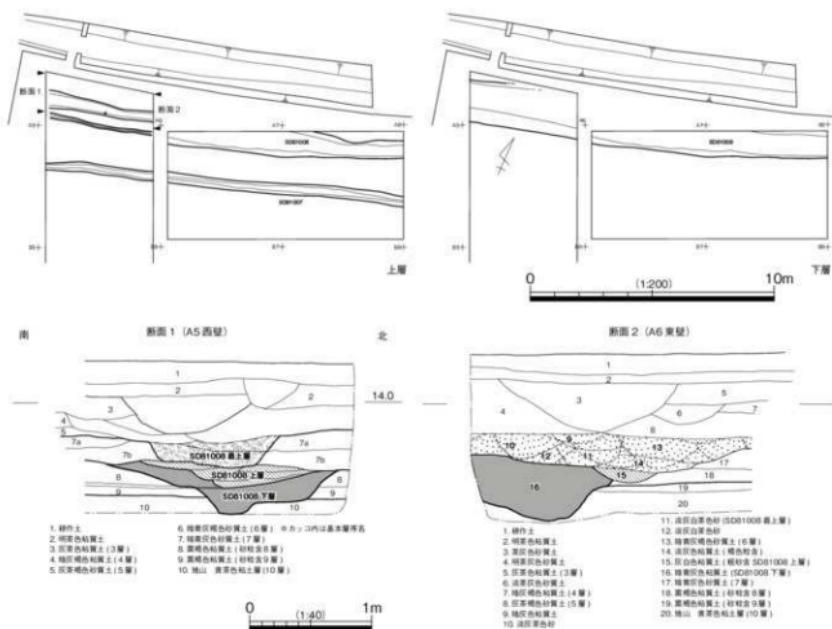


図 55 SD81008 平・断面

釉陶器皿は洛西産、あるいは篠産とみられる。緑釉陶器 132 は小片ながら近江産の可能性がある。133 は灰釉陶器皿であり、10 世紀代の美濃産と考えられる。下層下位出土資料の内、須恵器杯 (150) は 9 世紀中葉に比定されるが、黒色土器碗 (151, 152) は 12 世紀代まで下る資料と考えられる。これらの資料から、上層については 13 世紀を中心とした時期に、下層については上位、下位ともに 12 世紀までの機能していたことが出土資料から読み取れる。しかし、下層出土資料には 9 世紀後葉から 10 世紀の資料が多く含まれ、断面や堆積状況からも数回の浸漬が想定されることから、開削の上限時期については 9 世紀代まで遡るものと考えたい。

SD81001 他 (図 52, 56)

前述した通り、SD81009, 81010, 81012 以外の柱穴、小溝については基本的に 7 層上面で検出している。出土遺物 (図 55-65 ~ 91) から 12 世紀から 13 世紀に帰属すると考えられるが、積極的に機能を見出しがたい。基盤層である黄褐色粘土上面で検出した SD81009, 81012 については、条里地割の方向に合致し 8 層起源の黒褐色粘土を埋没土にもつ。時期決定の参考となる出土遺物はみられないが、検出面から判断して、10 世紀以前の所産と考えられるが、これについても調査範囲内で



写真 53 SD81008 全景 東から



写真 54 SD81008 断面 西から

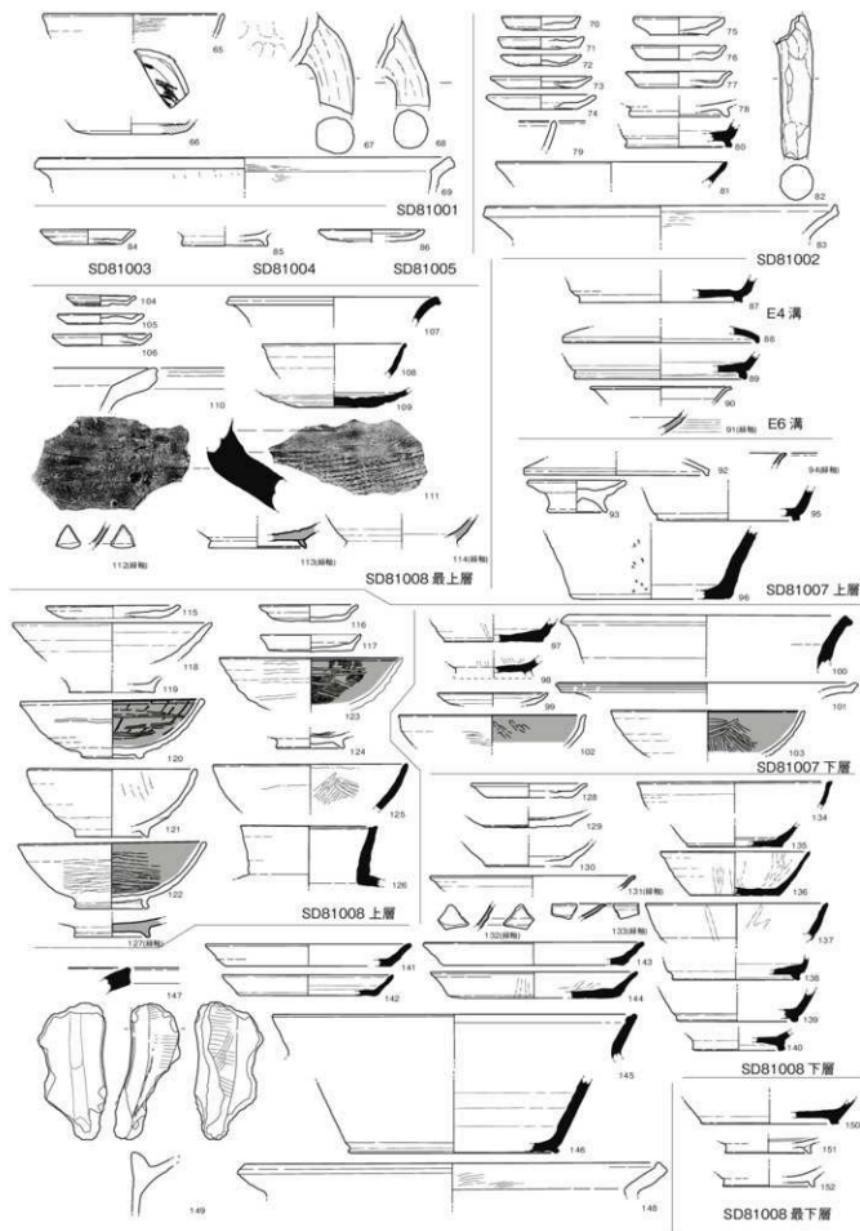


図 56 SD81008 出土遺物

明確な機能を推定することは困難である。

4. 小結

調査区北端で検出した SD81008 は、条里阡陌線に合致し 9 世紀から 13 世紀にかけて維持される溝である。本溝以南においては、地表面に東西方向の条里阡陌線が部分的に認められるが、地下構造においてこれに合致する東西溝は検出されていない。また、本溝の検出位置は、木下良氏によって想定された 60 間方格の条坊の北辺にも相当するものであり、今後発掘調査で検出された府内地割を検討する際の基準となる可能性をもつ。構造として確認はできなかったが、包含層を中心に出土した硯・墨書き器・施釉陶器などの官衙関連資料は注目される。特に施釉陶器は讃岐国府城内において最も集中して出土しており、近隣の微高地における国司館を念頭において国衙施設の存在を示すものと考えられよう。

第 8 節 9 次調査（昭和 59 年度）の調査

1. 概要（図 57）

9 次調査は、4 次調査地西側に隣接する地盤が調査対象地となる。地形面は麓層面の頂部となり、現地表面の標高は約 18.2m である。調査の結果、国衙に関係する 9 世紀代の大溝、柱列を検出するなど大きな成果が得られた。調査前の土地利用は水田である。

2. 層序（図 58, 59）

現在の耕作土である 1 層とその下位の 2・3 層は 1 层に伴う底土である。3 层下は黄褐色粘土の基盤層となり、間に遺物包含層を交えていない。この状況は、東側に隣接する 4 次調査区と異なっており、本調査地の方が麓層面上における微高地に相当することを示している。一方で、構造検出面はかなりの削平を受けているのは確実とみられ、検出構造の広がりを検討する際にはこの点に留意する必要がある。図 59 は 2・3 層からの出土遺物である。いずれも下位構造の削平に伴う資料とみられる。7 は土師器燭台形土器であり、上面に油煙とみられる付着物が確認できる。

3. 検出構造・遺物

SD84001（図 57, 58, 60）

調査区西部で検出した溝である。上面幅約 3m 残存深度約 0.2 ~ 0.4m を測り、逆台形の断面をもつ。流下方向は、条里地割に合致した南北であり、粗砂を多く含む淡灰色粘質土を主体に埋没している。図 60-61 ~ 67 は出土遺物であり、土師質土器大皿（61 ~ 63）、土師質土器把手付鍋（65, 66）、土師質土器茶釜形（67）等がみられ、中世末葉から近世初頭を中心に機能した溝と考えられる。

SD84002（図 57, 58, 60）

調査区東部で検出した大溝である。上面幅約 2.6 ~ 3.8m 残存深度 0.4 ~ 0.6m を測り、逆台形の断面をもつ。調査区中央の断面②付近では、溝東肩部に幅約 1.2m 深さ約 0.15m のテラス面が付設されている。流下方向は条里地割に合致した南北方向を取り、3 次調査において北延長部が検出されている（本章第 3 節）。埋没土は、中位から上位（断面①の 1 ~ 3 層、断面②の 1 ~ 3 層）に基盤層の黄褐色粘土を起源とする偽礫が多く含まれ、それより下位は粗砂を多く含む暗灰色粘質土で埋没しているが、盛んな流水状態を想定できるようなラミナは認められない。中位から上位は埋め戻し土であり、下位は開削後の流入土と考えられる。規模や埋没状況からみて、灌漑や排水路とも捉え難く、後述する SA84001 の存在を考慮すると国衙周囲を囲繞する大溝と考えられる。



写真 55 9 次調査地全景 南から

図 60-11 ~ 60 は出土遺物である。前述した層

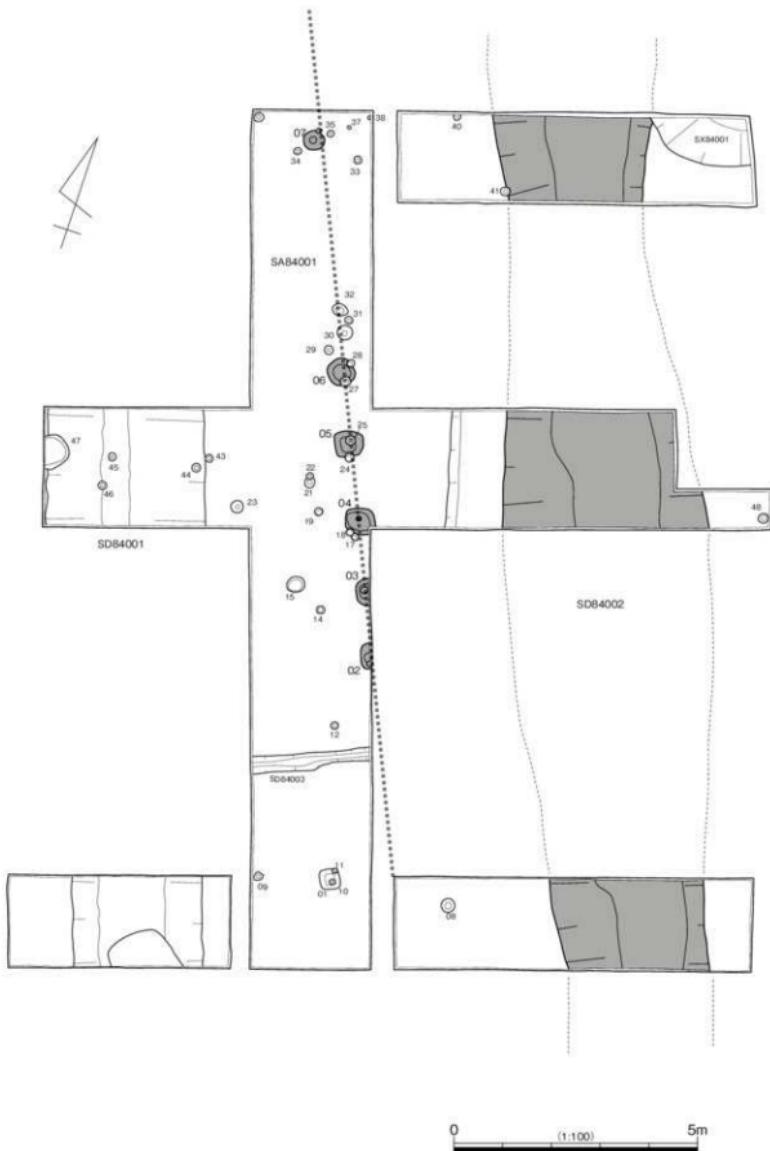


図 57 9 次調査平面

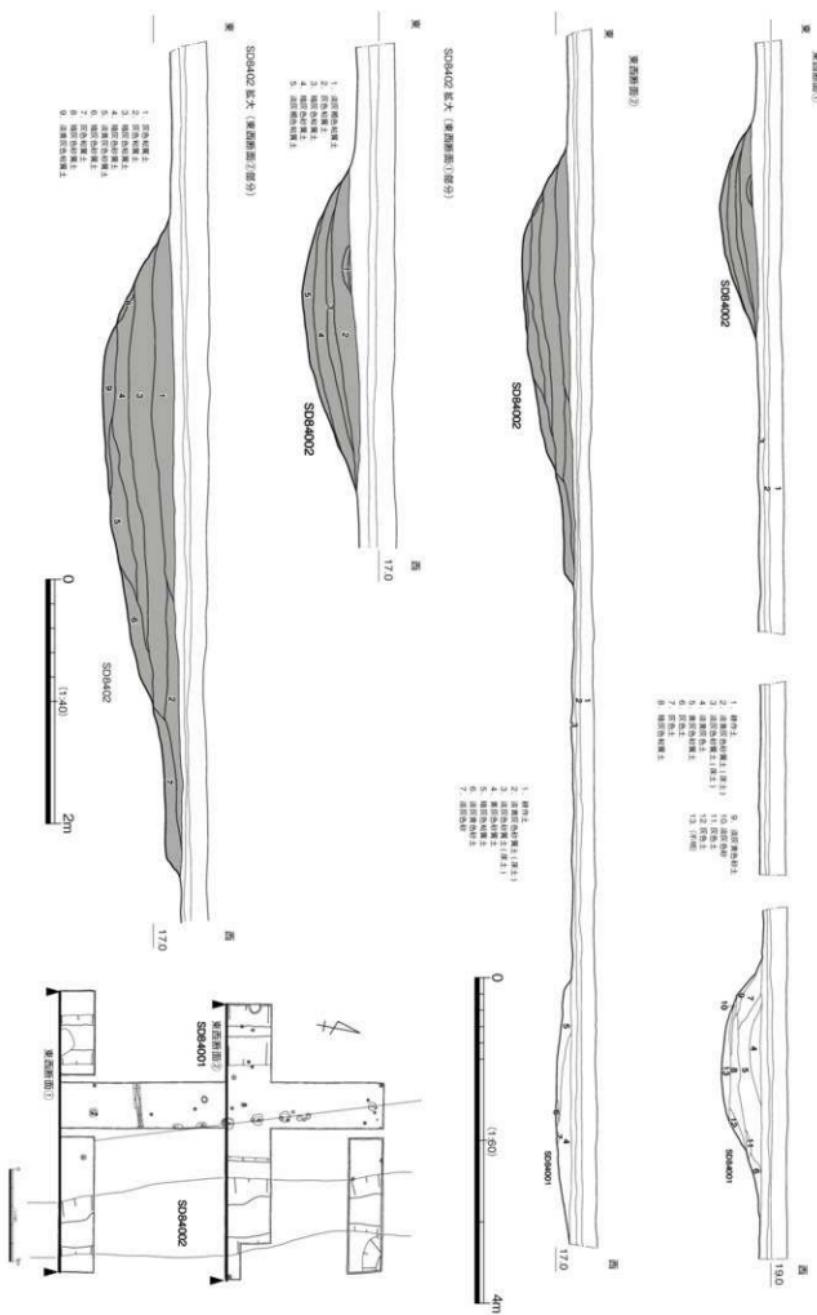


図 58 9 次調査断面

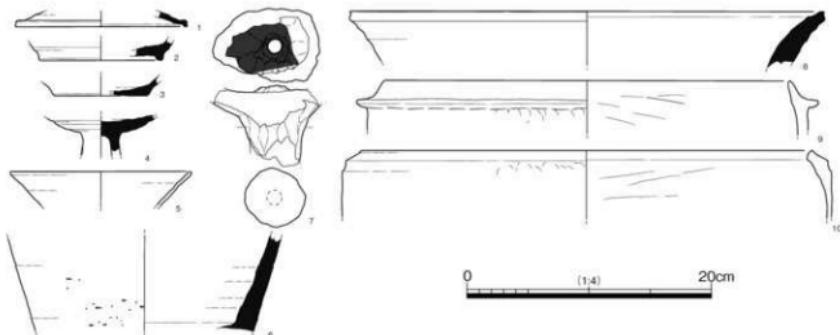


図59 包含層出土遺物

位に対応した提示は不可能であり、一括して掲載している。須恵器は、古層を示す一群を除き9世紀前葉から中葉の蓋(図60-11～14)、杯(21, 27, 28)、皿(29～32)に混じって9世紀後葉から10世紀前葉まで下る杯(20, 26)も散見される。蛇の目高台をもつ縁軸陶器椀(36)は洛西産の9世紀後半の所産とみられる。黒色土器椀(37, 38, 39)は年代的な位置付けが難しいが、回転ミガキが認められずミガキ幅も細いことから10世紀後葉を前後する時期の資料と考えられる。須恵器杯(40, 41)、ハソウ(42)、無蓋高杯(44)、甕(52～55)、畿内系土師器杯(46～48)は7世紀中葉から後葉の資料であり、他の資料と大きく時期を違えていることから、周辺遺構からの混入品と考えられる。

以上、出土遺物が示す時期については揃らぎが認められる。ここでは明らかに古相を示す一群を除く他の資料が示す時間幅を使用して、本溝は9世紀前葉までに開削され、10世紀後葉に埋め戻されたと考えておきたい。
SA84001(図57, 60)

調査区中央部において検出した柱穴列である。南からSP81002～81006とする5基の方形柱穴が約1.5m間隔で条里地割に合致した南北方向に検出された。柱穴掘方の残存深度は、0.1～0.2mと浅く極度の削平を受けている。上面検出時における柱痕は不明確であり、底面で柱の当たりと考えられる直徑約0.2mの窪みが検出された。埋没土はいずれの柱穴も黒褐色粘土を多く含む粘土であり、前述したSD84002とも一定の共通性をもっている。埋没土から時期決定可能な遺物は出土していないが、SP84005を切り込む小規模な柱穴SP84024から12世紀代とみられる土師質土器椀(図60-68)が出土しており、これ以前の所産ということになる。方形基調の掘方をもつ点や10世紀中葉に埋め戻されたSD84002と埋没土が類似する点を評価し、本柱列はSD84002と同時併存したものと考えておきたい。極度の削平を受けている点からみて、建物を構成する柱穴列の残骸である可能性も否定できないが、柱間が狭すぎることや、同時併存が想定されるSD84002との位置関係を考慮して、板解等の遮蔽施設として提示しておき



写真56 SD84001 西から



写真57 SA84001 と SD84002 北から

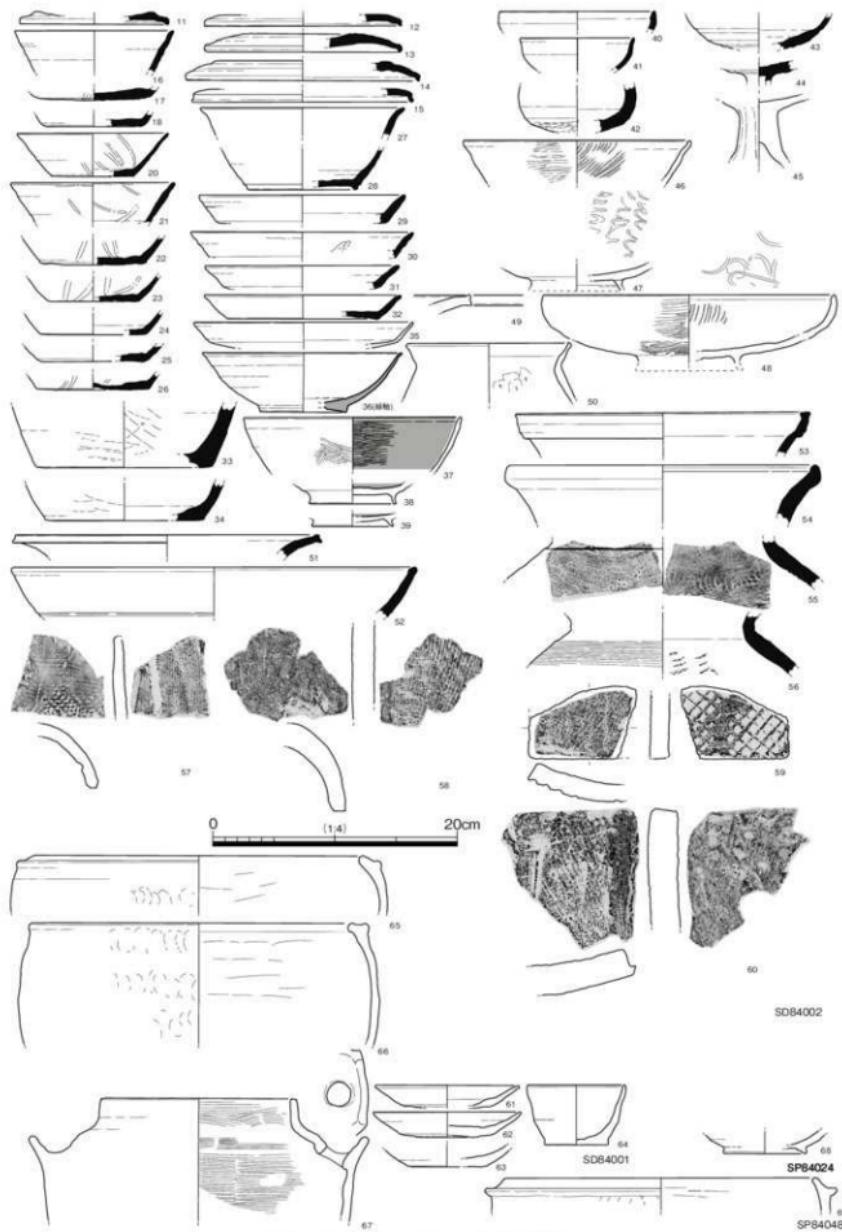


图 60 SD84001・84002・柱穴出土遗物



写真 58 SD84002 断面 北から



写真 59 SD84002 全景 北西から

たい。

4. 小結

SD84002 と SA84001 は国衙圍繞施設としてセットで捉えられると考えられる。その場合の国衙の位置は、4 次調査で古代期の遺構が希薄であった点や SA84001 の検出位置からみて、SD84002 は国衙東辺を仕切ることとなり、本体は本次調査地西側に求められることになる。3 次調査で確認された SD78001 は SD84001 の延長部であることからみて、南北約 50m は確実である。また、3 次調査地北側の 27 次調査で検出されていない点や、麓表面を開析する低地帯 3・5 との位置関係などの地形を考慮すると、国衙の範囲が 50m 四方を大きく超えることはないと予測できる。詳細は規模については今後の調査が必要となるが、SD84001 内に瓦が極少量しか認められなかつた点は国衙の性格を考える際に重要な資料となる。

第1節 遺物

1. 分布調査

第3章で紹介したとおり、讃岐国府2～9次調査で広域に涉って古代の遺構・遺物を確認したが、包蔵地全体に対する調査面積は小規模に止まざるを得ない。そこで、発掘調査範囲外における遺構分布状況を推測することを目的として、詳細な遺物分布調査を行った。調査は平成24年5月に行い、水田・畑などの耕作地を主として遺物を採集し、地筆毎に採取量を集計した結果を図61～63に示す。採取遺物の中で主体となるのは古代末の土師質土器や黒色土器、輸入陶磁器であり、須恵器片・古瓦片がこれに続く。須恵器・古瓦片については、採取点数を地筆毎に表示したが、土師質土器等については採取量を一括して分布状況のみ提示する。

古瓦の分布状況は、5次、16次調査地を結んだ低地帯3を境にして状況が大きく異なる。低地帯3より北側では数地点において分布が確認されるものの、南側の包蔵地南西部では面的に採取される状況にある。特に、開法寺伽藍東側の微高地での採取量が比較的多い傾向にある。また、綾川に接した低地には殆ど分布せず、包蔵地西部の高位にある微高地や麓層面上に限って分布している点は注意されよう。

須恵器は広域で採取されるが、集中部は包蔵地の北と南で二分される。北部は確認調査があまり実施できていない27次と28次間の麓層面と8次周辺に集中する。

土師質土器・黒色土器・輸入陶磁器は包蔵地全城から採取される。採取可能な地筆が集中せず、包蔵地全城で点在する傾向ある。

2. 瓦の出土量とその分布

本書で報告する2～9次調査において古瓦が多く出土している。7次調査の築地を構成するみられるSD80010を除くその多くは、古代末以降の包含層や諸遺構への混入した状態で出土しているが、これらの出土地点・量は一定程度、元々の使用された構造物の位置を示していると考えられる。今後の確認調査計画策定や国府全域のゾーニングを考えるために、これらの古瓦の出土量や分布状況を確認しておくことは決して無駄ではない。対象とする資料は、遺構内、外に問わず凹面に布目をもつ等の特徴から古代に属すると考えられるもの全点を計測対象とした。また、讃岐国府では本書で報告する9次調査以降も確認調査が継続して行われていることから、平成23年度の29次調査までの出土資料も計測の対象とした。

計測に使用した分類の詳細は、既刊の概要報告書（香川県埋文セ2013）を参照していただきたいが、今回は讃岐国府における一定の出土傾向を把握することを目的として、大まかな分類に止めた。平瓦は、凹面の模骨痕の有無を確認して、桶巻き作と一枚作を区分し、凸面のタタキ目の種類から細分を行った。網目タタキについては原体やタタキ板が当たる角度、タタキ原体の種類によって数多くのバリエーションがあることが予想されるが、細別は行っていない。丸瓦については、行基式と玉縁式を区分したのみであり、玉縁部形態に基づく細分は行っていない。

以上の分類を行った上で、破片毎に点数と割合、重量を計測し、国府城における重量と個体数の分布状況を整理した。

隅数計測法における個体数算出や単純な重量の集計が最も問題は承知しているが、タタキ目の分類と同様に、国府全体の様相の把握を主眼に置いたため、最も簡略な方法を用いた。また、開法寺域に含まれる範囲の調査資料は、計測対象から除外している。

図64は、110mメッシュの条里型地割の大区画を36分割した小単位を設定して、重量分布を表す。隅数計測法を用いた個体数分布の検討も行ったが、包含層や後世遺構への混入資料が主体を占めることや、重量分布と大きな差異はみられないため、図64に重量分布のみ図示した。また、各年度の調査面積にバラツキがあるため、各トレンドの個体数及び重量の総数を調査面積で除した上で、10m²当たりの数値に置き換えて表示した。

全体の分布状況は、鼓岡神社北側を東西に抜ける5次と16次調査地を結んだ低地帯3を境に南北で様相が大きく異なる。北側では、6・23・28次調査地がやや多い傾向を示すが、大半の調査区では最小単位の出土量を示す。同推

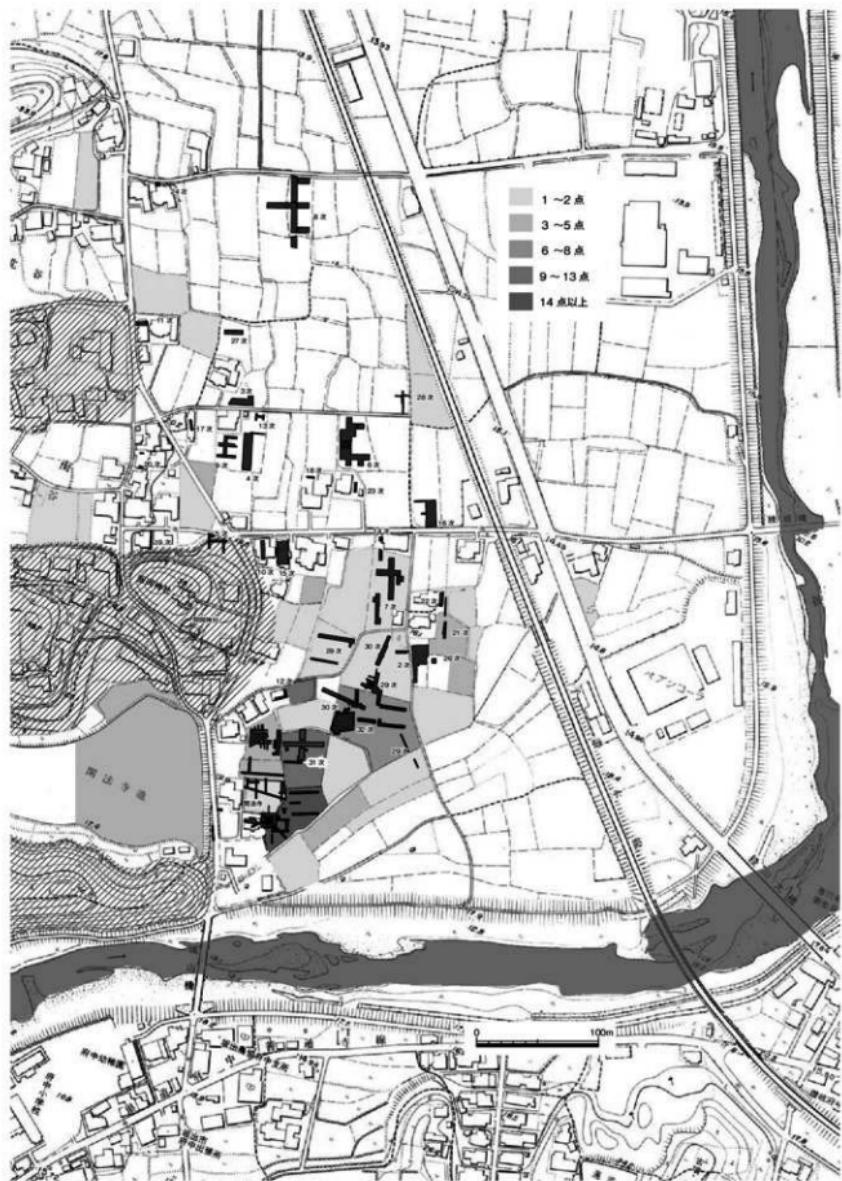


図 61 分布調査 (古瓦)

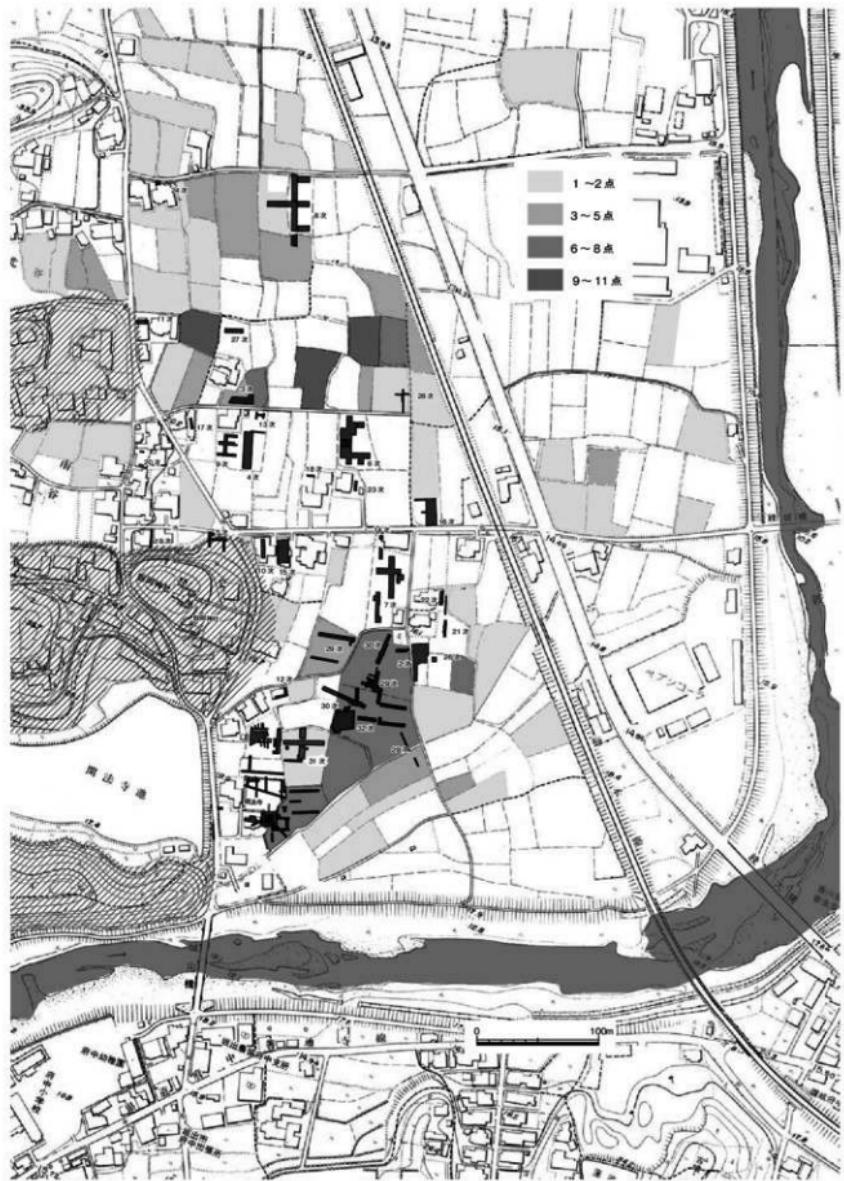


図 62 分布調査(須恵器)

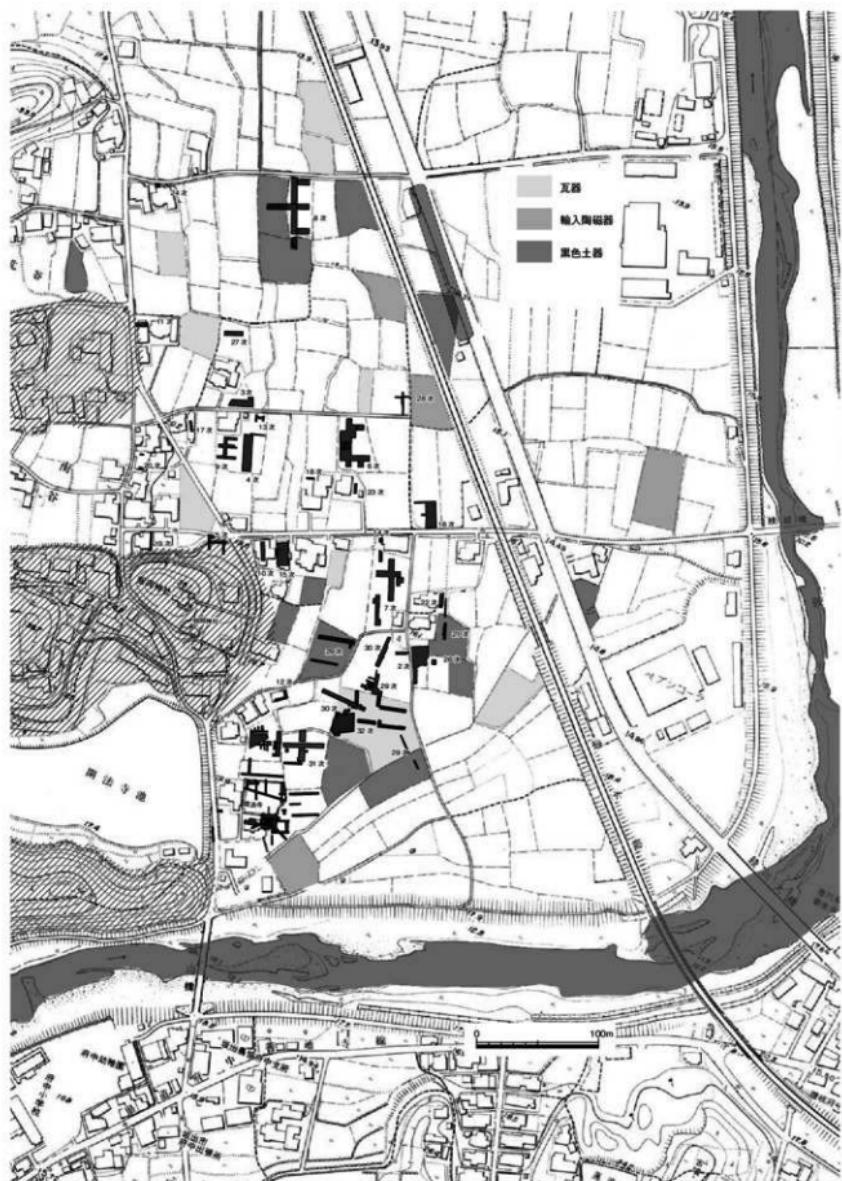


図 63 分布調査(黒色土器・土師質土器・輸入陶磁器)

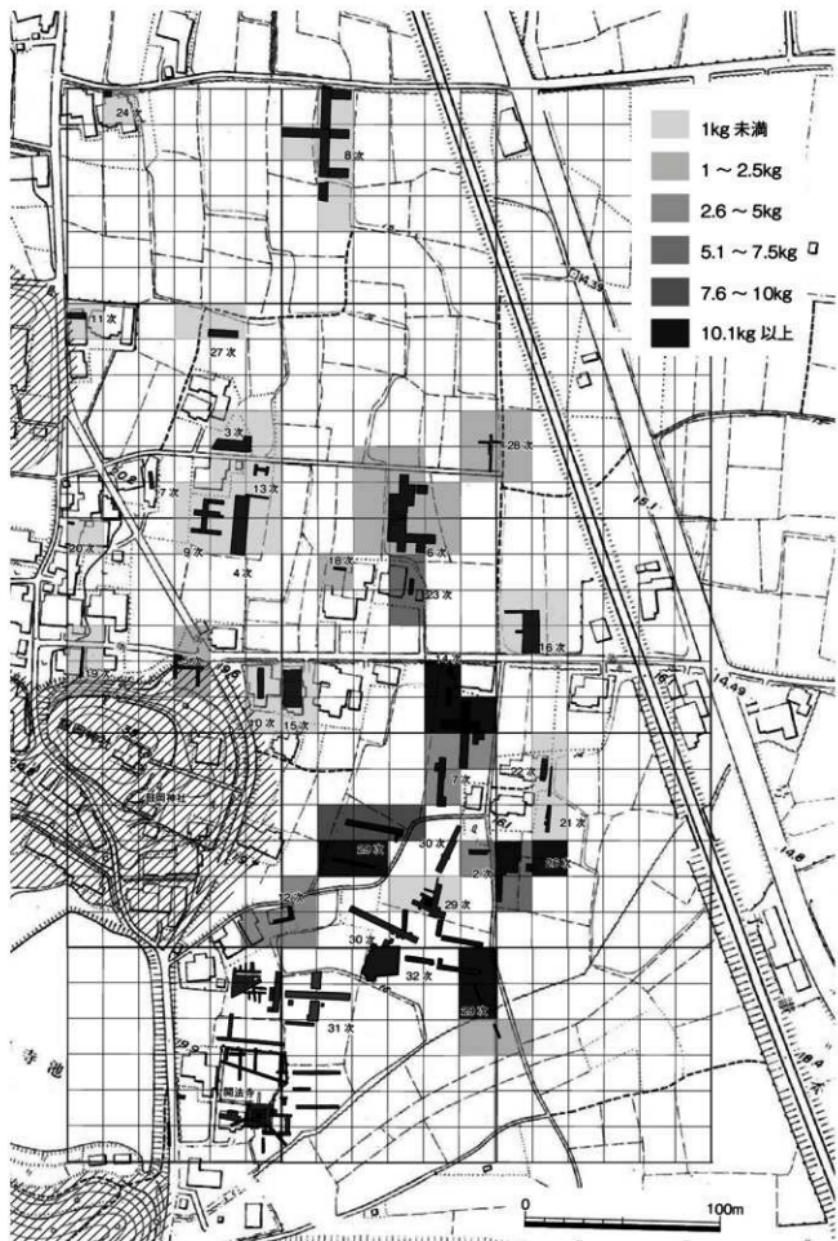


図 64 瓦の出土量と分布(重量)

	2次TR	3次TR	4次TR	5次TR	6次TR	7次TR	8次TR	9次TR	10次TR	11次TR	12次TR	13次TR	14次TR	15次TR	16次TR	17次TR	18次TR	19次TR	20次TR	21次TR	22次TR	23次TR	24次TR	25次TR	26次TR	27次TR	28次TR	29次TR	30次TR	合計
平均瓦・瓦芯部重量(kg)	70.5	3	0	15	3	129	71.4	33.3	1.7	0.3	3.6	3.2	1.8	0.2	1.5	2.2	1.1	0.7	20.2	15.3	0	21.9	0.2	271.4						
平均瓦・瓦芯部個数	29	3	0	2	2	6	25	9	2	1	3	2	1	1	1	1	1	1	15	6	0	7	2		126					
平均瓦他作引込重量(kg)	48.2	1.4	0	0.3	0.3	5	31	4.4	0.6	0	0.7	0.6	0.9	0	0	0.4	1.5	2.1	18.9	15	0.2	21.1	0		125.7					
平均瓦他作引込個体数	11	2	0	1	1	4	3	2	1	0	1	2	1	0	0	1	4	3	7	7	2	9	0		63					
平均瓦一枚作引込重量(kg)	114.6	3.5	0	23	27	30.1	126.6	38.8	3	1.4	8.8	8.9	3.5	1.5	0.9	5.6	2.8	2.8	31.8	19.5	0.2	44.6	0.1		461.4					
平均一枚作引込個体数	21	1	0	3	2	8	34	9	1	3	5	5	3	2	3	5	2	3	9	6	1	9	1		147					
平均不明重量(kg)	44.5	1.1	0	0.4	0.9	3.3	13.5	25.4	1.4	0.1	0.9	1.7	0.9	0	0	0.6	0.6	0.5	17.4	21.6	0.1	5.8	0.4		142.7					
平均瓦・平均瓦部重量	211.9	6	0	3	39	38.4	143.2	68.6	5	1.5	10.4	11.2	5.3	1.5	0.9	6.6	7.8	5.4	69.3	56.4	0.5	71.5	0.5		739.2					
平均瓦・平均瓦部個数	42	4	0	5	4	13	40	13	3	4	7	8	5	2	3	7	8	9	20	17	4	19	2		252					
特殊瓦部重量(kg)	0.3	0	0	0	0.3	0	0.5	0	0	0	0	0.2	0	0	0	0	0	0	0.1	0.9	0	0	0.1	0		2.4				
特殊瓦部点数	2	0	0	0	3	0	4	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	1	2	0	1	0		15					
瓦重量	282.7	9	0	4.5	6.9	51.6	214.6	102.4	6.7	1.8	14	14.4	7.3	1.7	2.4	8.8	8.9	6.1	89.6	72.6	0.5	93.5	0.7		1013					
瓦点数	73	7	0	7	6	22	65	26	5	5	10	10	9	3	4	8	9	10	36	25	4	27	4		363					
單位面積(10m) ² 重量(kg)	7	5	0	0.3	1.2	1.1	21.5	31	0.2	0.2	0.39	0.8	0.6	0.5	0.9	5.5	22.3	1.7	9.5	22	0.1	58.5	1							
單位面積(10m) ² 個体数(g)	1.8	3.9	0	0.4	1.1	0.5	10.3	0.8	0.2	0.5	2.8	0.6	0.7	0.8	1.5	5	22.5	2.7	3.8	7.6	0.4	16.9	5.8							

表7 瓦組成表

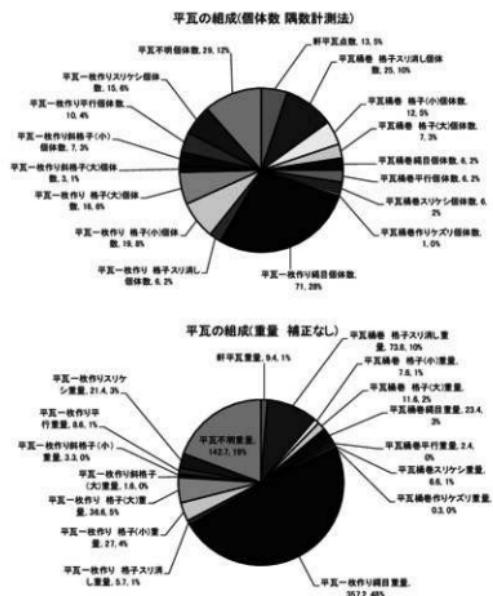


表8 平瓦の組成(隅数計測法・重量)

19-622)が注目される。中でもSKM01B(2次73)は、讃岐国分寺・国分尼寺以外では出土する緑釉瓦(2次図11-12)は、畿外では希少な資料となる。周縁部を欠いた状態であるが、1点のみ出土していることや地方官衙での出土例が希少であることからみて、軒先瓦として部分的に屋根を飾つたと考えられる。

出土した軒先瓦の中には、完形品の出土は確認されていないものの、破片資料から文様構成が判明した一群には、讃岐国府跡に特有の文様構成を探る資料があり、これらを讃岐国府式と呼称する(図65)。KF101は、小さな中房に1+8の蓮子をもち、内区に複弁11葉蓮華文と外区に珠文帯を施し、断面三角形の周縁に線鉛齒文をもつ。複弁とするものの、子葉及び蓮弁内の仕切りは不明確である。焼成はやや軟質か瓦質焼成の資料が多い。

KF201は直線顎をもち、内区に簡略化した唐草文と上・下外区に珠文を施すが、内区と外区の境に界線をもたない。焼成は、KF101と同じくやや軟質か瓦質焼成の資料が多い。

定ライン南側においては、個体数・重量ともに高い値を示す。これについては、7次調査において築地遺構が確認されていることも影響していると考えられるが、その他の調査区においても低地帯3より北側の調査地点と比較して、ほぼ全域で高い値を示していることは注意される。また、この点は、分布調査において確認された瓦の偏在性と共通するものであり、国府城南部の瓦葺建物の存在を傍証するものと考えられる。

軒先瓦

軒先瓦は、開法寺と同范・同紋とした資料が、2次調査段状遺構6・7層から出土したKF101(2次図15-253)・KF103(写真図版5-18)をはじめとして、後世遺構への混入という形で比較的多く出土している。最も離れた地点における開法寺伽藍推定地からの直線距離は約150m離れている。これらは寺院と国衙でどのような使い分けがされていたのかを含め、今後の検討課題となる。開法寺以外の同范・同紋資料では、讃岐国分寺のSKM01B(2次図12-73)、SKM21(図

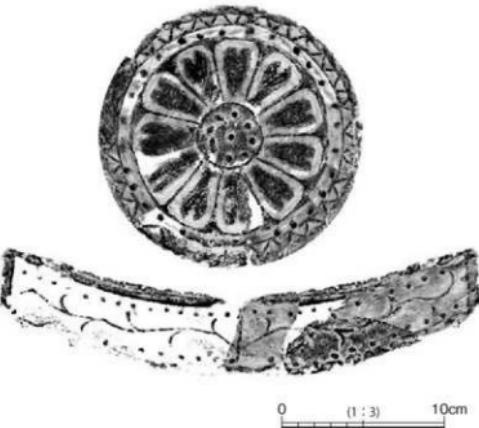


図65 謳岐国府式

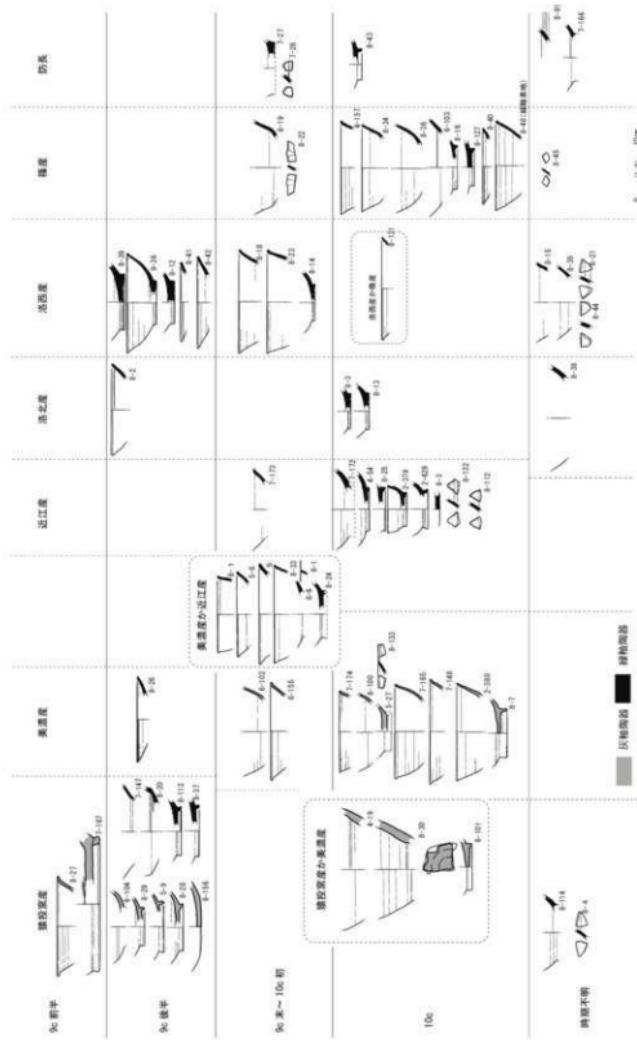


図 66 施釉陶器の产地と変遷

地形から微高地 1 と低地帯 1・2 に区分される。微高地 1 上面で継続している確認調査の成果を待つ必要があるが、2・23 次調査等で出土した多量の瓦や緑釉瓦、国府式瓦の多くは微高地 1 周辺の古代末葉から中世以降に平坦化が進行する低地帯 1・2 もしくは微高地 1 緑辺部から出土していることを考慮すると、元来これらの資料は微高地 1 上面に営まれた建物群に帰属していたと考えられよう。

KF101・201 の組み合わせを推定しうる状態での出土は確認できていないが、胎土・焼成からみてセット関係にあるとみてよいだろう。帰属年代については、推定材料に乏しい。KF101 の周縁の線鋸齒文はやや古相の印象を与えるが、蓮弁の特徴などから、平安期に下る資料と想定しておきたい。KF201 は、7 次 SD80010 下層において、9 世紀代の土器群と共に伴する。詳細な時間的位置づけについては、今後の調査の進捗とともに検討していく必要がある。

分布状況（図 68）は低地帯 3 より北側においても 4 次・6 次調査地において少数確認されているが、低地帯 3 より南側で多く出土しており、先に示した丸・半瓦に符合した分布状況を示すため、中心的な国衙建物を飾った軒先瓦であると考えられる。

以上、分布調査・出土古瓦の分布状況、緑釉瓦や国府式瓦の分布状況の分析から、国府城南部に瓦葺建物群が想定できる。更に国府城南部は、

3. 官衙関連遺物

出土遺物には、施釉陶器や硯など官衙跡跡を中心に出土する資料が多く含まれている。包含層資料や中世以降の遺構への混入資料を含めて、全体相を概観し、分布状況を点検する。

施釉陶器は、猿投窯産から防長産までの複数の製品が9世紀前半代の猿投窯産の灰釉陶器を先駆けとし、10世紀代まで資料が継続的に出土する（図66）。器種は楕・皿が最も多く、少數であるが蓋がみられる。

縁軸・灰釉陶器の分布状況は、鼓岡神社北側を東西に抜ける低地帯3を境にして、北側へ偏る傾向が明瞭に指摘できる。特に6次・8次年度調査地点が際立っており、奢華的食器の集中は、国司館の存在を想起させるものがある。

硯は、円面硯・風字硯・猿面硯・長方硯・転用硯が確認されているが、転用硯の出現頻度が極めて高い点が特徴的である（図67）。転用元となる器種は須恵器蓋が最も多く、須恵器甕胴部片と杯外底面がこれに次ぐ。転用硯の多さは、広い階層による頻繁な文字使用を窺わせる。これらの資料の年代は概ね、円面硯は8世紀から9世紀前葉、風字硯・猿面硯は9～10世紀、長方硯は11～13世紀、転用硯は9世紀前葉を中心として前後の時期の資料が含まれると考えられ、想定される讃岐国府の存続期間を網羅する。出土位置は、昭和2次・6次・8次の3地点にやや集中して出土しているが顕著なものではなく広範囲に分布する状況にある。これらは曹司等の実務的官衙が複数存在していることを表していると考えられる。

また、作業中に越州窯系青磁碗・瓦埠などの希少遺物も数点確認したので、合わせて出土地点を図示した。瓦埠などの特殊遺物は、低地帯3より南側に分布があり、北側においては一切出土していない。出土数は限られるが、瓦埠の分布は、分布調査や出土古瓦の集中域に包括される状況にある。

第2節 遺構

1. 国衙配置の推定

6次調査の大型総柱建物、7次調査の築地遺構、9次調査の大溝・柵列など国衙の存在を示す遺構が確認されてはいるが、現時点では平面的な広がりを明らかにするには至っていない。ここでは、瓦・施釉陶器・硯などの分布状況など

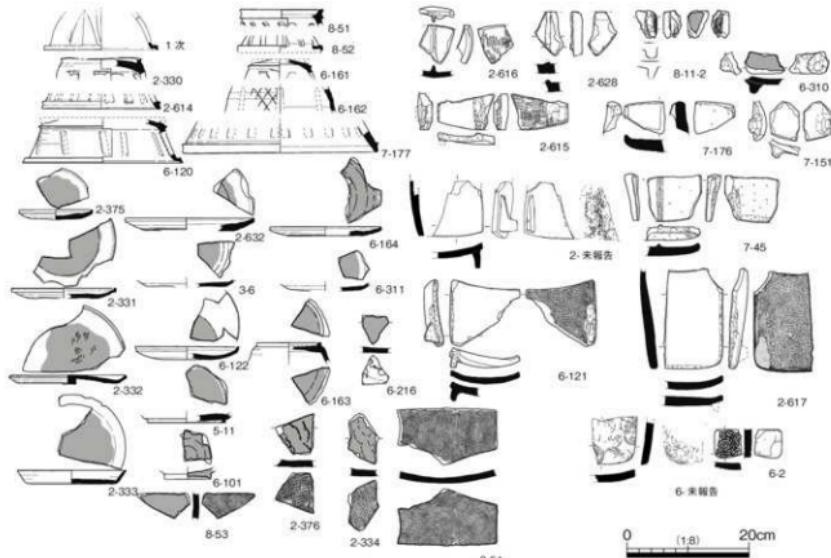


図67 砚集成

※調査次数・論文番号

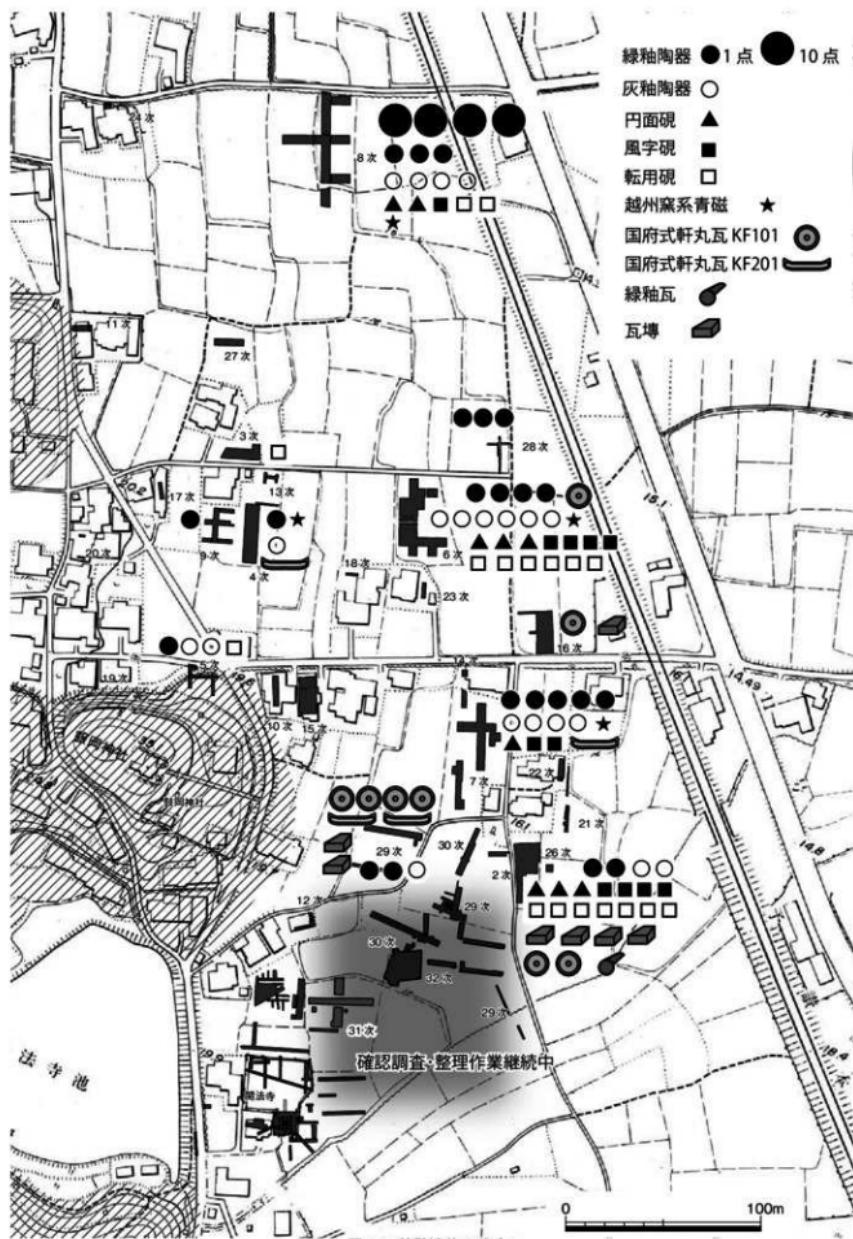


図 68 特殊遺物の分布

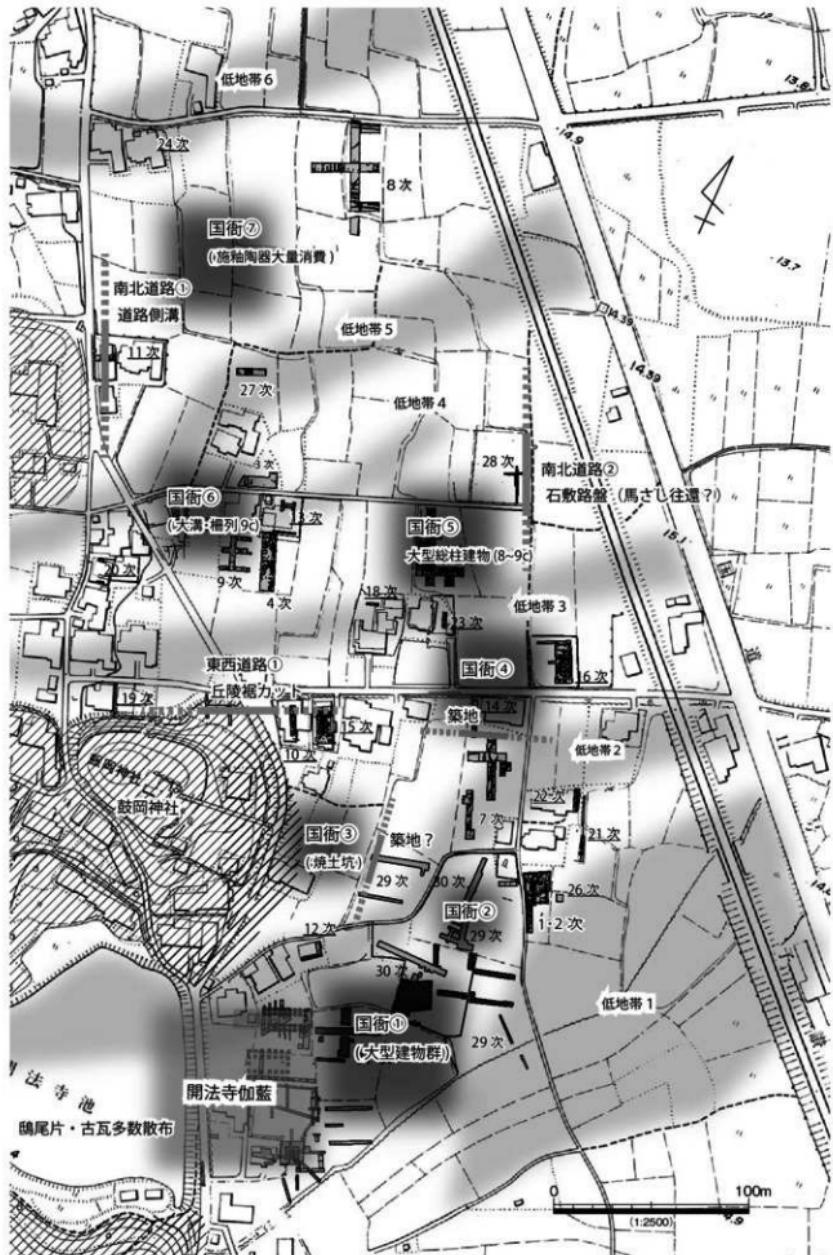


図 69 国衙配置想定図

の検討結果を加え、現時点での讃岐国府内のゾーニングをまとめることで、今後の確認調査の目的を先鋭化させておきたい。また、対象とした瓦や施釉陶器の年代観から、ここでのゾーニング案は平安期の状況を反映している可能性があるが、現時点では素案として提示しておくこととし、時期の細別については今後の発掘調査成果を追加することによって再検討していく必要がある。

瓦は、鼓岡神社北側を東西に延びる南海道推定ラインを境にして、南側に明瞭な分布域を形成する。これより北側では6次、16次・28次調査地点において出土量がやや高くなっている。「讃岐国府式」として型式設定したKF101・KF201の分布は、他の丸・平瓦の分布と同様の傾向に同推定ラインより南側に分布するが、北側においても3次・6次、16次調査地において少数確認されている。「讃岐国府式」の分布傾向は、他丸・平瓦の分布状況と整合した状況にある。瓦塙などの特殊遺物は、同ラインより南側に分布があり、北側においては一切出土していない。

施釉陶器は、ほぼ全城から出土しているが、同推定ラインより北側に主要分布があり、6次・8次調査地点が際立っている。硯は2次・6次・8次調査地に緩やかな集中が確認されているが、古瓦にみられたような低地帯3を境にした南北における面的な差異ではなく、集中地点が点在する状況にある。

これらの遺物の分布状況に検出遺構を加えて讃岐国府におけるゾーニングを総括的に検討する。まず、低地帯3より南側に瓦葺建物群が想定できる。北側においても瓦葺建物によって構成された国衙が存在する可能性があるが、出土量からみて總瓦葺の建物群が展開する状況は推定できない。施釉陶器の集中から、8次調査地周辺の微高地に国司館若しくは国衙が存在する可能性がある。曹司については、集中することなく点在している可能性が高い。

以上のように、既往の調査成果から作業仮説としての国府内のゾーニングが推定できる（図69）。国序等の中枢施設は瓦葺建物で構成されることが予想されるため、その確認は低地帯3以南のエリアで行なうことが適切であると考えられる。その一方で、低地帯3以南のエリアにおいて国序のような一定程度の施設の占有を可能とする地形面の所在地が問題となってくる。低地帯2は、7・29次調査によって8～10世紀段階には凹地として残されていることが明らかになっており、微高地は低地帯1・2間（微高地1）、低地帯2・3間（微高地2）に所在していたと考えられる。これらの内、微高地2は、鼓岡社が乗る丘陵に付着するもので、傾斜がきつく面積もさほど大きくはない。そうだとすれば、微高地1に対象が絞られることとなる。微高地1は、香川県埋蔵文化財センターが乗る丘陵から連続してみられるもので、南西隅の開法寺塔跡から讃岐国府碑のある北西方向に延びているが、低地帯2との関係で微高地上面において一定程度の面積が確保できるのは南半分となる。また、微高地1周辺の2・29次調査において中世遺構や包含層に混入した状態で出土した縁石瓦や讃岐国府式瓦、瓦塙などの遺物は、微高地1上面の削平に伴い、周辺に拡散したと理解することもできよう。

今回報告した発掘調査資料の状況から、今後の発掘調査は開法寺東側の微高地を中心に実施していくべきであろう。

第3節 古代末期の讃岐国府

1. 遺構分布からみた景観

讃岐国府跡において数多く検出されている遺構・遺物は古代末期、中世前期と言っても過言ではない。11世紀段階の遺構については不明な点が多く残るが、12～13世紀については各地点で遺構・遺物が確認されている。遺構は、小型柱穴群（建物群）を中心検出しており、溝や堀による遮蔽施設は不明確であるが、各調査地点において高い割合で井戸が検出されることから、複数の屋敷地が点在する景観を復元できる（図70）。

2. 灯明具

当該期の遺物に特徴的なものとして、灯明具と考えられる資料がある（図71）。燭台形土器として呼称する一群は、貫通する小孔が穿たれた柱状部をもち、小孔を中心にして上部に平坦面が作出される。調整はナデを基調とするが、7次調査包含層出土の資料（図71_7-169）のように、ケズリ調整で柱状部が多角形に仕上げられるものもみられる。用途については長らく不明であったが、上面に後述する灯明具転用をうけた土師質土器皿・杯にみられるような油煙状の付着物を留める資料（図71_9-7）が確認できたことから、当該期の蠟燭そのものの形態や入手経路等を明らかに



図 70 古代末～中世前期の屋敷地の想定と井戸の分布

する必要性は残るが、これらの資料の特徴的な形態や使用痕からみて、燭台として機能を推定することとした。

こうした灯明具がある一方で、土師質土器を転用する資料も散見される（図71下段）。2次段状造構5層土器櫛り、6次包含層資料を中心にして、皿・杯の口縁・見込み部を中心に油煙状の付着物が確認できる。こうした灯明具は、讃岐国内では、空港跡地遺跡F地区区画1のような居館（香川県教委他2000）や、港町としての機能をもつ高松市浜ノ町遺跡（香川県教委他2004）や宇多津町伊勢町遺跡の出土資料（米崎・乗松2003）を中心に13世紀代以降に普遍化していく状況が知られており、讃岐国府跡の事例は先駆的と評価できる。

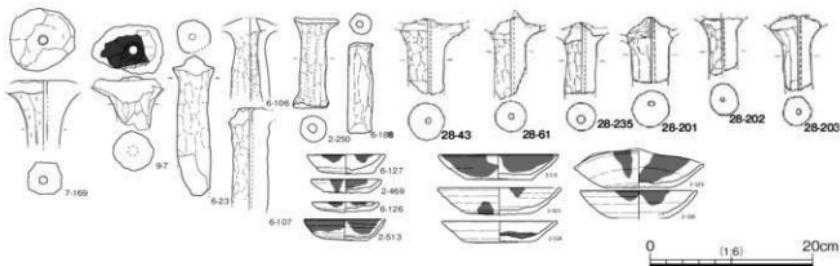


図71 灯明具と考えられる資料

2. 中国産磁器

昭和50年代に行われた第2・4～8次調査では、輸入陶磁が出土した。その総数は接合作業後の破片点数で786点（註1）であり、香川県内における中世前期遺跡での出土量としては最多となる。現段階で把握できるのは中国産磁器のみであり、陶器や高麗青磁は確認していない。本来であれば、その後の坂出市教委調査分や平成21年度以降の当センターの出土事例を加えた総合的な分析が必要であるが、ここではそのための叩き台として、所見を記しておく。なお以下の分類は、特記しない限り大室府分類（註2）を示す。

【讃岐国府跡での様相】

国府跡出土中国産磁器は、讃岐における前近代の在地土器編年（註3）IV期新相（10世紀前葉後半～中葉前半）を上限とし、IX期（14世紀中葉～15世紀前葉）を下限とする年代幅で捉えられる。

年代の上限は、越州窯青磁は出土状況から推測すると、白磁I類と同様に大室府磁器区分B期（10世紀後半～11世紀中葉）を遡るものではないと判断される。また下限については、X・XI期の在地土器に伴うと見られる漳州窯系染付皿が複数確認できる（カウントには入れていない）ものの、県内他遺跡ではX期に出現・普及している景德鎮窯系染付椀・皿や端反りの白磁皿（森田分類E-2類）が認められず、粗製の龍泉窯系青磁IV類椀もしくは上田分類D類椀と口禿の白磁IX類皿のセットを最終段階と見なすことができる。上記年代幅の中でも、在地土器VII期（12世紀後葉～13世紀中葉）が最も出土量の増加することが予測されるが、あくまで廃棄年代であることに留意しておく必要はあろう。

出土状況は大半が遺物包含層（耕作土含む）からの出土であり、遺構内のまとまった内容の土器群を構成するものは皆無に近い。このことは、在地土器との廃棄一括性や局所的な分布の偏在傾向といった、時間・空間的な枠組みでの考察を難しくさせる。以下では、そのようなミクロに分解する分析ではなく、調査地点とその周辺での平均的な一定期間における累積量を示唆する資料として、中国産磁器を扱いたい。幸い、当該調査区の面積は2,147m²であり、広範な遺物・遺構分布を示す包蔵地としての讃岐国府跡の中ではポイント的な出方ともいえ、検出遺構群の年代幅や性格とも一定程度の関連性を考えることはできよう。

【組成の特徴】

分類別の破片点数の詳細は表10に譲り、組成の特徴を略記する。大別すると白磁611点・青白磁2点・青磁173点（うち越州窯系4点・龍泉窯系93点・同安窯系71点）、すなわち白磁77.7%・青磁22.0%となり、白磁が圧倒的に多い比率が示される。ただし上記のような出土状況を勘案すると、この比率は直接的に特定の年代の傾向を示すものでは

ない。

器種別に見ると、白磁では楕（小楕含む）494点・皿100点・鉢2点・壺（四耳壺・水注・小壺）15点、青磁では楕（小楕・浅形楕含む）132点・皿30点・香炉2点である。白磁・青磁とともに楕が主体で、皿が楕の1/5程度存在し、この2者すなわち供器種のみで大半を占める。白磁四耳壺のような奢侈品は、極めて少量にとどまる。

白磁楕を型式別に見ると、I類3点・II類35点・IV類255点・V類107点・VI類10点・VII類1点・VIII類49点・XI類4点・XIII類1点であり、楕の過半が玉縁状口縁を伴う粗製のIV類である。

県内ではまだ類例がないI類が、少数ながら見られることは注目される。また、越州窯系青磁がI類楕3点と壺1点見られる。これ以外にもI類楕が1点紹介されている（註4）ので、讃岐国府跡出土の越州窯系青磁は5点ということになり、現段階での県内出土例10点（註5）の半数を占めることになる。これらは、国府における中国産磁器の使用年代開始の早さと遺跡の特殊性を反映する要素といえよう。

龍泉窯系青磁楕は、劃花文に代表されるI類55点、蓮弁文の施されたII類21点と前者が多い。同安窯系青磁楕は、大半が内湾気味の直口縁をもち櫛目文が多用されるI類（42点）である。また青磁皿では同安窯系I類が圧倒的に多い。

【県内諸遺跡との比較】

国府の様相を在地土器VI・VII期の県内諸遺跡と比較する（表8）。当該期の遺跡からは中国産磁器が普遍的に出土するものの、多くが20点未満にとどまっているため、全遺跡にわたる細かな要素での比較は難しい。とはいって一定量の出土が見られる事例、例えば高松城跡西の丸町A～C地区の港湾関連遺構からは、白磁楕II類2点・IV類25点・V類13点・VII類4点・皿III類2点・VI類1点、青白磁合子1点、龍泉窯系青磁楕I類4点・II類2点、同安窯系青磁楕I類8点・III類1点、皿I類1点が出土しており（註6）、その量比は讃岐国府跡に極めて近似した傾向をもつことが分かる。つまり組成は、国府も他遺跡もほぼ共通していることが推測される。

以上を踏まえた上で、各遺跡（調査区）に中国産磁器がどの程度もたらされているのかを表8に示した。面積は、出土陶磁器と関連性をもつと考えられる遺構の広がりの概算であり、調査区全体の面積ではないことに留意されたい。まず讃岐国府跡では、中国産磁器出土の最も集中する第2・6次調査分で1.45 m²当たり1点、全調査区合計分で2.87 m²当たり1点出土していることになる。在地の有力階層の居館と推測される遺跡では、西打遣跡B2区建物群（VII期新相）で378.50 m²当たり1点、空港跡地遺跡F地区区画1（VII期古相～VIII期古相）で310.87 m²当たり1点となり、国府合計分の1/100未満の出土密度ということが分かる。今回は集計に至っていないが、陶磁器の保有量でさほど居館との差異が指摘できない一般集落も、おそらく同程度の密度であろう。

国府と居館の中間の出土密度に位置付けられる遺跡が、2種類ある。一つは港湾施設やそれに近接・関連すると見られる流通中継点の遺跡（註7）である。汀線前面で礪敷き遺構（荷揚げ場）が検出された高松城下層遺跡（西の丸町B・C地区）では20.56 m²当たり1点、古・高松湾に面した海浜部の木太中村遺跡では32.10 m²当たり1点、児島の下津井を補完する港湾機能を有していた可能性がある櫛石島大浦浜遺跡では59.63 m²当たり1点であり、若干のばらつきがあるものの国府合計分の1/10～1/15程度の密度が読み取れる。もう一つは、手工業生産に関わる生産遺跡である。国府の南4kmに展開する陶工の同職集落と見られる西村遺跡では、小型窯と建物群がセットで捉えられる可能性のある箇所で平均33.21 m²当たり1点の密度である。周辺に灌漑網を伴い、おそらく農業と鍛冶を生業としていたと見られる西末則遺跡J区建物群では、117.44 m²当たり1点とやや疎らになる。より農業への依存度が低いと考えられる西村遺跡で、流通中継点に近い出土密度をもつことに留意したい。

以上、国府での中国産磁器の出土密度は、在地の居館の100倍以上、生産遺跡の10～40倍、流通中継点の10～15倍、と整理することができる。表9に挙げる他地域での事例と比較すると、四万十川下流域の流通中継点と推測される具同中山遺跡（11～13世紀、高知県中村市）では16.27 m²当たり1点であり、高松城下層に近い、淀川北岸で山陽道に隣接する宮田遺跡A・B区集落（12世紀中葉～後半、大阪府高槻市）では5.17 m²で1点、上牧遺跡（11～14世紀）では95 m²で1点とばらつく（註8）が、讃岐の流通中継点を上回る出土密度と捉えることができる。博多遺跡群地下鉄1号線A・B区、祇園駅出入口2・3区（註9）では、11～16世紀までの年代幅ではあるが0.03 m²で1点となり、讃岐国府の100倍程度の出土密度を示す。鎌倉の若宮大路に近接した武家屋敷（註10）では、藏屋敷遺跡

で 0.74 m²当たり 1 点、藏屋敷東遺跡で 0.79 m²当たり 1 点であり、讃岐国府の 4 倍程度の出土密度を示す。平泉の柳御所遺跡（註 11）では、内部地区（堀の内側）で 33.33 m²に 1 点、外部地区で 7.69 m²に 1 点であり、それぞれ讃岐国府の 1/10、1/4 程度となる。ただし柳御所遺跡では出土破片数の 7 割が白磁壺類であり、奢侈品に重点が置かれた組成を取るという顕著な特徴がある。鎌倉も同様であり、これらは讃岐国府のあり方とは対照的であることは押さえておく必要があろう。

【国府という場の特質】

在地土器 VI・VII 期における讃岐国府での中国産磁器のあり方は、①讃岐国内においては最多で圧倒的な出土密度を示すという量的特徴、②組成は他の遺跡と共通して奢侈品が少ない傾向にあるという質的特徴を、それぞれ確認することができた。先行する在地土器 IV・V 期における越州窯系青磁（I 類碗）や邢窯・定窯系白磁（I 類碗）、といった精製品主体の状況は特徴②とは異質であるが、これらと同時共存した可能性のある国産施釉陶器が特徴②を先駆的に示すことも考えられる。

ところで讃岐国府における国産土器供膳器種は未だ数量的な把握を行っていないが、感覚的には同時期の他遺跡を大きく超えるような出土量は見出し難いといえる。つまり、最もベーシックな食器である在地土器と若干の畿内系土器が通常の形で存在するのに対し、中国産磁器は非奢侈品を主体に突出して過剰に存在していると評価できる。このような、「食器としての中国産磁器の絶対的過剰傾向」に、ステータス・シンボルとは異なる搬入事情を想定せざるを得ない（平泉における多量の白磁壺類の存在との質的相違）。

例えば「讃岐国府では中国産磁器限定で通常を超える大量消費が行われた」という解釈は、可能だろうか。潜在的な中国産磁器消費の志向が、国府という場で顕著に現れたと見るわけだが、その場合、(1) 消費サイクルが著しく短くなる（讃岐国内通常の 1/10 ~ 1/100 のサイクルで）、(2) 中国産磁器の使用者が著しく増加する（単位面積当たり通常の 10 ~ 100 倍の増加）、という個別事象ないしその組み合わせを想定する必要があろう。しかし坂出市教委の調査分を含めても、建物構造の数や規模の著しい増加・增大を認めるのは難しく、(2) のような事象は想定できない。また、短期での使い捨てを示唆するような一括廃棄も認められないと、VII 期古相までの在地土器碗・杯・小皿は安定的に存在するのに VII 期には出現している龍泉窯系青磁碗 II 類（蓮弁文タイプ）の量は既述のようにかなり少ないと、などから急速な新陳代謝的使用が考え難いため、(1) の想定も難しい。やはり讃岐国府での中国産磁器には、遺跡内の消費量を超えた余剰品の保有がかなり認められる可能性が指摘できよう。遺跡の個別の事情を弾力的に考慮する必要はあるが、高松城下層遺跡でのあり方を参考にすると、讃岐では 30 m²当たり 1 点を超えるような高密度出土例を目安として、その場での余剰品・交易品の可能性を考えてもよいのではないだろうか。

高密度に出土する中国産磁器に交易品としての性格を考えるとすれば、讃岐国府は 12 世紀後葉～13 世紀中葉における讃岐最大の交易品の保有地ということになる。その具体的なあり方については当該期の遺構論の深化を待つ必要があるが、中国産磁器が博多を対外的な窓口として二次的に国内流通したことは大枠では認められるであろうから、博多を起点とした二次的・三次的な西日本の流通網に国府の經營層（註 12）が何らかの形で関与したことが考えられる。

中世瀬戸内海の土器・陶磁器流通を素描した吉岡康暢氏の所論（註 13）では、12 世紀中葉～13 世紀前半の中国陶磁は「博多・大宰府の寺社が京・畿内の寺社権門の末寺化し、宋商人をはじめとする商僧も神人として組織され、京商人の主導下に瀬戸内を基幹コースとする求心流通が促進された」としている。その上で、都市だけでなく村落レベルにまで広範に中国陶磁が流通するのは、瓦器碗や東播系須恵器等の主体的な分布圏に表れる「大地域経済圏」の複合による広域海運網の確立と一体化的な事象、として理解されている。いわば大都市を主目標とする飛び石的な遠隔地流通と、1 国～隣接諸国の経済圏の連鎖による地域間流通の 2 つのあり方が構想されているわけである。讃岐国府への中国産磁器の搬入を、後者のようなモデルで捉えられるとすれば、高松城下層遺跡のような讃岐沿岸部に点在する港湾に個別に荷揚げされたものが国府へと集積されたと見ることが可能である。既述のように国府の中国産磁器の多くは余剰品・交易品の可能性があるため、交易中縦点としての港湾（VI・VII 期にはまだ港町ではない）からかなりの量を引き寄せる強い吸引力をもつ装置（例えば市のどのようなもの）の存在が想定される。その場合、野原（高松城下層）では中国産磁器以上に和泉型瓦器碗・皿（I・II 期主体）が組成の中心を占めているが、讃岐国府では瓦器は標準的な組成比であることが見込まれるため、中国産磁器に特化した吸引力が發揮されたことになる。あるいは瓦器は、高

松平野以東特に顕著な存在感を示すため、専ら坂出平野以西の港湾経由で中国産磁器がもたらされたのだろうか。いずれにしても、流通中継点と国府との間にかなり並んだモノの流れ方を想定せざるを得なくなる、という難点がある。

かかる意味で、国府の南4kmの綾川上流域で操業していた十瓶山窯製品の広域分布が注目される。十瓶山窯産廃は讃岐のほぼ全域の中世遺跡で確認できるが、讃岐以外では京都周辺と博多・大宰府周辺に事例の集中域があり（註14）、瀬戸内北岸の山陽諸国では現段階でもほとんど認めることができない。こうした分布状況は、生産地を中心にして次第に分布量を減していくような同心円的な分布とは明らかに異質であり、明確に博多と京都に焦点を当てた流通のあり方が讃岐を起点に形成されていたことを示唆する。ところで十瓶山窯での同職村落的性格をもつ西村遺跡では、讃岐の流通中継点同等の中国産磁器出土密度をもつ（第1表）ことが注目でき、十瓶山窯での中国産磁器のあり方と、北部九州（博多）での十瓶山窯産廃のあり方は、あくまで讃岐からの視点ではあるが相補的と評価できよう。在地向けの西村型土器窯の流通が内陸部交通に大きく依拠していると推測されること（註15）を踏まえると、十瓶山窯の生産集団が中国産磁器の流通にも関与していた可能性が指摘できる。十瓶山窯では、白磁四耳壺を模倣した須恵器壺も製作されている。数としては少数派ではあるが中国産磁器模倣を明確に指向した生産は、同時期の東播系諸窯や亀山窯・勝間田窯では認められず、中国陶磁に対する十瓶山窯生産集団の強い関心がうかがわれる。そして十瓶山窯の所在地は、1256年（建長8）の「八坂神社文書」（「讃岐国司庁宣」）に「陶保」と見え、13世紀以前に成立した公領（国領）であることが確認できる。したがって、十瓶山窯と博多の相補的な遺物のあり方は、十瓶山窯生産集団が独自にもたらしたというよりも讃岐国府の経営層との強い繋がりによって可能になったと見る方が妥当ではないか。

むしろ、この吸引力を生み出した国府経営層の主体性を積極的に評価するのであれば、経営層の中核を担つたであろう在庁官人たちの経済活動という側面に焦点が当たられる。具体的には、国府に付随する交通機能を媒介して中国産磁器を入手した可能性である。

9世紀末葉、讃岐国司菅原道真（在任886～889：仁和2～寛平1）の漢詩「寒草十首」で「ただ要む／雇ひを受くること頗ならむことを」と詠われた「賃船人」は、国府津である松山津周辺（註16）に居住し貢納物回漕を請け負う梶取のことと推測され、1306年（嘉元4）の「昭慶門院御領目録案」に見える梶取名のように13～14世紀には給免田を与えられて依然国府と関連を有すると考えられる。また、平家に離反し備中水島に攻め上がり、敗退後には淡路福良まで逃走した「讃岐の在庁ども」を支えた機動力としても、これら梶取／船頭の存在が注目される。さらに1246年（寛元4）、海賊を追討した御家人の藤左衛門尉は在庁の流れを汲み、追討のための独自の海上機動力を基盤としていたことが想定される。以上から、12～13世紀の在庁官人が独自に「職人的海民」（註17）との繋がりを保有し続けたことは明らかで、「商品」としての中国産磁器が、国府という権力機構を構成する在庁たちの吸引力に依拠して流通する（再分配される）、という交易形態を考えておきたい。同様なあり方は周防においても指摘でき、周防国府を最多としながら吉敷郡周辺（吉田遺跡）にも中国陶磁が顕著に認められるのは、国府と吉敷郡に本拠をもつ大内氏（多々良氏）をはじめとする周防国在庁の経済活動の一環として理解できる。

在地土器Ⅷ期新相ないしⅨ期には、讃岐国府での中国産磁器（白磁皿IX類を指標）は激減する。これに対しIX期の流通中継点である浜ノ町遺跡では40.27m²當り1点の出土密度が見られ、この時期に急速な集落形成が進む港町でのあり方をよく示している。国府の一極的な求心力が低下し、それに代わる港町での多極的な流通の定着過程が、そこには反映されているのではないだろうか。

今回分類した中国産磁器は、報告・未報告資料に関わらず破片毎に型式を特定し、個別にメモ写真を添えてデータ化した上で収納している。限られた時間での整理ということもあり、一部に帰属型式が確定的でない状態のものもあるが、将来行われるであろう総括的な分析において個別の型式の確定とその組成のもつ意味がより明確にされることを期待したい。なお整理にあたり、中島恒次郎（太宰府市都市計画課）・片桐孝浩（香川県教育委員会）・上野進氏（香川県文化振興課）各氏の御教示を得た。

註

- 1.渡部明夫 1982「讃岐出土の輸入陶磁」(『森貞次郎博士古稀記念古文化論集』)によると、第6次調査(1979年度、渡部氏は1977年度の「第5次調査」とするが、記述内容から1979年度の誤記と判断される)での輸入陶磁出土量を約680片とするが、今回の抽出作業では第6次調査出土点数は290点であり、大きく異なる。おそらく原稿執筆時(「1980年度までに6地点の発掘調査を実施したが」とあることから第7次調査までの発掘成果に接していたことになる)での讃岐国府跡出土総点数を渡部氏がカウントした個数が示されているのではないか。
- 2.太宰府市教育委員会 2000「大宰府条坊跡XV 陶磁器分類編」
- 3.佐藤竜馬 2015「讃岐における古代～中世土器編年をめぐる基礎作業(I) 9世紀後葉～11世紀前葉の供器器種」『香川県埋蔵文化財七十年報』平成26年度
- 4.片桐孝浩 1992「考察 古代から中世にかけての土器様相」『中小河川大東川改修工事(津ノ郷橋～弘光橋)』に伴う埋蔵文化財発掘調査報告 『川津元結木道跡』(財)香川県埋蔵文化財調査センターほか
- 5.諸岐国府跡5点、作田八丁道路1点(楢)、旧鎌兵場道路1点(木水)、下川津道路1点(楢)、大浦浜道路2点(楢)
- 6.報告資料として抽出された数であり、全出土点数ではないものの、大勢としては大きな変化はないと考える。
- 7.流通中盤「点」としたのは、まだこの時期には港湾と集落が一体化したような「港町」が本格的な形成に至っていないと見られるところによる。この類型の3道跡は、直近に建物遺構が認められない海浜部での状況が想定できる。区間から「港町」的な景観が形成される(浜ノ町道跡)が、それはこの道跡が所在する野原や、讃岐を代表する港町の宇多津・仁尾・志度などの町場形成と相前後して連動する現象と捉えられる。
- 8.橋本久和 1984「高柳市上牧・宮田遺跡出土の中国陶磁」『貿易陶磁研究』No.4、日本貿易陶磁研究会
- 9.池崎謙二 1984「博多出土陶磁器の組成について」『貿易陶磁研究』No.4、日本貿易陶磁研究会
- 10.手塚直樹 1984「築食出土の陶磁器について」『貿易陶磁研究』No.4、日本貿易陶磁研究会
- 11.八重樋忠郎 1996「輸入陶磁器から見た柳原跡一内部地区と外部地区」『中近世土器の基礎研究』X I、日本中世土器研究会
- 12.この時期の諸岐国府には留守所(1062～1292年：康平5～正応5まで文書発給)が置かれ、在地有力層や土着貴族層からなる在官人がいたことが諸史料から確認できる。留守所の文書を見ると、当初は在地有力層(佐伯・月・綾等)が「府老」「大団造」「大掾」を名乗る役階があり、1084年(応徳1年)以降は中央貴族(藤原・橘・紀等)が大介として署名し在地有力層の連署が見られなくなる段階へと変化するが、このことはもちろん在地有力層の凋落を示すのではないことは、1184年(寿永3)に平家から離反した「阿波讃岐の在庁ども」(『平家物語』)で、源頼朝の御家人となった14名(『吾妻鏡』)のうち藤大夫資光以下6名が綾氏の流れを汲む讃岐藤原氏、5名が三野首領の一旗であることからもうかがえる。
- 13.吉岡康暢 1997「新しい交易体系の成立」『考古学による日本歴史』9 交易と交通、雄山閣
- 14.博多道路群では、報告書掲載分だけでも十瓶山窯発掘の可能性をもつものが14例認められる。これに大宰府、武藏寺経塚(福岡県筑紫野市)、山ノ下経塚(大分県中津市)、鏡神社経塚(佐賀県唐津市)等の事例を加えると、博多を中心とした北部九州に明確な分布集中域が認められる。
- 15.高松城下層の港湾施設周辺では、西村型土器楢の存在は極めて少数派であり、沿岸部海上交通による讃岐国内の流通はさほど顕著ではなかったといえる。
- 16.「松山津」は、しばしば比定地が取沙汰される雄山・越山東側の内海部(松山郷)にとどまらず、広義はその西側の旧綾川河口部周辺(林田郷)を含めた方が、国府津としての機能をより明確に示せると考える。桜取名(現在の坂出市林田町東楢・西楢)や、臨海部の交易中継点と推測される總社神社道跡(8～12世紀)は、林田郷に存在する。
- 17.網野善彦 2000「海民の諸身分とその様相」『網野善彦著作集第7巻 中世の非農業民と天皇』岩波書店(初出は1971)

種別	遺跡名	面積(m ²)	対象範囲	点数/m ²	m ² /点	出土点数
国府	讃岐国府跡	2255	全調査区合計	0.349点/m ²	2.87m ² /点	786
		2147	輸入陶磁出土地区合計	0.366点/m ²	2.73m ² /点	786
		920	1977・79限定	0.691点/m ²	1.45m ² /点	636
流通中継点	大浦浜遺跡	23100	全調査区合計	0.017点/m ²	59.63m ² /点	394
	木太中村遺跡	642	調査区全体	0.031点/m ²	32.1m ² /点	20
	高松城西の丸町B・C	1357	礎敷き周辺	0.049点/m ²	20.56m ² /点	66
生産集落	西村遺跡II・III	4113	Ⅱ 西村北地区東部	0.019点/m ²	51.41m ² /点	約80
		1529	Ⅱ 川北地区	0.013点/m ²	76.45m ² /点	20
		2728	Ⅲ 山原地区	0.056点/m ²	17.95m ² /点	152
		8370	上記3地点合計	0.030点/m ²	33.21m ² /点	252
		5050	屋敷地2単位	0.008点/m ²	117.44m ² /点	約43
居館	西打遺跡B・C区	3028	屋敷地56.5×53.6m	0.0026点/m ²	378.50m ² /点	8
	空港跡地IV区画1	14300	屋敷地110×130m	0.0032点/m ²	310.87m ² /点	46
博多地下鉄1号線A・B区						
博多祇園駅出入口2・3区						
上記合計						
宮田遺跡A・B区						
鎌倉戸敷跡						
鎌倉戸敷跡東遺跡						
具同中山遺跡						
浜ノ町遺跡						

表8 讃岐国府跡中国磁器出土点数と県内・外主要遺跡との比較

遺跡名	調査次数	出土遺構	所属時期				文献
			V古・中	VI新	V古	VI中・新	
博多遺跡群	70号井戸				2		福岡市教委1988『福岡市埋蔵文化財調査報告書第184集 都市計画道路博多駅前線開削調査報告書』、福岡市教委1989『福岡市埋蔵文化財調査報告書第205集 都市計画道路博多駅梁塀線開削調査報告書』、福岡市教委1995『福岡市埋蔵文化財調査報告書第394集 博多45番地遺跡第77次調査の概要』、福岡市教委1997『福岡市埋蔵文化財調査報告書第522集 博多57番地遺跡第85次調査の概要』、福岡市教委2002『福岡市埋蔵文化財調査報告書第706集 博多80番地所蔵跡地遺跡開削調査報告書』、福岡市教委2005『福岡市埋蔵文化財調査報告書第848集 博多102番地遺跡第142次調査の概要』、福岡市教委2010『福岡市埋蔵文化財調査報告書第1086集 博多135番地遺跡群第172次調査報告』、福岡市教委2011『福岡市埋蔵文化財調査報告書第1125集 博多142番地遺跡群第182次調査報告』、福岡市教委2013『福岡市埋蔵文化財調査報告書第1197集 博多144番地遺跡群第191次調査報告』。
	SK33		1				
	954号土坑	1					
	77-490号遺構	1					
	85-1443号遺構	1					
	425号遺構	1					
	142-SE-159	1					
	SD240	1					
	172-SK288	1					
	D区SK-539	1					
合計				3	8	0	3
						14	

表9 博多遺跡群出土の十瓶山窯産の可能性をもつ須恵器発

年 月 日	金 額		備 考
	借 入	支 出	
10/11	1	1	
10/12	1	1	
10/13	1	1	
10/14	1	1	
10/15	1	1	
10/16	1	1	
10/17	1	1	
10/18	1	1	
10/19	1	1	
10/20	1	1	
10/21	1	1	
10/22	1	1	
10/23	1	1	
10/24	1	1	
10/25	1	1	
10/26	1	1	
10/27	1	1	
10/28	1	1	
10/29	1	1	
10/30	1	1	
10/31	1	1	
11/1	1	1	
11/2	1	1	
11/3	1	1	
11/4	1	1	
11/5	1	1	
11/6	1	1	
11/7	1	1	
11/8	1	1	
11/9	1	1	
11/10	1	1	
11/11	1	1	
11/12	1	1	
11/13	1	1	
11/14	1	1	
11/15	1	1	
11/16	1	1	
11/17	1	1	
11/18	1	1	
11/19	1	1	
11/20	1	1	
11/21	1	1	
11/22	1	1	
11/23	1	1	
11/24	1	1	
11/25	1	1	
11/26	1	1	
11/27	1	1	
11/28	1	1	
11/29	1	1	
11/30	1	1	
12/1	1	1	
12/2	1	1	
12/3	1	1	
12/4	1	1	
12/5	1	1	
12/6	1	1	
12/7	1	1	
12/8	1	1	
12/9	1	1	
12/10	1	1	
12/11	1	1	
12/12	1	1	
12/13	1	1	
12/14	1	1	
12/15	1	1	
12/16	1	1	
12/17	1	1	
12/18	1	1	
12/19	1	1	
12/20	1	1	
12/21	1	1	
12/22	1	1	
12/23	1	1	
12/24	1	1	
12/25	1	1	
12/26	1	1	
12/27	1	1	
12/28	1	1	
12/29	1	1	
12/30	1	1	
12/31	1	1	
1/1	1	1	
1/2	1	1	
1/3	1	1	
1/4	1	1	
1/5	1	1	
1/6	1	1	
1/7	1	1	
1/8	1	1	
1/9	1	1	
1/10	1	1	
1/11	1	1	
1/12	1	1	
1/13	1	1	
1/14	1	1	
1/15	1	1	
1/16	1	1	
1/17	1	1	
1/18	1	1	
1/19	1	1	
1/20	1	1	
1/21	1	1	
1/22	1	1	
1/23	1	1	
1/24	1	1	
1/25	1	1	
1/26	1	1	
1/27	1	1	
1/28	1	1	
1/29	1	1	
1/30	1	1	
1/31	1	1	
2/1	1	1	
2/2	1	1	
2/3	1	1	
2/4	1	1	
2/5	1	1	
2/6	1	1	
2/7	1	1	
2/8	1	1	
2/9	1	1	
2/10	1	1	
2/11	1	1	
2/12	1	1	
2/13	1	1	
2/14	1	1	
2/15	1	1	
2/16	1	1	
2/17	1	1	
2/18	1	1	
2/19	1	1	
2/20	1	1	
2/21	1	1	
2/22	1	1	
2/23	1	1	
2/24	1	1	
2/25	1	1	
2/26	1	1	
2/27	1	1	
2/28	1	1	
2/29	1	1	
2/30	1	1	
2/31	1	1	
3/1	1	1	
3/2	1	1	
3/3	1	1	
3/4	1	1	
3/5	1	1	
3/6	1	1	
3/7	1	1	
3/8	1	1	
3/9	1	1	
3/10	1	1	
3/11	1	1	
3/12	1	1	
3/13	1	1	
3/14	1	1	
3/15	1	1	
3/16	1	1	
3/17	1	1	
3/18	1	1	
3/19	1	1	
3/20	1	1	
3/21	1	1	
3/22	1	1	
3/23	1	1	
3/24	1	1	
3/25	1	1	
3/26	1	1	
3/27	1	1	
3/28	1	1	
3/29	1	1	
3/30	1	1	
3/31	1	1	
4/1	1	1	
4/2	1	1	
4/3	1	1	
4/4	1	1	
4/5	1	1	
4/6	1	1	
4/7	1	1	
4/8	1	1	
4/9	1	1	
4/10	1	1	
4/11	1	1	
4/12	1	1	
4/13	1	1	
4/14	1	1	
4/15	1	1	
4/16	1	1	
4/17	1	1	
4/18	1	1	
4/19	1	1	
4/20	1	1	
4/21	1	1	
4/22	1	1	
4/23	1	1	
4/24	1	1	
4/25	1	1	
4/26	1	1	
4/27	1	1	
4/28	1	1	
4/29	1	1	
4/30	1	1	
5/1	1	1	
5/2	1	1	
5/3	1	1	
5/4	1	1	
5/5	1	1	
5/6	1	1	
5/7	1	1	
5/8	1	1	
5/9	1	1	
5/10	1	1	
5/11	1	1	
5/12	1	1	
5/13	1	1	
5/14	1	1	
5/15	1	1	
5/16	1	1	
5/17	1	1	
5/18	1	1	
5/19	1	1	
5/20	1	1	
5/21	1	1	
5/22	1	1	
5/23	1	1	
5/24	1	1	
5/25	1	1	
5/26	1	1	
5/27	1	1	
5/28	1	1	
5/29	1	1	
5/30	1	1	
5/31	1	1	
6/1	1	1	
6/2	1	1	
6/3	1	1	
6/4	1	1	
6/5	1	1	
6/6	1	1	
6/7	1	1	
6/8	1	1	
6/9	1	1	
6/10	1	1	
6/11	1	1	
6/12	1	1	
6/13	1	1	
6/14	1	1	
6/15	1	1	
6/16	1	1	
6/17	1	1	
6/18	1	1	
6/19	1	1	
6/20	1	1	
6/21	1	1	
6/22	1	1	
6/23	1	1	
6/24	1	1	
6/25	1	1	
6/26	1	1	
6/27	1	1	
6/28	1	1	
6/29	1	1	
6/30	1	1	
7/1	1	1	
7/2	1	1	
7/3	1	1	
7/4	1	1	
7/5	1	1	
7/6	1	1	
7/7	1	1	
7/8	1	1	
7/9	1	1	
7/10	1	1	
7/11	1	1	
7/12	1	1	
7/13	1	1	
7/14	1	1	
7/15	1	1	
7/16	1	1	
7/17	1	1	
7/18	1	1	
7/19	1	1	
7/20	1	1	
7/21	1	1	
7/22	1	1	
7/23	1	1	
7/24	1	1	
7/25	1	1	
7/26	1	1	
7/27	1	1	
7/28	1	1	
7/29	1	1	
7/30	1	1	
7/31	1	1	
8/1	1	1	
8/2	1	1	
8/3	1	1	
8/4	1	1	
8/5	1	1	
8/6	1	1	
8/7	1	1	
8/8	1	1	
8/9	1	1	
8/10	1	1	
8/11	1	1	
8/12	1	1	
8/13	1	1	
8/14	1	1	
8/15	1	1	
8/16	1	1	
8/17	1	1	
8/18	1	1	
8/19	1	1	
8/20	1	1	
8/21	1	1	
8/22	1	1	
8/23	1	1	
8/24	1	1	
8/25	1	1	
8/26	1	1	
8/27	1	1	
8/28	1	1	
8/29	1	1	
8/30	1	1	
8/31	1	1	
9/1	1	1	
9/2	1	1	
9/3	1	1	
9/4	1	1	
9/5	1	1	
9/6	1	1	
9/7	1	1	
9/8	1	1	
9/9	1	1	
9/10	1	1	
9/11	1	1	
9/12	1	1	
9/13	1	1	
9/14	1	1	
9/15	1	1	
9/16	1	1	
9/17	1	1	
9/18	1	1	
9/19	1	1	
9/20	1	1	
9/21	1	1	
9/22	1	1	
9/23	1	1	
9/24	1	1	
9/25	1	1	
9/26	1	1	
9/27	1	1	
9/28	1	1	
9/29	1	1	
9/30	1	1	
10/1	1	1	
10/2	1	1	
10/3	1	1	
10/4	1	1	
10/5	1	1	
10/6	1	1	
10/7	1	1	
10/8	1	1	
10/9	1	1	
10/10	1	1	
10/11	1	1	
10/12	1	1	
10/13	1	1	
10/14	1	1	
10/15	1	1	
10/16	1	1	
10/17	1	1	
10/18	1	1	
10/19	1	1	
10/20	1	1	
10/21	1	1	
10/22	1	1	
10/23	1	1	
10/24	1	1	
10/25	1	1	
10/26	1	1	
10/27	1	1	
10/28	1	1	
10/29	1	1	
10/30	1	1	
10/31	1	1	
11/1	1	1	
11/2	1	1	
11/3	1	1	
11/4	1	1	
11/5	1	1	
11/6	1	1	
11/7	1	1	
11/8	1	1	
11/9	1	1	
11/10	1	1	
11/11	1	1	
11/12	1	1	
11/13	1	1	
11/14	1	1	
11/15	1	1	
11/16	1	1	
11/17	1	1	
11/18	1	1	
11/19	1	1	
11/20	1	1	
11/21	1	1	
11/22	1	1	
11/23	1	1	
11/24	1	1	

表 10 中国磁器組成表

参考・引用文献

- 出石一雄 1974 「讃岐の古代中心地域における条里と国府」「五色台の自然」-I- 香川県自然科学館
- 岡田唯吉 1942 「讃岐國々府遺跡考」「鎌田共吉会叢書第四輯」
- 片桐孝浩 1995 「讃岐出土の東北系土器について・特に黒色土器について」『財団法人香川県埋蔵文化財調査センター研究紀要Ⅲ』財団法人香川県埋蔵文化財調査センター
- 木下晴一 1997 「讃岐國分寺跡」「空から見た古代遺跡と条里」大明堂
- 木下 良 1975 「山陰・山陽・南海」「日本歴史地理総説」
- 木下 良 1977 「国府の十字街について」「歴史地理学会紀要」
- 木下 良 1983 「地方都市」「講座考古学地理学第2巻古代都市」学生社
- 金田章裕 1988 「第六章条里と村落生活第3節讃岐の条里遺構」「香川県史I 原始・古代」
- 金田章裕 1995 「国府の形態と構造について」「国立歴史民俗博物館研究報告第63集」国立歴史民俗博物館
- 佐藤竜馬 2012 「讃岐国府周辺における土地利用形態・発掘調査成果からの素描」『香川県埋蔵文化財センター研究紀要』8
- 角田文衛 1938 「国分寺の設置」「国分寺の研究」
- 角田文衛 1958 「国府と国分寺」「国府の歴史地理学的研究」
- 角田文衛 1996 「国分寺の創設」「新修国分寺の研究第6巻」吉川弘文館
- 乗松真也 2010 「大正期における綾歌郡中村の史跡調査、史跡名勝天然記念物保存法施行に伴う一地方自治体の対応」『香川県埋蔵文化財センター研究紀要VI』香川県埋蔵文化財センター
- 藤井直正 1978 「讃岐開闢寺考」「史迹と美術」第485号
- 藤岡謙二郎 1958 「都市と交通路の歴史地理学的研究」大明堂
- 川畠進・松本豊胤 1977 「開法寺跡」「佛教藝術」116号佛教藝術学会編 毎日新聞社
- 森下英治 1997 「丸龜平野条里型地割の考古学的検討」「財団法人香川県埋蔵文化財調査センター研究紀要V特集7世紀の讃岐」
- 米崎 旭・乗松真也 2003 「宇多津町伊勢町遺跡について」「香川史学」30号香川史学会
- 渡部明夫 1980 「讃岐國の須恵器生産について」「鏡山猛先生古稀記念古文化論叢」鏡山猛先生古稀記念論文集刊行会
- 渡部明夫 1983 「讃岐国府跡の発掘調査と問題点」「香川史学」第13号
- 渡部明夫 2006 「讃岐国分寺の考古学的研究」
- 渡邊 誠 2009 「地方における有林式平窓の受容と展開 -讃岐国のことから-」「香川考古第11号」香川考古刊行会
- 渡邊 誠 2014 「史跡讃岐国分尼寺跡の伽藍とその造営」「考古学研究会岡山9月例会発表資料」
- 香川県教育委員会はか 2004 「サンポート高松総合整備事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告第6冊 浜ノ町遺跡」
- 香川県教育委員会 2007 「空港跡地遺跡Ⅹ」
- 香川県教育委員会 2011 「平成22年度香川県内遺跡発掘調査 讃岐国府跡発掘調査概報」
- 香川県教育委員会 2013 「平成23・24年度香川県内遺跡発掘調査 讃岐国府跡発掘調査概報」
- 香川県教育委員会 2014 「平成25年度香川県内遺跡発掘調査 讃岐国府跡発掘調査概報」
- 香川県埋蔵文化財センター 2010 「讃岐国府跡を探る」
- 香川県埋蔵文化財センター 2011 「讃岐国府跡探索事業平成21・22年度地形・地名調査報告」
- 香川県埋蔵文化財センター 2013 「讃岐国府跡探索事業平成23・24年度地形・地名調査 讃岐国府跡の既往の調査成果の検討 穴薬師(城戦塚)古墳の確認調査」
- 香川県埋蔵文化財センター 2014 「讃岐国府跡探索事業平成25年度新宮古墳・醍醐3号墳の確認調査」
- 高松市歴史資料館 1996 「第11回特別展讃岐の古瓦展」
- 善通寺市教育委員会 2003 「四国学院大学構内遺跡発掘調査報告書」

地點	標示番号	圖文番号	指定標示名	地點	標示番号	圖文番号	指定標示名
11	2	SD77001	上層罐	11	2	SD77001	上層罐
11	3	SD77001	上層罐	11	3	SD77001	上層罐
11	4	SD77001	上層罐	11	4	SD77001	上層罐
11	5	SD77001	上層罐	11	5	SD77001	上層罐
11	6	SD77001	上層罐	11	6	SD77001	上層罐
11	7	SD77001	上層罐	11	7	SD77001	上層罐
11	8	SD77001	上層罐	11	8	SD77001	上層罐
11	9	SD77001	上層罐	11	9	SD77001	上層罐
11	10	SD77001	上層罐	11	10	SD77001	上層罐
11	11	SD77001	上層罐	11	11	SD77001	上層罐
11	12	SD77001	上層罐	11	12	SD77001	上層罐
11	13	SD77001	上層罐	11	13	SD77001	上層罐
11	14	SD77001	上層罐	11	14	SD77001	上層罐
11	15	SD77001	上層罐	11	15	SD77001	上層罐
11	16	SD77001	上層罐	11	16	SD77001	上層罐
11	17	SD77001	上層罐	11	17	SD77001	上層罐
11	18	SD77001	上層罐	11	18	SD77001	上層罐
11	19	SD77001	上層罐	11	19	SD77001	上層罐
11	20	SD77001a	A1	11	21	SD77001a	B1
11	22	SD77001b	B1	11	23	SD77001b	C1
11	24	SD77001c	C1	11	25	SD77001c	C1
11	26	SD77001c	C1	11	27	SD77001c	C1
11	28	SD77001c	C1	11	29	SD77001c	C1
11	30	SD77001c	C1	11	31	SD77001c	C1
11	32	SD77001c	C1	11	33	SD77001c	C1
11	34	SD77001c	C1	11	35	SD77001c	C1
11	36	SD77001c	C1	11	37	SD77001c	C1
11	38	SD77001c	C1	11	39	SD77001c	C1
11	40	SD77001c	C1	11	41	SD77001c	C1
11	42	SD77001c	C1	11	43	SD77001c	C1
11	44	SD77001a - c	C1	11	45	SD77001a - c	C1
11	46	SD77001a - c	C1	11	47	SD77001a - c	C1
11	48	SD77001a - c	C1	11	49	SD77001a - c	C1
11	50	SD77001a - c	C1	11	51	SD77001a - c	C1
11	52	SD77001a - c	C1	11	53	SD77002	C2
11	54	SD77002	C2	11	55	SD77002	C2
11	56	SD77002	C2	11	57	SD77002	C2
11	58	SD77002	C2	11	59	SD77002	C2
11	60	SD77003	E1	11	61	SD77003	E1
11	62	SD77003	E1	11	63	SD77003	E1
11	64	SD77003	E1	11	65	SD77003	E1
11	66	SD77003	E1	11	67	SD77003	E1
11	68	SD77003	E1	11	69	SD77003	E1
11	70	SD77003	E1	11	71	SD77003	E1
11	72	SD77003	E1	11	73	SD77003	E1
11	74	SK77001	D1	11	75	SK77001	D1
11	76	SK77001	D1	11	77	SK77001	D1
11	78	SK77001	D1	11	79	SK77001	D1
11	80	SK77001	D1	11	81	SK77001	D1
11	82	SK77001	D1	11	83	SK77001	D1
11	84	SK77001	D1	11	85	SK77001	D1
11	86	SK77001	D1	11	87	SK77014	C1
11	88	SK77001	D1	11	89	SK77001	C1
11	90	SK77001	C1	11	91	SK77001	C1
11	92	SK77001	C1	11	93	SK77001	C1
11	94	SK77001	C1	11	95	SK77001	C1
11	96	SK77001	C1	11	97	SK77001	C1
11	98	SK77001	C1	11	99	SK77001	C1
11	100	SK77001	C1	11	101	SK77001	C1
11	102	SK77001	C1	11	103	SK77001	C1
11	104	SK77001	C1	11	105	SK77001	C1
11	106	SK77001	C1	11	107	SK77001	C1
11	108	SK77001	C1	11	109	SK77001	C1
11	110	SK77001	C1	11	111	SK77001	C1
11	112	SK77001	C1	11	113	SK77001	C1
11	114	SK77001	C1	11	115	SK77001	C1
11	116	SK77001	C1				

地點番号		地點名	位置	種別	登記事項
14	225	SX7014	C1	器具	口給物 IV-1 有 C 造様位置不明
14	226	SX7014	C1	器具	造様位置不明
14	227	SX7014	C1	器具	造様位置不明
14	228	SX7014	C1	器具	造様位置不明
14	229	SX7014	C1	器具	造様位置不明
14	230	SX7014	C1	器具	造様位置不明
14	231	SX7014	C1	器具	造様位置不明
14	232	SX7014	C1	器具	造様位置不明
14	233	SX7014	B1	器具	造様位置不明
14	234	SX7014	C1	器具	造様位置不明
14	235	SX7014	B1	器具	造様位置不明
14	236	SX7014	C1	器具	造様位置不明
14	237	SX7014	C1	器具	造様位置不明
14	238	SX7015	B1	器具	造様位置不明
14	239	SX7015	B1	器具	造様位置不明
14	240	SX7015	B1	器具	造様位置不明
14	241	SX7015	B1	器具	造様位置不明
14	242	SX7016	C1	器具	造様位置不明
14	243	SX7016	C1	器具	造様位置不明
14	244	SX7016	C1	器具	造様位置不明
14	245	SX7016	C1	器具	造様位置不明
14	246	SX7016	C1	器具	造様位置不明
14	247	SX7016	C1	器具	造様位置不明
14	248	SX7017	B1	器具	造様位置不明
14	249	SX7018	B1	器具	造様位置不明
14	250	SX7018	B1	器具	造様位置不明
14	251	SX7018	B1	器具	造様位置不明
14	252	SX7018	B1	器具	造様位置不明
15	253	投状造機	A2	機械	台形 足定等 杯及足 杯等 素有 華文 丸瓦
15	254	投狀造機	E2	機械	同法寺 KH101 構式
15	255	投狀造機	E2	機械	
15	256	投狀造機	E2	機械	
15	257	投狀造機	E2	機械	
15	258	投狀造機	E2	機械	
15	259	投狀造機	E2	機械	
15	260	投狀造機	E2	機械	
15	261	投狀造機	E2	機械	
15	262	投狀造機	E2	機械	
15	263	投狀造機	D2	機械	
15	264	投狀造機	E2	機械	
15	265	投狀造機	E2	機械	
15	266	投狀造機	E2	機械	
15	267	投狀造機	A2	機械	
15	268	投狀造機	E2	機械	
15	269	投狀造機	E2	機械	
15	270	投狀造機	E2	機械	
15	271	投狀造機	E2	機械	
15	272	投狀造機	E2	機械	
15	273	投狀造機	E2	機械	
15	274	投狀造機	E2	機械	
15	275	投狀造機	E2	機械	
15	276	投狀造機	E2	機械	
15	277	投狀造機	E2	機械	
15	278	投狀造機	E2	機械	
15	279	投狀造機	E2	機械	
15	280	投狀造機	E2	機械	
15	281	投狀造機	E2	機械	
15	282	投狀造機	E2	機械	
15	283	投狀造機	E2	機械	
15	284	投狀造機	E2	機械	
15	285	投狀造機	E2	機械	
15	286	投狀造機	E2	機械	
15	287	投狀造機	E2	機械	
15	288	投狀造機	E2	機械	
15	289	投狀造機	E2	機械	
15	290	投狀造機	E2	機械	
15	291	投狀造機	E2	機械	
15	292	投狀造機	E2	機械	
15	293	投狀造機	E2	機械	
15	294	投狀造機	E2	機械	
15	295	投狀造機	A2	機械	
15	296	投狀造機	E2	機械	
15	297	投狀造機	E2	機械	
15	298	投狀造機	E2	機械	
15	299	投狀造機	E2	機械	
15	300	投狀造機	E2	機械	
15	301	投狀造機	E2	機械	
15	302	投狀造機	E2	機械	
15	303	投狀造機	E2	機械	
15	304	投狀造機	E2	機械	
15	305	投狀造機	E2	機械	
15	306	投狀造機	E2	機械	
15	307	投狀造機	E2	機械	
15	308	投狀造機	E2	機械	
15	309	投狀造機	E2	機械	
15	310	投狀造機	E2	機械	
15	311	投狀造機	E2	機械	
15	312	投狀造機	E2	機械	
15	313	投狀造機	E2	機械	
15	314	投狀造機	E2	機械	
15	315	投狀造機	E2	機械	
15	316	投狀造機	E2	機械	
15	317	投狀造機	E2	機械	
15	318	投狀造機	E2	機械	
15	319	投狀造機	E2	機械	
15	320	投狀造機	E2	機械	
15	321	投狀造機	E2	機械	
15	322	投狀造機	E2	機械	
15	323	投狀造機	E2	機械	
15	324	投狀造機	E2	機械	
15	325	投狀造機	E2	機械	
15	326	投狀造機	E2	機械	
15	327	投狀造機	E2	機械	
15	328	投狀造機	E2	機械	
15	329	投狀造機	E2	機械	
15	330	投狀造機	E2	機械	
15	331	投狀造機	E2	機械	
15	332	投狀造機	E2	機械	
15	333	投狀造機	E2	機械	
15	334	投狀造機	E2	機械	
15	335	投狀造機	E2	機械	
15	336	投狀造機	E2	機械	
15	337	投狀造機	E2	機械	
15	338	投狀造機	E2	機械	
15	339	投狀造機	E2	機械	
16	340	投狀造機	E2	機械	

見込みにヘラ記号

水槽、他地域産

蓋内面を板面に転用
蓋内面を板面に転用
見込みに板面に転用
要倒置内部を板面に転用

異形33
異形33

次数	純正多分類文書号	報告追堆名	地区	層位	種別	形種	特記事項
2	18	498	段状追構	E2	4層土器層 9	土師質土器	小瓶
2	18	499	段状追構	E2	4層土器層 9	土師質土器	小瓶
2	18	500	段状追構	E2	4層土器層 9	土師質土器	小瓶
2	18	501	段状追構	E2	4層土器層 9	土師質土器	小瓶
2	18	502	段状追構	A2	4層土器層 9	土師質土器	小瓶
2	18	503	段状追構	E2	4層土器層 9	土師質土器	小瓶
2	18	504	段状追構	E2	4層土器層 9	土師質土器	小瓶
2	18	505	段状追構	E2	4層土器層 9	土師質土器	小瓶
2	18	506	段状追構	A2	4層土器層 9	土師質土器	小瓶
2	18	507	段状追構	E2	4層土器層 9	土師質土器	小瓶
2	18	508	段状追構	E2	4層土器層 9	土師質土器	小瓶
2	18	509	段状追構	E2	4層土器層 9	土師質土器	小瓶
2	18	510	段状追構	E2	4層土器層 9	土師質土器	小瓶
2	18	511	段状追構	E2	4層土器層 9	頸壺器	瓶
2	18	512	段状追構	E2	4層土器層 9	頸壺器	瓶
2	18	513	段状追構	E2	4層土器層 9	土師質土器	杯
2	18	514	段状追構	E2	4層土器層 9	土師質土器	杯
2	18	515	段状追構	A2	4層土器層 9	土師質土器	杯
2	18	516	段状追構	E2	4層土器層 9	土師質土器	杯
2	18	517	段状追構	A2	4層土器層 9	土師質土器	杯
2	18	518	段状追構	E2	4層土器層 9	土師質土器	杯
2	18	519	段状追構	E2	4層土器層 9	土師質土器	杯
2	18	520	段状追構	E2	4層土器層 9	土師質土器	杯
2	18	521	段状追構	E2	4層土器層 9	土師質土器	杯
2	18	522	段状追構	E2	4層土器層 9	土師質土器	杯
2	18	523	段状追構	A2	4層土器層 9	土師質土器	杯
2	18	524	段状追構	E2	4層土器層 9	土師質土器	杯
2	18	525	段状追構	A2	4層土器層 9	土師質土器	杯
2	18	526	段状追構	A2	4層土器層 9	土師質土器	杯
2	18	527	段状追構	E2	4層土器層 9	土師質土器	杯
2	18	528	段状追構	A2	4層土器層 9	土師質土器	杯
2	18	529	段状追構	E2	4層土器層 9	土師質土器	杯
2	18	530	段状追構	E2	4層土器層 9	土師質土器	杯
2	18	531	段状追構	E2	4層土器層 9	土師質土器	杯
2	18	532	段状追構	E2	4層土器層 9	土師質土器	杯
2	18	533	段状追構	E2	4層土器層 9	土師質土器	杯
2	18	534	段状追構	E2	4層土器層 9	土師質土器	杯
2	18	535	段状追構	B1	4層土器層 9	土師質土器	杯
2	18	536	段状追構	A2	4層土器層 9	土師質土器	杯
2	18	537	段状追構	A2	4層土器層 9	土師質土器	杯
2	18	538	段状追構	E2	4層土器層 9	土師質土器	杯
2	18	539	段状追構	E2	4層土器層 9	土師質土器	杯
2	18	540	段状追構	E2	4層土器層 9	土師質土器	杯
2	18	541	段状追構	E2	4層土器層 9	土師質土器	杯
2	18	542	段状追構	E2	4層土器層 9	土師質土器	杯
2	18	543	段状追構	E2	4層土器層 9	土師質土器	杯
2	18	544	段状追構	E2	4層土器層 9	土師質土器	杯
2	18	545	段状追構	B1	4層土器層 9	土師質土器	杯
2	18	546	段状追構	E2	4層土器層 9	土師質土器	杯
2	18	547	段状追構	E2	4層土器層 9	土師質土器	杯
2	18	548	段状追構	E2	4層土器層 9	土師質土器	杯
2	18	549	段状追構	E2	4層土器層 9	土師質土器	杯
2	18	550	段状追構	E2	4層土器層 9	土師質土器	杯
2	18	551	段状追構	A2	4層土器層 9	土師質土器	台付瓶
2	18	552	段状追構	E2	4層土器層 9	土師質土器	台付瓶
2	18	553	段状追構	A2	4層土器層 9	土師質土器	杯
2	18	554	段状追構	A2	4層土器層 9	瓦器	碗
2	18	555	段状追構	E2	4層土器層 9	瓦器	碗

次數	種類番号	前文番号	揭示遺構名	地区	部位	種別	記録事項
2	18	556	段状遺構	B2	4層土器層	瓦器	楓
2	18	557	段状遺構	B2	4層土器層	瓦器	楓
2	18	558	段状遺構	B2	4層土器層	瓦器	楓
2	18	559	段状遺構	B2	4層土器層	瓦器	楓
2	18	560	段状遺構	B2	4層土器層	瓦器	楓
2	18	561	段状遺構	A2	4層土器層	瓦器	楓
2	18	562	段状遺構	B2	4層土器層	土師質土器	楓
2	18	563	段状遺構	A2	4層土器層	土師質土器	楓
2	18	564	段状遺構	A2	4層土器層	土師質土器	楓
2	18	565	段状遺構	B2	4層土器層	頭窓器	楓
2	18	566	段状遺構	A2	4層土器層	頭窓器	楓
2	18	567	段状遺構	B1	4層土器層	頭窓器	吉備系
2	18	568	段状遺構	B2	4層土器層	頭窓器	楓
2	18	569	段状遺構	B2	4層土器層	頭窓器	楓
2	18	570	段状遺構	B2	4層土器層	頭窓器	楓
2	18	571	段状遺構	B2	4層土器層	土師質土器	楓
2	18	572	段状遺構	B2	4層土器層	黑色土器	楓
2	18	573	段状遺構	B2	4層土器層	黑色土器	楓
2	18	574	段状遺構	B2	4層土器層	黑色土器	楓
2	18	575	段状遺構	B2	4層土器層	黑色土器	楓
2	18	576	段状遺構	B2	4層土器層	黑色土器	楓
2	18	577	段状遺構	B2	4層土器層	黑色土器	楓
2	18	578	段状遺構	B2	4層土器層	黑色土器	楓
2	18	579	段状遺構	B1 - B2	4層土器層	黑色土器	楓
2	18	580	段状遺構	B2	4層土器層	黑色土器	楓
2	18	581	段状遺構	B2	4層土器層	黑色土器	楓
2	18	582	段状遺構	B2	4層土器層	黑色土器	楓
2	18	583	段状遺構	B2	4層土器層	黑色土器	楓
2	18	584	段状遺構	A2	4層土器層	土師質土器	楓
2	18	585	段状遺構	B2	4層土器層	土師質土器	楓
2	18	586	段状遺構	A2	4層土器層	土師質土器	楓
2	19	587	段状遺構	B2	4層土器層	黑色土器	楓
2	19	588	段状遺構	B2	4層土器層	黑色土器	楓
2	19	589	段状遺構	B2 - C2	4層土器層	黑色土器	楓
2	19	590	段状遺構	B2	4層土器層	黑色土器	楓
2	19	591	段状遺構	B2	4層土器層	黑色土器	楓
2	19	592	段状遺構	A2	4層土器層	白磁	白磁碗IV類口縁非C類
2	19	593	段状遺構	B2	4層土器層	白磁	楓
2	19	594	段状遺構	B2	4層土器層	白磁	楓
2	19	595	段状遺構	A2	4層土器層	白磁	白磁碗IV類口縁非C類
2	19	596	段状遺構	A2	4層土器層	白磁	白磁碗IV類口縁非C類
2	19	597	段状遺構	A2	4層土器層	白磁	白磁碗V類口縁非C類
2	19	598	段状遺構	B1	4層土器層	白磁	白磁碗IV類口縁非C類
2	19	599	段状遺構	A2	4層土器層	白磁	白磁碗IV類口縁非C類
2	19	600	段状遺構	A2	4層土器層	白磁	白磁碗IV類口縁非C類
2	19	601	段状遺構	B2	4層土器層	白磁	白磁碗IV類口縁非C類
2	19	602	段状遺構	A2	4層土器層	白磁	白磁碗IV la類
2	19	603	段状遺構	B2	4層土器層	白磁	白磁碗IV la類
2	19	604	段状遺構	B2	4層土器層	白磁	白磁碗IV la類
2	19	605	段状遺構	A2	4層土器層	白磁	白磁碗IV la類
2	19	606	段状遺構	A2	4層土器層	白磁	白磁碗IV la類
2	19	607	段状遺構	A2	4層土器層	白磁	白磁碗IV la類
2	19	608	段状遺構	A2	4層土器層	白磁	白磁碗IV 1類口縁不明
2	19	609	段状遺構	A2	4層土器層	白磁	白磁碗IV 1類口縁不明
2	19	610	段状遺構	A2	4層土器層	白磁	白磁碗IV 2類
2	19	611	段状遺構	A2	4層土器層	白磁	白磁碗IV 2類
2	19	612	段状遺構	B2	4層土器層	頭窓器	異形品
2	19	613	段状遺構	B2	4層土器層	頭窓器	水瓶

次数	括弧番号	器物番号	器物遺物名	地区	部位	種別	器種	特記事項
2	19	614	段状遺構	C2	4層土器層	須恵器	圓筒瓦	
2	19	615	段状遺構	C1	4層	須恵器	風字規	
2	19	616	段状遺構	B1	4層	須恵器	風字規	
2	19	617	段状遺構	C2	4層土器層	須恵器	風字規	瓦質燒成
2	19	618	段状遺構	B2	4層土器層	土師質土器	小型壺	
2	19	619	段状遺構	A2	4層土器層	土師質土器	小壺	
2	19	620	段状遺構	B2	4層土器層	土師質土器	足釜	
2	19	621	段状遺構	E2	4層土器層	須恵器	鉢	
2	19	622	段状遺構	C2	4層土器層	瓦	7集草分選草軒丸瓦	讃岐国分寺 SKM21A 型式
2	19	623	段状遺構	C1	4層	瓦	軒丸瓦	瓦当剥落、国府式 KF101 型式丸瓦部の可能性
2	19	624	段状遺構	B2	4層	瓦	軒丸瓦	型式不明
2	19	625	段状遺構	C2	4層土器層	瓦	唐草文軒平瓦	古面に荒い鍛目タクキ(斜)
2	19	626	段状遺構	B2	4層土器層	瓦	瓦塊	焼成不良、土師質
2	19	628	包含層	B1	3層土器層	須恵器	風字規	
2	19	629	包含層	不明	3層土器層	須恵器	鍋	近江産 10c
2	19	630	包含層	不明	3層土器層	須恵器	茶碗	
2	19	631	2トレンチ	4層相当	土師質土器	須恵器	小皿	
2	19	632	包含層	2トレンチ	4層相当	須恵器	転用器	蓋内面を鏡面に転用
2	19	633	2トレンチ西隅査区	表面探集	瓦	扁形軒草軒平瓦	南法寺 KH202 型式	
3	21	1	?	SU78001	-	須恵器	杯	
3	21	2	?	SU78001	-	土師質土器	杯	
3	21	3	?	SU78001	-	須恵器	杯	
3	21	4	?	SU78001	-	須恵器	杯	
3	21	5	?	SU78001	-	須恵器	杯	
3	21	6	?	SU78001	-	須恵器	杯	
3	21	7	?	SU78001	-	須恵器	杯	
3	21	8	?	SU78001	-	須恵器	杯	
3	21	9	?	SU78001	-	須恵器	杯	
3	21	10	?	SU78001	-	須恵器	杯	
3	21	11	?	SU78001	-	須恵器	杯	
3	21	12	?	SK78005	-	須恵器	杯	
3	21	13	?	SK78005	-	須恵器	杯	
3	21	14	?	SK78005	-	須恵器	杯	
3	21	15	?	SK78005	-	須恵器	杯	
3	21	16	?	SK78005	-	須恵器	杯	
3	21	17	?	SK78005	-	須恵器	杯	
3	21	18	?	SK78005	-	須恵器	杯	
3	21	19	?	SK78005	-	須恵器	杯	
3	21	20	?	SK78005	-	須恵器	杯	
3	21	21	?	SK78005	-	須恵器	杯	
3	21	22	?	SK78005	-	須恵器	杯	
3	21	23	?	SK78005	-	須恵器	杯	
3	21	24	?	SK78005	-	須恵器	杯	
3	21	25	?	SK78005	-	須恵器	杯	
3	21	26	?	SK78005	-	須恵器	杯	
3	21	27	?	SK78005	-	須恵器	杯	
3	21	28	?	SK78005	-	須恵器	杯	
3	21	29	?	SK78005	-	須恵器	杯	
3	21	30	?	SK78005	-	須恵器	杯	
3	21	31	?	SK78005	-	須恵器	杯	
3	21	32	?	SK78005	-	須恵器	杯	
3	21	33	?	SK78005	-	須恵器	杯	
3	21	34	?	SK78005	-	須恵器	杯	
3	21	35	?	SK78005	-	須恵器	杯	
3	21	36	?	SK78005	-	須恵器	杯	
3	21	37	?	SK78005	-	須恵器	杯	
3	21	38	?	SK78005	-	須恵器	杯	
3	21	39	?	SK78005	-	須恵器	杯	
3	21	40	?	SK78005	-	須恵器	杯	
3	21	41	?	SK78005	-	須恵器	杯	
3	21	42	?	SK78005	-	須恵器	杯	
3	21	43	?	SK78005	-	須恵器	杯	
3	21	44	?	SK78005	-	須恵器	杯	
3	21	45	?	SK78005	-	須恵器	杯	
3	21	46	?	SK78005	-	須恵器	杯	
3	21	47	?	SK78005	-	須恵器	杯	
3	21	48	?	SK78005	-	須恵器	杯	
3	21	49	?	SK78005	-	須恵器	杯	
3	21	50	?	SK78005	-	須恵器	杯	
3	21	51	?	SK78005	-	須恵器	瓦	
3	21	52	?	SK78005	-	須恵器	瓦	
3	21	53	?	SK78005	-	須恵器	瓦	
3	21	54	?	SK78005	-	須恵器	瓦	
3	21	55	?	SK78005	-	須恵器	瓦	
3	21	56	?	SK78005	-	須恵器	瓦	
3	21	57	?	SK78005	-	須恵器	瓦	
3	21	58	?	SK78005	-	須恵器	瓦	
3	21	59	?	SK78005	-	須恵器	瓦	
3	21	60	?	SK78005	-	須恵器	瓦	
3	21	61	?	SK78005	-	須恵器	瓦	
3	21	62	?	SK78005	-	須恵器	瓦	
3	21	63	?	SK78005	-	須恵器	瓦	
3	21	64	?	SK78005	-	須恵器	瓦	
3	21	65	?	SK78005	-	須恵器	瓦	
3	21	66	?	SK78005	-	須恵器	瓦	
3	21	67	?	SK78005	-	須恵器	瓦	
3	21	68	?	SK78005	-	須恵器	瓦	
3	21	69	?	SK78005	-	須恵器	瓦	
3	21	70	?	SK78005	-	須恵器	瓦	
3	21	71	?	SK78005	-	須恵器	瓦	
3	21	72	?	SK78005	-	須恵器	瓦	
3	21	73	?	SK78005	-	須恵器	瓦	
3	21	74	?	SK78005	-	須恵器	瓦	
3	21	75	?	SK78005	-	須恵器	瓦	
3	21	76	?	SK78005	-	須恵器	瓦	
3	21	77	?	SK78005	-	須恵器	瓦	
3	21	78	?	SK78005	-	須恵器	瓦	
3	21	79	?	SK78005	-	須恵器	瓦	
3	21	80	?	SK78005	-	須恵器	瓦	
3	21	81	?	SK78005	-	須恵器	瓦	
3	21	82	?	SK78005	-	須恵器	瓦	
3	21	83	?	SK78005	-	須恵器	瓦	
3	21	84	?	SK78005	-	須恵器	瓦	
3	21	85	?	SK78005	-	須恵器	瓦	
3	21	86	?	SK78005	-	須恵器	瓦	
3	21	87	?	SK78005	-	須恵器	瓦	
3	21	88	?	SK78005	-	須恵器	瓦	
3	21	89	?	SK78005	-	須恵器	瓦	
3	21	90	?	SK78005	-	須恵器	瓦	
3	21	91	?	SK78005	-	須恵器	瓦	
3	21	92	?	SK78005	-	須恵器	瓦	
3	21	93	?	SK78005	-	須恵器	瓦	
3	21	94	?	SK78005	-	須恵器	瓦	
3	21	95	?	SK78005	-	須恵器	瓦	
3	21	96	?	SK78005	-	須恵器	瓦	
3	21	97	?	SK78005	-	須恵器	瓦	
3	21	98	?	SK78005	-	須恵器	瓦	
3	21	99	?	SK78005	-	須恵器	瓦	
3	21	100	?	SK78005	-	須恵器	瓦	
3	21	101	?	SK78005	-	須恵器	瓦	
3	21	102	?	SK78005	-	須恵器	瓦	
3	21	103	?	SK78005	-	須恵器	瓦	
3	21	104	?	SK78005	-	須恵器	瓦	
3	21	105	?	SK78005	-	須恵器	瓦	
3	21	106	?	SK78005	-	須恵器	瓦	
3	21	107	?	SK78005	-	須恵器	瓦	
3	21	108	?	SK78005	-	須恵器	瓦	
3	21	109	?	SK78005	-	須恵器	瓦	
3	21	110	?	SK78005	-	須恵器	瓦	
3	21	111	?	SK78005	-	須恵器	瓦	
3	21	112	?	SK78005	-	須恵器	瓦	
3	21	113	?	SK78005	-	須恵器	瓦	
3	21	114	?	SK78005	-	須恵器	瓦	
3	21	115	?	SK78005	-	須恵器	瓦	
3	21	116	?	SK78005	-	須恵器	瓦	
3	21	117	?	SK78005	-	須恵器	瓦	
3	21	118	?	SK78005	-	須恵器	瓦	
3	21	119	?	SK78005	-	須恵器	瓦	
3	21	120	?	SK78005	-	須恵器	瓦	
3	21	121	?	SK78005	-	須恵器	瓦	
3	21	122	?	SK78005	-	須恵器	瓦	
3	21	123	?	SK78005	-	須恵器	瓦	
3	21	124	?	SK78005	-	須恵器	瓦	
3	21	125	?	SK78005	-	須恵器	瓦	
3	21	126	?	SK78005	-	須恵器	瓦	
3	21	127	?	SK78005	-	須恵器	瓦	
3	21	128	?	SK78005	-	須恵器	瓦	
3	21	129	?	SK78005	-	須恵器	瓦	
3	21	130	?	SK78005	-	須恵器	瓦	
3	21	131	?	SK78005	-	須恵器	瓦	
3	21	132	?	SK78005	-	須恵器	瓦	
3	21	133	?	SK78005	-	須恵器	瓦	
3	21	134	?	SK78005	-	須恵器	瓦	
3	21	135	?	SK78005	-	須恵器	瓦	
3	21	136	?	SK78005	-	須恵器	瓦	
3	21	137	?	SK78005	-	須恵器	瓦	
3	21	138	?	SK78005	-	須恵器	瓦	
3	21	139	?	SK78005	-	須恵器	瓦	
3	21	140	?	SK78005	-	須恵器	瓦	
3	21	141	?	SK78005	-	須恵器	瓦	
3	21	142	?	SK78005	-	須恵器	瓦	
3	21	143	?	SK78005	-	須恵器	瓦	
3	21	144	?	SK78005	-	須恵器	瓦	
3	21	145	?	SK78005	-	須恵器	瓦	
3	21	146	?	SK78005	-	須恵器	瓦	
3	21	147	?	SK78005	-	須恵器	瓦	
3	21	148	?	SK78005	-	須恵器	瓦	
3	21	149	?	SK78005	-	須恵器	瓦	
3	21	150	?	SK78005	-	須恵器	瓦	
3	21	151	?	SK78005	-	須恵器	瓦	
3	21	152	?	SK78005	-	須恵器	瓦	
3	21	153	?	SK78005	-	須恵器	瓦	
3	21	154	?	SK78005	-	須恵器	瓦	
3	21	155	?	SK78005	-	須恵器	瓦	
3	21	156	?	SK78005	-	須恵器	瓦	
3	21	157	?	SK78005	-	須恵器	瓦	
3	21	158	?	SK78005	-	須恵器	瓦	
3	21	159	?	SK78005	-	須恵器	瓦	
3	21	160	?	SK78005	-	須恵器	瓦	
3	21	161	?	SK78005	-	須恵器	瓦	
3	21	162	?	SK78005	-	須恵器	瓦	
3	21	163	?	SK78005	-	須恵器	瓦	
3	21	164	?	SK78005	-	須恵器	瓦	
3	21	165	?	SK78005				

品目番号	規格番号	規格品名	地区	部位	特徴	特徴
1	1	包含層	1	1層	表面	表面
2	2	包含層	1	2層	表面	表面
3	3	包含層	1	3層	表面	表面
4	4	包含層	1	4層	表面	表面
5	5	包含層	1	5層	表面	表面
6	6	包含層	1	6層	表面	表面
7	7	包含層	1	7層	表面	表面
8	8	包含層	1	8層	表面	表面
9	9	包含層	1	9層	表面	表面
10	10	包含層	1	10層	表面	表面
11	11	包含層	1	11層	表面	表面
12	12	包含層	1	12層	表面	表面
13	13	包含層	1	13層	表面	表面
14	14	包含層	1	14層	表面	表面
15	15	包含層	1	15層	表面	表面
16	16	包含層	1	16層	表面	表面
17	17	包含層	1	17層	表面	表面
18	18	包含層	1	18層	表面	表面
19	19	包含層	1	19層	表面	表面
20	20	包含層	1	20層	表面	表面
21	21	包含層	1	21層	表面	表面
22	22	包含層	1	22層	表面	表面
23	23	包含層	1	23層	表面	表面
24	24	包含層	1	24層	表面	表面
25	25	包含層	1	25層	表面	表面
26	26	包含層	1	26層	表面	表面
27	27	包含層	1	27層	表面	表面
28	28	包含層	1	28層	表面	表面
29	29	包含層	1	29層	表面	表面
30	30	包含層	1	30層	表面	表面
31	31	包含層	1	31層	表面	表面
32	32	包含層	1	32層	表面	表面
33	33	包含層	1	33層	表面	表面
34	34	包含層	1	34層	表面	表面
35	35	包含層	1	35層	表面	表面
36	36	包含層	1	36層	表面	表面
37	37	包含層	1	37層	表面	表面
38	38	包含層	1	38層	表面	表面
39	39	包含層	1	39層	表面	表面
40	40	包含層	1	40層	表面	表面
41	41	包含層	1	41層	表面	表面
42	42	包含層	1	42層	表面	表面
43	43	包含層	1	43層	表面	表面
44	44	包含層	1	44層	表面	表面
45	45	包含層	1	45層	表面	表面
46	46	包含層	1	46層	表面	表面
47	47	包含層	1	47層	表面	表面
48	48	包含層	1	48層	表面	表面
49	49	包含層	1	49層	表面	表面
50	50	包含層	1	50層	表面	表面
51	51	包含層	1	51層	表面	表面
52	52	包含層	1	52層	表面	表面
53	53	包含層	1	53層	表面	表面
54	54	包含層	1	54層	表面	表面
55	55	包含層	1	55層	表面	表面
56	56	包含層	1	56層	表面	表面
57	57	包含層	1	57層	表面	表面
58	58	包含層	1	58層	表面	表面
59	59	包含層	1	59層	表面	表面
60	60	包含層	1	60層	表面	表面
61	61	包含層	1	61層	表面	表面
62	62	包含層	1	62層	表面	表面
63	63	包含層	1	63層	表面	表面
64	64	包含層	1	64層	表面	表面
65	65	包含層	1	65層	表面	表面
66	66	包含層	1	66層	表面	表面
67	67	包含層	1	67層	表面	表面
68	68	包含層	1	68層	表面	表面
69	69	包含層	1	69層	表面	表面
70	70	包含層	1	70層	表面	表面
71	71	包含層	1	71層	表面	表面
72	72	包含層	1	72層	表面	表面
73	73	包含層	1	73層	表面	表面
74	74	包含層	1	74層	表面	表面
75	75	包含層	1	75層	表面	表面
76	76	包含層	1	76層	表面	表面
77	77	包含層	1	77層	表面	表面
78	78	包含層	1	78層	表面	表面
79	79	包含層	1	79層	表面	表面
80	80	包含層	1	80層	表面	表面
81	81	包含層	1	81層	表面	表面
82	82	包含層	1	82層	表面	表面
83	83	包含層	1	83層	表面	表面
84	84	包含層	1	84層	表面	表面
85	85	包含層	1	85層	表面	表面
86	86	包含層	1	86層	表面	表面
87	87	包含層	1	87層	表面	表面
88	88	包含層	1	88層	表面	表面
89	89	包含層	1	89層	表面	表面
90	90	包含層	1	90層	表面	表面
91	91	包含層	1	91層	表面	表面
92	92	包含層	1	92層	表面	表面
93	93	包含層	1	93層	表面	表面
94	94	包含層	1	94層	表面	表面
95	95	包含層	1	95層	表面	表面
96	96	包含層	1	96層	表面	表面
97	97	包含層	1	97層	表面	表面
98	98	包含層	1	98層	表面	表面
99	99	包含層	1	99層	表面	表面
100	100	包含層	1	100層	表面	表面
6	32	包含層	F1	6層	底面	板用紙

6	36	217	SD29009	G3	土	土	小葉根
6	36	218	SD29009	G3	土	土	小葉根
6	36	219	SD29009	G3	土	土	小葉根
6	36	220	SD29009	G3	土	土	小葉根
6	36	221	SD29009	G3	土	土	小葉根
6	36	222	SD29011	E1	土	土	小葉根
6	36	223	SD29012	E2	土	土	小葉根
6	36	224	SD29012	E2	土	土	小葉根
6	36	225	SD29012	E2	土	土	小葉根
6	36	226	SD29014	G3	土	土	小葉根
6	36	227	SD29014	G3	土	土	小葉根
6	36	228	SD29014	G3	土	土	小葉根
6	36	229	SD29014	H4	土	土	小葉根
6	36	230	SD29014	H4	土	土	小葉根
6	36	231	SD29014	H4	土	土	小葉根
6	36	232	SD29014	H4	土	土	小葉根
6	36	233	SD29014	H4	土	土	小葉根
6	36	234	SD29014	H4	土	土	小葉根
6	36	235	SD29014	H4	土	土	小葉根
6	36	236	SD29014	H4	土	土	小葉根
6	36	237	SD29014	H4	土	土	小葉根
6	36	238	SD29014	H4	土	土	小葉根
6	36	239	SD29014	H4	土	土	小葉根
6	36	240	SD29014	H4	土	土	小葉根
6	36	241	SD29014	H4	土	土	小葉根
6	36	242	SD29016	H4	土	土	小葉根
6	36	243	SD29016	H4	土	土	小葉根
6	36	244	SD29021	A2	土	土	小葉根
6	36	245	SD29021	A2	土	土	小葉根
6	36	246	SD29021	A2	土	土	小葉根
6	36	247	SK29002	F1	土	土	小葉根
6	36	248	SK29002	F1	土	土	小葉根
6	36	249	SK29002	F1	土	土	小葉根
6	36	250	SK29002	F1	土	土	小葉根
6	36	251	SK29002	F1	土	土	小葉根
6	36	252	SK29002	F1	土	土	小葉根
6	36	253	SE29001	H4	白	白	根莖
6	36	254	SE29001	H4	土	土	根莖
6	37	255	SE29001	G4	土	土	根莖
6	37	256	SE29001	G4	泥方裏込上 井口移内埋	土	土
6	37	257	SE29001	G4	泥上土 井口移内埋	土	土
6	37	258	SE29001	G4	泥上土 井口移内埋	土	土
6	37	259	SE29001	G4	泥上土 井口移内埋	土	土
6	37	260	SE29001	G4	泥上土 井口移内埋	土	土
6	37	261	SE29001	G4	泥上土 井口移内埋	土	土
6	37	262	SE29001	G4	泥上土 井口移内埋	土	土
6	37	263	SE29001	G4	泥上土 井口移内埋	土	土
6	37	264	SE29001	G4	泥上土 井口移内埋	土	土
6	37	265	SE29001	G4	泥上土 井口移内埋	土	土
6	37	266	SE29001	G4	泥上土 井口移内埋	土	土
6	37	267	SE29001	G4	泥上土 井口移内埋	土	土
6	37	268	SE29001	G4	泥上土 井口移内埋	土	土
6	37	269	SE29001	G4	泥上土 井口移内埋	土	土
6	37	270	SE29001	G4	泥上土 井口移内埋	土	土
6	37	271	SE29001	G4	泥上土 井口移内埋	土	土
6	37	272	SE29001	G4	泥上土 井口移内埋	土	土
6	37	273	SE29001	G4	泥上土 井口移内埋	土	土
6	37	274	SE29001	G4	泥上土 井口移内埋	土	土
6	37	275	SE29001	G4	泥上土 井口移内埋	土	土
6	37	276	SE29001	G4	泥上土 井口移内埋	土	土
6	37	277	SE29001	G4	泥上土 井口移内埋	土	土
6	37	278	SE29001	G4	泥上土 井口移内埋	土	土
6	37	279	SE29001	G4	泥上土 井口移内埋	土	土
6	37	280	SE29001	G4	泥上土 井口移内埋	木	板材
6	38	281	SE29001	G4	井口移板	木	板材
6	38	282	SE29001	G4	井口移板	木	板材
6	38	283	SE29001	G4	井口移板	木	板材
6	38	284	SE29001	G4	井口移板	木	板材
6	38	285	SE29001	G4	井口移板	木	板材
6	38	286	SE29001	G4	井口移板	木	板材
6	38	287	SE29001	G4	井口移板	木	板材
6	38	288	SE29001	G4	井口移板	木	板材
6	38	289	SE29001	G4	井口移板	木	板材
6	38	290	SE29001	G4	井口移板	木	板材
6	38	291	SE29001	G4	井口移板	木	板材
6	38	292	SE29001	G4	井口移板	木	板材
6	38	293	SE29001	G4	井口移板	木	板材
6	39	294	SE29001	G4	井口移板	木	板材
6	39	295	SE29001	G4	井口移板	木	板材
6	39	296	SE29001	G4	井口移板	木	板材
6	39	297	SE29001	G4	井口移板	木	板材
6	39	298	SE29001	G4	井口移板	木	板材
6	39	299	SE29001	G4	井口移板	木	板材
6	39	300	SE29001	G4	井口移板	木	板材
6	39	301	SE29001	G4	井口移板	木	板材
6	39	302	SE29001	G4	井口移板	木	板材
6	39	303	SE29001	G4	井口移板	木	板材
6	39	304	SE29001	G4	井口移板	木	板材
6	40	305	SE29001	G4	井口移板	木	板材
6	40	306	SE29001	G4	井口移板	木	板材
6	40	307	SE29001	G4	井口移板	木	板材

白細胞IV 2a

白細胞I 不明

同安窓系青斑症I 不明

款数	编号	地名	位数	类别	形制	特征
6	41	308	S179001	土质	直口	直口
6	41	309	S179001	土质	直口	直口
6	41	310	S179007	(G)	直口	直口
6	41	311	SP2912	F2	直口	直口
7	45	1	S080010	a1	上层	上层
7	45	2	S080010	a1	上层	上层
7	45	3	S080010	a1	上层	上层
7	45	4	S080010	a1	上层	上层
7	45	5	S080010	a1	上层	上层
7	45	6	S080010	a1	上层	上层
7	45	7	S080010	a1	上层	上层
7	45	8	S080010	a1	上层	上层
7	45	9	S080010	a1	上层	上层
7	45	10	S080010	a1	上层	上层
7	45	11	S080010	a1	上层	上层
7	45	12	S080010	a1	上层	上层
7	45	13	S080010	a1	上层	上层
7	45	14	S080010	a1	上层	上层
7	45	15	S080010	a1	上层	上层
7	45	16	S080010	a1	上层	上层
7	45	17	S080010	a1	上层	上层
7	45	18	S080010	a1	上层	上层
7	45	19	S080010	a1	上层	上层
7	45	20	S080010	a1	上层	上层
7	45	21	S080010	a1	上层	上层
7	45	22	S080010	a1	上层	上层
7	45	23	S080010	a1	上层	上层
7	45	24	S080010	a1	上层	上层
7	45	25	S080010	a1	上层	上层
7	45	26	S080010	a1	上层	上层
7	45	27	S080010	a1	上层	上层
7	45	28	S080010	c1	上层	上层
7	45	29	S080010	c1	中层	中层
7	45	30	S080010	a1	中层	中层
7	45	31	S080010	a1	不明	不明
7	45	32	S080010	a1	不明	不明
7	45	33	S080010	a1	不明	不明
7	45	34	S080010	a1	不明	不明
7	45	35	S080010	a1	不明	不明
7	45	36	S080010	a1	不明	不明
7	45	37	S080010	a1	不明	不明
7	45	38	S080010	a1	不明	不明
7	45	39	S080010	a1	不明	不明
7	45	40	S080010	a1	不明	不明
7	45	41	S080010	a1	不明	不明
7	45	42	S080010	a1	不明	不明
7	45	43	S080010	a1	不明	不明
7	45	44	S080010	a1	不明	不明
7	45	45	S080010	a1	不明	不明
7	45	46	S080010	a1	上层	上层
7	45	47	S080010	a1	上层	上层
7	45	48	S080010	a1	上层	上层
7	45	49	S080010	a1	上层	上层
7	45	50	S080010	a1	上层	上层
7	45	51	S080010	a1	上层	上层
7	45	52	S080010	a1	上层	上层
7	46	53	S080010	a1	上层	上层
7	46	54	S080010	a1	上层	上层
7	46	55	S080010	a1	上层	上层
7	46	56	S080010	c1	上层	上层
7	46	57	S080010	c1	中层	中层
7	46	58	S080010	c1	中层	中层
7	47	59	S080010	c1	中层	中层
7	47	60	S080010	c1	中层	中层
7	47	61	S080010	c1	中层	中层
7	47	62	S080010	c1	中层	中层
7	47	63	S080010	c1	中层	中层
7	47	65	S080010	c1	中层	中层
7	47	66	S080010	c1	中层	中层
7	47	67	S080010	c1	中层	中层
7	47	68	S080010	c1	中层	中层
7	48	69	S080014	a1	上层	上层
7	48	70	S080014	a1	上层	上层
7	48	71	S080014	a1	上层	上层
7	48	72	S080014	a1	上层	上层
7	48	73	S080014	a1	上层	上层
7	48	74	S080014	a1	上层	上层
7	48	75	S080014	a1	上层	上层
7	48	76	S080014	a1	上层	上层
7	48	77	S080010 - 80014	a1	墓葬	墓葬
7	48	78	SD80010 - 80014	周	a1	直口
7	48	79	SD80010 - 80014	周	a1	直口
7	48	80	SD80010 - 80014	周	a1	直口
7	50	81	SE80001	土质	直口	直口
7	50	82	SE80001	土质	直口	直口
7	50	83	SE80001	土质	直口	直口
7	50	84	SE80001	土质	直口	直口
7	50	85	SE80001	土质	直口	直口
7	50	86	SE80001	土质	直口	直口
7	50	87	SE80001	土质	直口	直口
7	50	88	SE80001	土质	直口	直口
7	50	89	SE80001	土质	直口	直口
7	50	90	SE80001	土质	直口	直口
7	50	91	SE80001	土质	直口	直口
7	50	92	SE80001	土质	直口	直口
7	50	93	SE80001	土质	直口	直口
7	50	94	SE80001	土质	直口	直口
7	50	95	SE80001	土质	直口	直口
7	50	96	SE80001	土质	直口	直口
7	50	97	SE80001	土质	直口	直口
7	50	98	SE80001	土质	直口	直口
7	50	99	SE80001	土质	直口	直口
7	50	100	SE80001	土质	直口	直口
7	50	101	SE80001	内	下层 (曲物)	小底
7	50	102	SE80001	内	下层 (曲物)	杯
7	50	103	SE80001	内	下层 (曲物)	杯

次数	種別番号	部品番号	報告番号名	地区	部位	種別	特記事項	
							下層(曲物)	上層(直物)
7	50	104	SE80001		内)	土師質直器		
7	50	105	SE80001		下層(曲物)	黑色土器	輪	
7	50	106	SE80001		内)	土師質直器	輪	
7	50	107	SE80001		内)	土師質直器	更	
7	50	108	SD80001		内)	土師質直器	軒丸瓦	
7	50	109	SE80001		下層(曲物)	土師質直器	小皿盤	
7	50	110	SE80001		下層(曲物)	土師質直器	杯	
7	50	111	SD80001		下層(曲物)	土師質直器	杯	
7	50	112	SE80001		下層(曲物)	土師質直器	杯	
7	50	113	SD80001		下層(曲物)	土師質直器	杯	
7	50	114	SE80001		下層(曲物)	白磁	白磁碗N'2 不明	
7	50	115	SD80001		下層(曲物)	土師質直器	白磁碗V不明体部	
7	50	116	SD80001		上層(直物)	土師質直器	龍泉窯系青磁瓶I 2c	
7	51	117	SD80002		上層(直物)	土師質直器		
7	51	118	SD80004		上層(直物)	土師質直器		
7	51	119	SD80005		上層(直物)	土師質直器		
7	51	120	SD80005		上層(直物)	土師質直器		
7	51	121	SD80005		上層(直物)	土師質直器		
7	51	122	SD80005		上層(直物)	土師質直器		
7	51	123	SD80005		上層(直物)	土師質直器		
7	51	124	SD80005		上層(直物)	土師質直器		
7	51	125	SD80005		上層(直物)	土師質直器		
7	51	126	SD80005		上層(直物)	土師質直器		
7	51	127	SD80005		上層(直物)	土師質直器		
7	51	128	SD80005		上層(直物)	土師質直器		
7	51	129	SD80005		上層(直物)	土師質直器		
7	51	130	SD80001		A7	土師質直器		
7	51	131	SD80001		A7	土師質直器		
7	51	132	SD80001		A7	土師質直器		
7	51	133	SD80001		A7	土師質直器		
7	51	134	SD80001		A7	土師質直器		
7	51	135	SD80001		A7	土師質直器		
7	51	136	SD80001		A7	土師質直器		
7	51	137	SD80001		A7	土師質直器		
7	51	138	SD80001		A7	土師質直器		
7	51	139	SD80001		A7	土師質直器		
7	51	140	SD80001		A7	土師質直器		
7	51	141	SD80001		A7	土師質直器		
7	51	142	SD80001		A7	土師質直器		
7	51	143	SD80001		A7	土師質直器		
7	51	144	SD80001		A7	土師質直器		
7	51	145	SD80001		A7	土師質直器		
7	51	146	SD800013		A9	土師質直器		
7	51	147	SD800013		D4	4層		
7	51	148	SD800013		E4	4層		
7	51	149	SD800013		E6	4層		
7	51	150	SD800013		A3	5層		
7	51	151	SD800013		C7	5層		
7	51	152	SD800013			6層		
7	51	153	SD800013			6層		
7	51	154	SD800013			6層		
7	51	155	SD800013			6層		
7	51	156	SD800013			6層		
7	51	157	SD800013			6層		
7	51	158	SD800013			6層		
7	51	159	SD800013			6層		
7	51	160	SD800013			6層		
7	51	161	SD800013			6層		
7	51	162	SD800013			6層		
7	51	163	SD800013			6層		
7	51	164	SD800013			6層		
7	51	165	SD800013			6層		
7	51	166	SD800013			6層		
7	51	167	SD800013			6層		
7	51	168	SD800013			6層		
7	51	169	SD800013			6層		
7	51	170	SD800013			6層		
7	51	171	SD800013			6層		
7	51	172	SD800013			6層		
7	51	173	SD800013			6層		
7	51	174	SD800013			6層		
7	51	175	SD800013			6層		
7	51	176	SD800013			6層		
7	51	177	SD800013			6層		
7	51	178	SD800013			6層		
7	51	179	SD800013			6層		
7	51	180	SD800013			6層		
7	51	181	SD800013			6層		
7	51	182	SD800013			6層		
7	51	183	SD800013			6層		
7	51	184	SD800013			6層		
7	51	185	SD800013			6層		
7	51	186	SD800013			6層		
7	51	187	SD800013			6層		
7	51	188	SD800013			6層		
7	51	189	SD800013			6層		
7	51	190	SD800013			6層		
7	51	191	SD800013			6層		
7	51	192	SD800013			6層		
7	51	193	SD800013			6層		
7	51	194	SD800013			6層		
7	51	195	SD800013			6層		
7	51	196	SD800013			6層		
7	51	197	SD800013			6層		
7	51	198	SD800013			6層		
7	51	199	SD800013			6層		
7	51	200	SD800013			6層		
7	51	201	SD800013			6層		
7	51	202	SD800013			6層		
7	51	203	SD800013			6層		
7	51	204	SD800013			6層		
7	51	205	SD800013			6層		
7	51	206	SD800013			6層		
7	51	207	SD800013			6層		
7	51	208	SD800013			6層		
7	51	209	SD800013			6層		
7	51	210	SD800013			6層		
7	51	211	SD800013			6層		
7	51	212	SD800013			6層		
7	51	213	SD800013			6層		
7	51	214	SD800013			6層		
7	51	215	SD800013			6層		
7	51	216	SD800013			6層		
7	51	217	SD800013			6層		
7	51	218	SD800013			6層		
7	51	219	SD800013			6層		
7	51	220	SD800013			6層		
7	51	221	SD800013			6層		
7	51	222	SD800013			6層		
7	51	223	SD800013			6層		
7	51	224	SD800013			6層		
7	51	225	SD800013			6層		
7	51	226	SD800013			6層		
7	51	227	SD800013			6層		
7	51	228	SD800013			6層		
7	51	229	SD800013			6層		
7	51	230	SD800013			6層		
7	51	231	SD800013			6層		
7	51	232	SD800013			6層		
7	51	233	SD800013			6層		
8	54	1	SD80001		L3	3~5層	不明	
8	54	2	SD80001		A7	3~5層	不明	
8	54	3	SD80001		E5	3~5層	不明	
8	54	4	SD80001		J5	3~5層	不明	
8	54	5	SD80001			6層	西周 9c 前半	
8	54	6	SD80001			6層	西周 9c 前半	
8	54	7	SD80001			6層	西周 9c 前半	
8	54	8	SD80001			6層	西周 9c 前半	
8	54	9	SD80001			6層	西周 9c 前半	
8	54	10	SD80001			6層	西周 9c 前半	
8	54	11	SD80001			6層	西周 9c 前半	
8	54	12	SD80001			6層	西周 9c 前半	
8	54	13	SD80001			6層	西周 9c 前半	
8	54	14	SD80001			6層	西周 9c 前半	
8	54	15	SD80001			6層	西周 9c 前半	
8	54	16	SD80001			6層	西周 9c 中葉	
8	54	17	SD80001		E2	6層		
8	54	18	SD80001		B5	7層		
8	54	19	SD80001		B5	7層		
8	54	20	SD80001		B5	7層		
8	54	21	SD80001		E5	7層		
8	54	22	SD80001		A6	7層		
8	54	23	SD80001		A5	7層		
8	54	24	SD80001		E5	7層		
8	54	25	SD80001		E7	7層		
8	54	26	SD80001		A5	7層		
8	54	27	SD80001		E7	7層		
8	54	28	SD80001		A5	7層		
8	54	29	SD80001		E7	7層		
8	54	30	SD80001		A5	7層		
8	54	31	SD80001		E7	7層		
8	54	32	SD80001		E7	7層		
8	54	33	SD80001		A5	8層		
8	54	34	SD80001				西周 9c 前半	
8	54	35	SD80001				西周 9c 前半	
8	54	36	SD80001				西周 9c 前半	
8	54	37	SD80001				西周 9c 前半	
8	54	38	SD80001				西周 9c 前半	
8	54	39	SD80001				西周 9c 前半	
8	54	40	SD80001				西周 9c 前半	
8	54	41	SD80001				西周 9c 前半	
8	54	42	SD80001				西周 9c 前半	
8	54	43	SD80001				西周 9c 前半	
8	54	44	SD80001				西周 9c 前半	
8	54	45	SD80001				西周 9c 前半	
8	54	46	SD80001				西周 9c 前半	
8	54	47	SD80001				西周 9c 前半	
8	54	48	SD80001				西周 9c 前半	
8	54	49	SD80001				西周 9c 前半	
8	54	50	SD80001				西周 9c 前半	
8	54	51	SD80001				西周 9c 前半	
8	54	52	SD80001				西周 9c 前半	
8	54	53	SD80001				西周 9c 前半	
8	54	54	SD80001				西周 9c 前半	
8	54	55	SD80001				西周 9c 前半	
8	54	56	SD80001				西周 9c 前半	
8	54	57	SD80001				西周 9c 前半	
8	54	58	SD80001				西周 9	

次數	括弧番号	圖文番号	指定文書名	道区	部位	種別	器種	特記事項
8	56	120	SD81008	A5	下刷	刷毛	刷毛	
8	56	140	SD81008	A5	下刷	刷毛	刷毛	
8	56	141	SD81008	A5	下刷	刷毛	刷毛	
8	56	142	SD81008	A 6 - 下刷				
8	56	143	SD81008	A7				
8	56	144	SD81008	A 6 - 下刷				
8	56	145	SD81008	A5	下刷	刷毛	刷毛	
8	56	146	SD81008	A5	下刷	刷毛	刷毛	
8	56	147	SD81008	A5	下刷	刷毛	刷毛	
8	56	148	SD81008	A5	下刷	刷毛	刷毛	
8	56	149	SD81008	A5	下刷	刷毛	刷毛	
8	56	150	SD81008	A5	最下刷	刷毛	刷毛	
8	56	151	SD81008	A5	最下刷	刷毛	刷毛	
8	56	152	SD81008	A5	最下刷	刷毛	刷毛	
9	59	1	包含物					
9	59	2	包含物					
9	59	3	包含物					
9	59	4	包含物					
9	59	5	包含物					
9	59	6	包含物					
9	59	7	包含物					
9	59	8	包含物					
9	59	9	包含物					
9	60	11	SD84002	3 杷				
9	60	12	SD84002	2 杷				
9	60	13	SD84002	3 杷				
9	60	14	SD84002	3 杷				
9	60	15	SD84002	3 杷				
9	60	16	SD84002	3 杷				
9	60	17	SD84002	3 杷				
9	60	18	SD84002	3 杷				
9	60	19	SD84002	3 杷				
9	60	20	SD84002	3 杷				
9	60	21	SD84002	3 杷				
9	60	22	SD84002	3 杷				
9	60	23	SD84002	3 杷				
9	60	24	SD84002	3 杷				
9	60	25	SD84002	3 杷				
9	60	26	SD84002	3 杷				
9	60	27	SD84002	3 杷				
9	60	28	SD84002	3 杷				
9	60	29	SD84002	3 杷				
9	60	30	SD84002	3 杷				
9	60	31	SD84002	3 杷				
9	60	32	SD84002	3 杷				
9	60	33	SD84002	3 杷				
9	60	34	SD84002	3 杷				
9	60	35	SD84002	3 杷				
9	60	36	SD84002	3 杷				
9	60	37	SD84002	3 杷				
9	60	38	SD84002	3 杷				
9	60	39	SD84002	3 杷				
9	60	40	SD84002	3 杷				
9	60	41	SD84002	3 杷				
9	60	42	SD84002	3 杷				
9	60	43	SD84002	3 杷				
9	60	44	SD84002	3 杷				
9	60	45	SD84002	3 杷				
9	60	46	SD84002	3 杷				
9	60	47	SD84002	3 杷				
9	60	48	SD84002	3 杷				
9	60	49	SD84002	3 杷				
9	60	50	SD84002	3 杷				
9	60	51	SD84002	3 杷				
9	60	52	SD84002	3 杷				
9	60	53	SD84002	3 杷				
9	60	54	SD84002	3 杷				
9	60	55	SD84002	3 杷				
9	60	56	SD84002	3 杷				
9	60	57	SD84002	3 杷				
9	60	58	SD84002	3 杷				
9	60	59	SD84002	3 杷				
9	60	60	SD84002	3 杷				
9	60	61	SD84001	3 杷				
9	60	62	SD84001	3 杷				
9	60	63	SD84001	3 杷				
9	60	64	SD84001	3 杷				
9	60	65	SD84001	3 杷				
9	60	66	SD84001	3 杷				
9	60	67	SD84001	3 杷				
9	60	68	SD84001	3 杷				
9	60	69	SD84001	3 杷				



1. 豊國の立地 上が北

写真図版2



2. 遺跡遠景 南から



3. 遺跡遠景 南東から

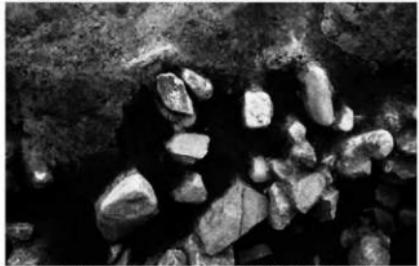


4.1 トレンチ 3層礫群検出状況 北から



5.1 トレンチ 3層礫群検出状況 西から

写真図版 4 2 次調査



6.1 トレンチ 3層窯群内緑釉丸瓦出土状況



7.3 層窯群内讃岐国府式軒丸瓦出土状況

9.1 トレンチ SD77001 完掘状況 北から



8.1 トレンチ SE77001 を覆う3層窯群 南から



11.1 トレンチ SE77001 北から

10.1 トレンチ 南部4層上面遺構完掘状況 南から



12.1 トレンチ 段状遺構 4 層検出状況 南から



13.1 トレンチ段状遺構 4 層土器群検出状況 東から



14.1 トレンチ段状遺構 4 層土器群検出状況西から



15.1 トレンチ段状遺構 6 層土器群 (B1 区) 検出状況 東から

16.1 トレンチ 段状遺構 6 層土器群 (断面 2 付近) 検出状況 東から



17.1 トレンチ 段状遺構 6 層土器群 (B1 区) 検出状況 南東から



18.1 トレンチ 段状遺構 6 層土器群軒丸瓦 (KF103) 出土状況

写真図版 6 2 次調査



19.1 トレンチ 段状遺構 6 層土器群 (B1 区) 検出状況 南から



20.1 トレンチ 段状遺構 (B1 区) 検出状況 東から



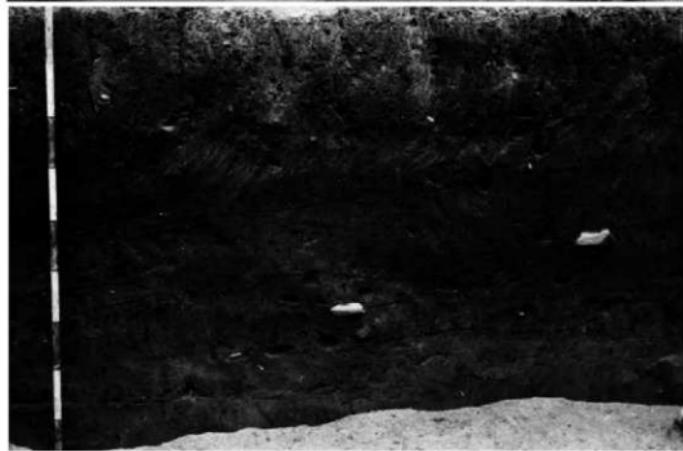
21.1 トレンチ 段状遺構 (B1 区) 検出状況 南東から



22.1 トレンチ 段状遺構 (B1 区) 検出状況 東から



23.1 トレンチ 段状遺構土層(断面2 B1区南) 北東から



24.1 トレンチ 段状遺構土層(断面2 B2区南) 北から



25.1 トレンチ 段状遺構土層(断面3 A2区南) 北から

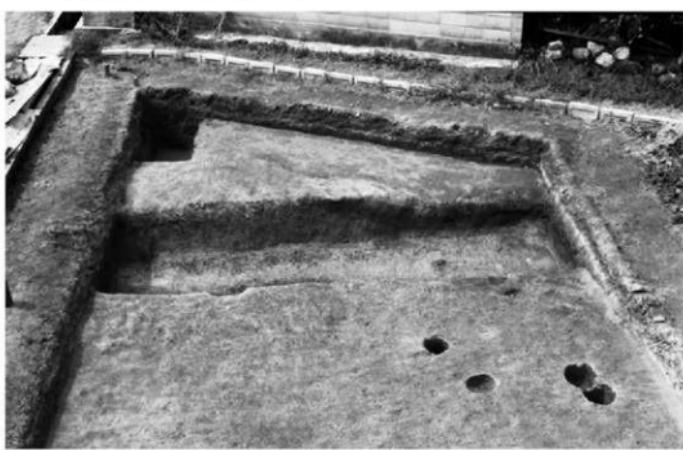
写真図版 8 3次調査



26. 調査前の状況 東から



27. 東部完掘状況 西から



28. 西部完掘状況 東から



29.SD78001 全景 南から



30.SD78001 断面（南壁） 北から



31.SD78001 断面（北壁） 南から

写真図版 10 4 次調査



32. 調査前の状況
北西から



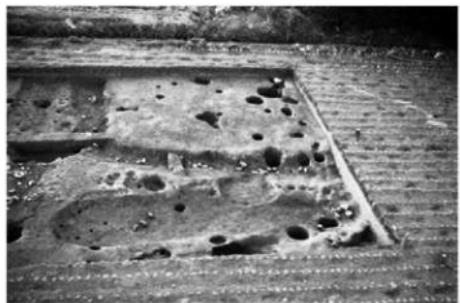
33. トレンチ全景
北から



34. トレンチ全景
南から



35.SB78001・SD78003 全景 北から



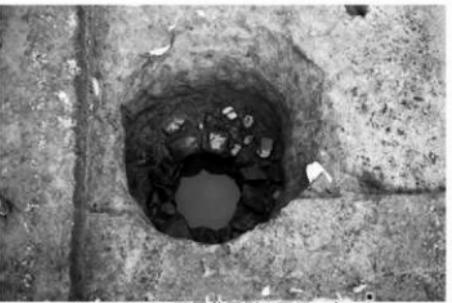
36.SD78006 付近全景 東から



37.SD78006 付近全景 北から



38.SE78001 全景 北から



39.SE78001 下層井戸側の石組 南から



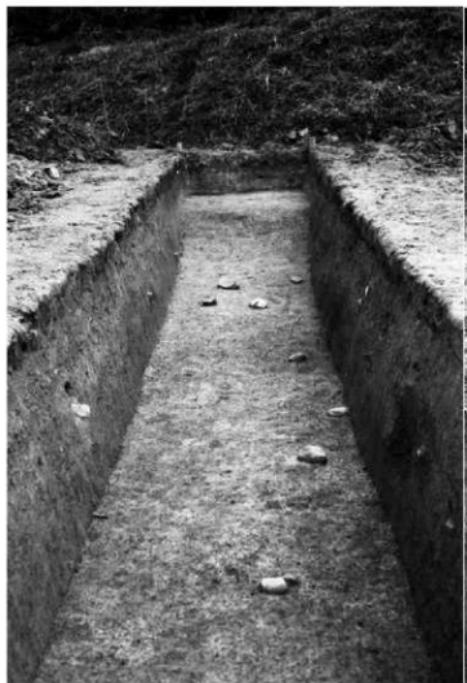
40. 調査前の状況(奥側の鼓岡社の丘陵) 北西から



41.D トレンチ道路遺構調査状況 南から



42.D トレンチ道路遺構全景 南から



43.D トレンチ道路遺構全景 北から



44.A トレンチ道路遺構全景 北から



45.D トレンチ土層(下部に道路遺構埋土)
東から



46.D トレンチ土層(下部に道路遺構埋土)
東から

写真図版 14 5次調査



47.B トレンチ石組遺構（苑池）北から



48.B トレンチ石組遺構（苑池）西から



49.B トレンチ石組遺構（苑池）土層 東から



50. 調査前の状況(右奥側の鼓岡社叢) 北から



51.F1 西壁土層 東から



52.C1 西壁土層 東から



53.G4・G56層下位の落ち込み 西から



54.F1以南6層上面遺構完掘 北から

写真図版 16 6 次調査



55.SB79001 検出状況 北から



56.SB79001 全景 北から



57.SB79001 全
景 北西から



58.SB79001 全
景 西から



59.SB79001(SP79238) 柱根 北から



60.SB79001(SP79238) 柱根・根石検出 東から

写真図版 18 6 次調査



61.SB79001(SP79241) 柱根 東から



62.SB79001(SP79254) 碓石 ?(石の下に柱根) 北東から



63.SB79001(SP79242) 柱根 西から



64.SB79001(SP79242) 柱根・根石 東から



65.SD79018・79518 全景 南から



66.SE79001・ST79001・79002 全景 北から



67.SE79001 上層の井側と礎石様の大石 北から



69.SE79001 縦板と横木の組合せ状況



68.SE79001 井側と曲物 南から

写真図版 20 6・7 次調査



70.SE79001 縦板と横木の組合わせ状況



71.SE79001 調査状況



72.A0・A1 築
地 (SD80010 ·
80014) 中層完掘
状況 北から



73.A0・A1 築
地 (SD80010 ·
80014) 下層完掘
状況 南から



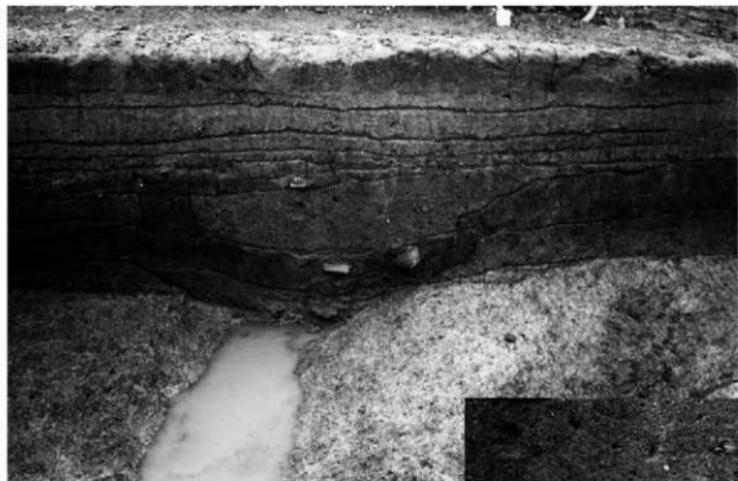
74.A0・A1 築地 (SD80010・80014) 中層完掘状況 東から



75.A0・A1 築地 (SD80010・80014) 下層完掘状況 東から



76.A0・A1 築地 (SD80010・80014) 完掘状況 南東から



77.A1 築地 (SD80010) 断面 東から

78.A1 築地 (SD80010) 中層土師質土器 (31) 出土状況
東から





79.C1 築地 (SD80010) 中層瓦出土状況 西から



80.C1 築地 (SD80010)・SD80009 完掘状況 西から



81.C1 築地 (SD80010) 中層瓦 (60) 出土状況



82.A0・A15 層上面検出の柱穴群 南から



83.A3 付近 SD80001・
80008 完掘状況 南から



84.A6 付近 SD80002・
80003 完掘状況 南から



85.A1 付近 SD80002 完掘
状況(奥に SE80001) 南
から



86.SE80001 全景 西から



87.SE80001 上層断面 東から



88.SE80001 上層遺物出土状況 東から



89.SE80001 下層曲物検出状況 西から



90.SE80001 底面の礫群 西から



91.C5 区付近 SD80001
全景 西から



92.C5 区付近 SD80001
断面 西から



93.A10-11 区西壁土層 南東から



94.C1 区北壁・東壁土層 南から



95.E4 以西完掘状況 東から



96.E5 以南全景 北から



97.K5SD81012 全景 北から



98.G5 東壁土層 西から

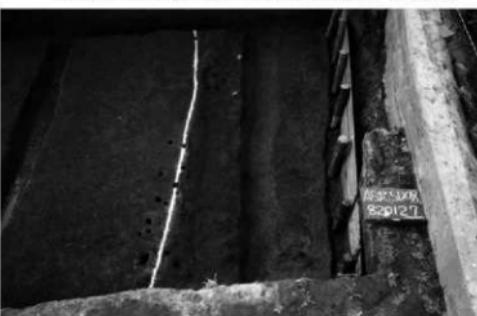
写真図版 28 8次調査



99.A5付近 SD81008 最上層検出状況 東から



101.A5付近 SD81008 上層遺物出土状況 南東から



102.A5付近 SD81008 上層完掘状況 東から



100.A5付近 SD81008 上層検出状況 東から



103.A5付近 SD81008 下層完掘状況 東から



104.A6・A7SD81008 下層完掘状況 東から



105. 調査区全景 南西から



106. 調査区全景 南から



107. 調査区中央部(東部)全景 北から



108. 調査区中央部(西部)全景 北から



109.SA84001 全景 北から



110.SD84001 全景 南から



111.SD84001 全景 南東から

写真図版 30 9次調査



112.SD84002（南部）全景 南西から



113.SD84002（南部）全景 北西から



114.SD84002（中部）全景 西から



115.SD84002（中部）断面 北から



116.SD84002（北部）断面 南から



2-12 凸面



2-12 凹面



2-15



2-13

2-16



2-24



2-17

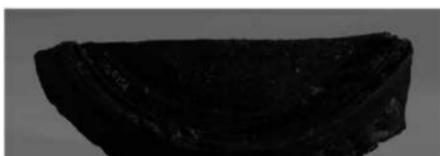
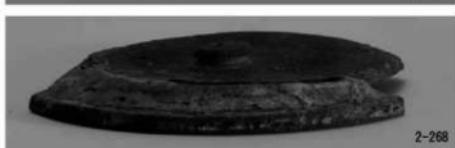
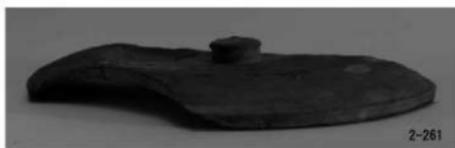


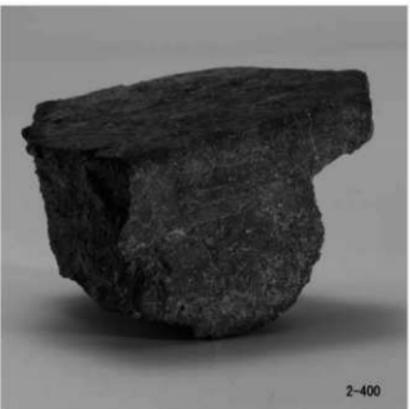
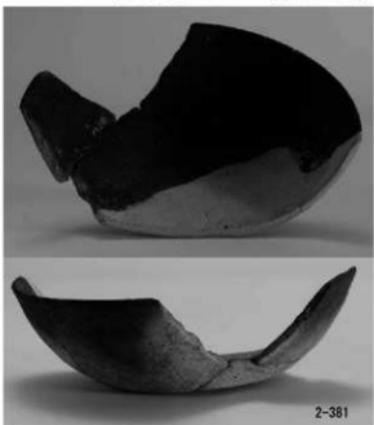
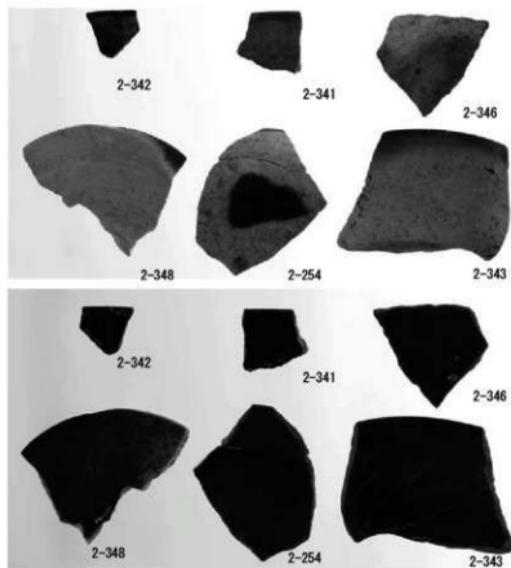
2-73



2-253

写真図版 32 2 次出土遺物





写真図版 34 2 次出土遺物



2-529



2-544



2-580



2-616



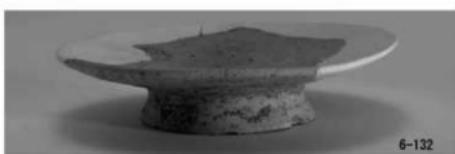
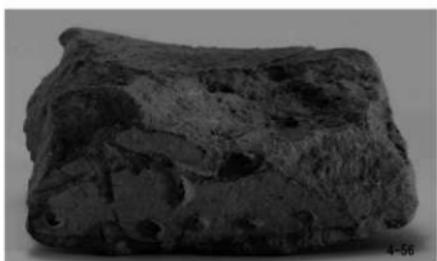
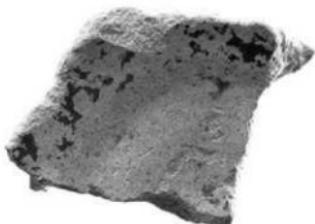
2-615



2-617



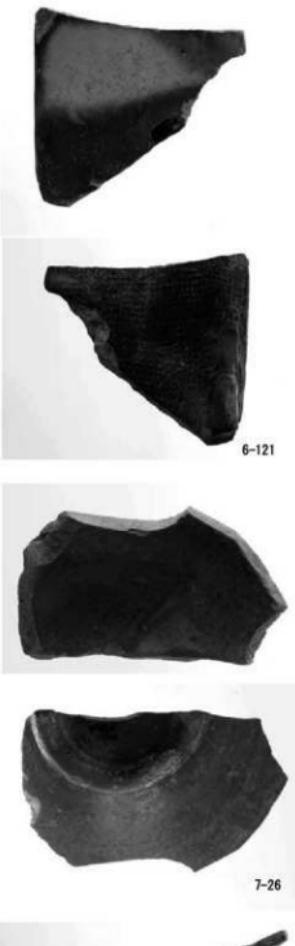
2-622



写真図版 36 6・7 次出土遺物



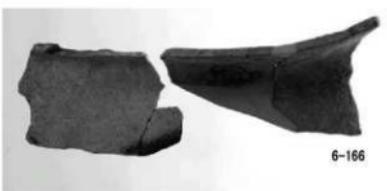
6-167



7-26



6-168



6-166



7-60



7-31



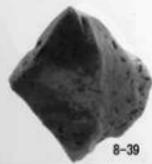
7-45



8-12



8-3



8-39



8-14



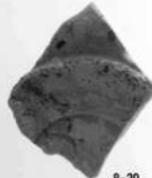
8-13



8-12



8-3



8-39



8-14



8-13



8-64



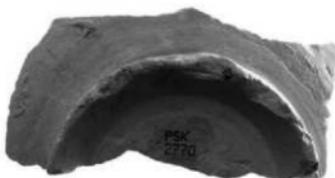
8-24



8-127



8-113



PSK
2770

8-315



8-24



8-127



8-113

写真図版 38 8・9 次出土遺物



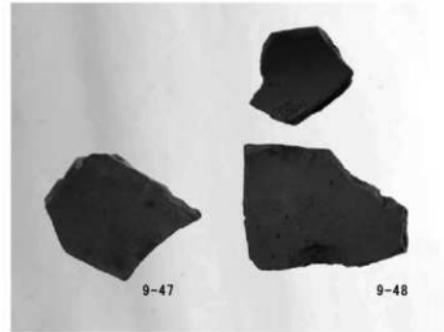
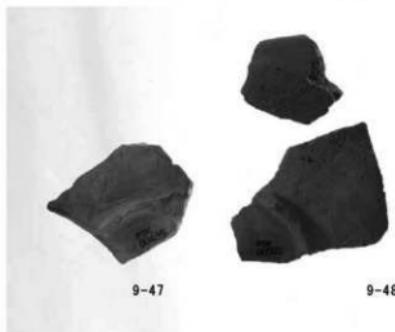
8-54



9-36



8-11

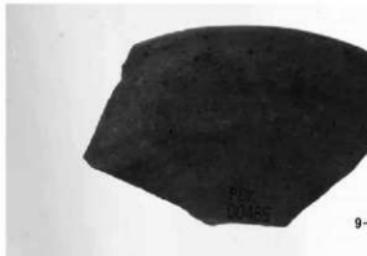


9-47

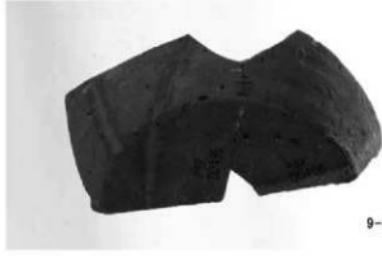
9-48

9-47

9-48



9-32



9-23

ふりがな	さぬきこくふあと			
書名	讃岐国府跡1			
編著者名	佐藤竜馬 信里芳紀			
編集機関	香川県埋蔵文化財センター			
所在地	〒 762-0024 香川県坂出市府中町南谷 TEL0877-48-2191 FAX0877-48-3249			
発行機関	香川県教育委員会			
発行年月日	平成 28 年 3 月			
総頁数	目次	本文	挿図枚数	写真枚数
166	8	120	71	175
所収遺跡名	所在地	コード(市町村)	北緯	東経
讃岐国府跡	香川県坂出市府中町 本村	370203	34° 17' 43"	133° 55' 03"
	調査期間	調査面積	調査原因	
	S52 ~ S59	2255 m ²	遺跡内容確認調査	
所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物
讃岐国府跡	官衙	古代～中世	掘立柱建物・溝他	須恵器・土師器・施釉陶器・中国産磁器・瓦・墨書き土器他
要約				
香川県教育委員会が昭和 52 年度から昭和 59 年度に実施した讃岐国府跡の確認調査報告書。包蔵地西半部にあたる約 80,000 m ² の中で 8 地点の確認調査を行い、各地点より 7 世紀から 13 世紀を中心とした国府関連の遺構・遺物を検出した。注目される遺構として、2 次調査の 9 世紀前葉の遺物を含む段状遺構、5 次調査の道路状遺構、6 次調査の大型総柱建物、8 次調査の築地遺構、9 次調査の大溝・権列がある。出土遺物は、円面鏡・風字鏡・須恵器転用鏡や施釉陶器、越州窯青磁を先駆けとする古代後半から中世前半では輸入陶磁器が多量に出土している。これらの出土量は讃岐国内で屈指を誇るものであり、讃岐国府跡の存在を示すものとして注目される。以上の遺構・遺物の分布状況から、包蔵地西半部の国衙配置や変遷を推定し、輸入陶磁器の検討から讃岐国府跡をめぐる古代末から中世前半の流通を検討し、古代末～中世前半における国府の機能を推定した。				

讃岐国府跡1

平成28年3月

編集 香川県埋蔵文化財センター

〒762-0024 香川県坂出市

府中町字南谷 5001-4

TEL0877-48-2191

FAX0877-48-3249

印刷 株式会社美巧社